



マルチメディア 取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

e-Palette



基本操作	マルチメディアシステムの基本操作	1
各種設定および登録	さまざまな機能に関する設定や登録など	2
スマートフォンや通信機器の接続	Bluetooth®や Wi-Fi® を使用するには	3
ナビゲーション	目的地を設定してルート案内をする	4
オーディオ	音楽や映像を楽しむには	5
ハンズフリー電話	携帯電話をハンズフリーで使用するには	6
T-Connect	T-Connect を利用するには	7
駐車支援システム	車両周囲の状況を確認するには	8
付録	参考情報 認証・商標についての情報	9
さくいん	アルファベット順で検索 五十音順で検索	

はじめに

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	8
イラスト目次	10

1 基本操作

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ	12
マルチメディア画面の概要	14
メインメニュー	15
ステータスアイコンの見方	17
タッチスクリーンの操作	19
画面の基本操作	22
文字や数字の入力	24

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面表示	26
車の現在地の表示	28
地図のスケール（縮尺）の切りかえ	29
地図の向き（向き）の切りかえ	30
地図の動かし方	31

1-3. オーディオの基本操作

オーディオの ON/OFF と音量を調整する	32
オーディオのソースを変更する	34
USB 機器を接続する	36

1-4. エージェント（音声対話サービス）

音声で操作する	37
音声操作を開始する	39
音声コマンドを発話する	41
キーボードで情報を検索する	45

2 各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定

ドライバーを登録する	48
------------------	----

2-2. 各種設定

各種設定を変更する	53
-----------------	----

2-3. ドライバー設定

ドライバーの切りかえや登録をする	55
ドライバーの特定方法を設定する	57

2-4. 共通設定

マルチメディアシステムの共通設定を変更する	58
-----------------------------	----

2-5. 画面設定

画面表示の設定を変更する	60
--------------------	----

2-6. 音声操作設定

音声操作の設定を変更する	62
--------------------	----

2-7. 車両設定

セキュリティ設定を変更する	63
ソフトウェア情報の確認や更新をする	65

2-8. ナビゲーション設定

ナビゲーションの設定	68
地図表示設定をする	69
ルート設定をする	71
案内設定	74
その他設定	75
走行支援の設定	78

2-9. サウンド&メディア設定

サウンドやメディアの設定を変更する	82
画面モードを切りかえる	84
画質を調整する	85
各ソースの音を調整する	86

2-10. Wi-Fi®設定

Wi-Fi® Hotspot を設定する	87
----------------------------	----

2-11. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する.....89

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項94

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル97

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する98

Bluetooth®機器の登録を削除する101

Bluetooth®機器との接続102

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する105

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する106

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項107

Wi-Fi® Hotspot に接続する109

3-3. Android Auto の使い方

Android Auto 使用上の留意事項112

Android Auto を使用する114

Android Auto が故障したとお考えになる前に116

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ120

4-2. 地図の情報について

地点情報を表示する121

地図オプション画面122

施設記号を表示する123

地図表示設定125

地図記号・地図表示について...126

高速略図（ハイウェイモード）
について130

4-3. 目的地の検索

目的地検索について133

目的地検索画面の見方134

検索結果リスト画面の見方138

経由地を追加する140

電話帳から目的地を検索する...141

4-4. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方142

目的地案内のデモを見る145

ルート情報を表示する146

ルートオプションを変更する...147

他の経路に変更する148

出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する149

目的地の詳細情報を表示する...150

通過する地点を設定する151

経由地を編集する152

4-5. ルート案内

ルート案内画面の見方153

さまざまなレーン表示画面155

ルートを再探索する158

4-6. VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う159

VICS・交通情報について160

タイムスタンプの情報表示161

渋滞や規制情報の音声案内162

VICS 記号の内容を表示する163

VICS・交通情報を表示する道路を設定する164

VICS・交通情報を表示する種類を設定する165

自動割込を設定する166

自動割込表示時間を調整する...167

新旧ルートと比較して表示する168

VICS 記号や表示について169

VICS について.....	171	6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作	
4-7. 地図データ		ステアリングスイッチで操作する	207
地図データ情報.....	176	6-3. 電話のかけ方	
5 オーディオ		履歴から電話をかける	208
5-1. ラジオについて		ワンタッチダイヤルから電話をかける.....	210
ラジオおよび交通情報.....	180	連絡先から電話をかける	211
5-2. USB メモリーの操作		キーボードから電話をかける... ..	212
USB メモリーの音楽ファイルを再生する	181	110 番 / 119 番にかけると	213
USB メモリーの動画ファイルを再生する	183	ウェイト / ポーズ信号を使って電話をかける.....	214
USB メモリーの再生についての留意事項.....	186	6-4. 電話の受け方	
5-3. Android Auto の操作		電話に出る	215
Android Auto を再生する	188	着信を拒否する	217
Android Auto の再生についての留意事項.....	190	6-5. 通話中の操作	
5-4. Bluetooth®オーディオの操作		通話画面で操作する.....	218
Bluetooth®オーディオを再生する	191	割込着信の電話に出る	220
Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項	194	通話中に別の通話相手へ電話をかける.....	221
5-5. Miracast®の操作		グループ通話をする.....	222
Miracast®対応機器を接続する ..	195	電話を切る	223
Miracast®を再生する	196	6-6. ハンズフリー電話の変更	
Miracast®の再生についての留意事項	198	ハンズフリー電話を切りかえる	224
6 ハンズフリー電話		6-7. 連絡先データの編集	
6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項		連絡先データの転送.....	225
ハンズフリー電話についての留意事項.....	200	ワンタッチダイヤルを登録する	229
ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に	204	連絡先に新規データを追加する	231
		7 T-Connect	
		7-1. T-Connect のサービス概要	
		T-Connect とは	234
		データ通信に関する留意事項... ..	235
		7-2. T-Connect の利用手続き	
		T-Connect を契約する	238

T-Connect を利用する	239	さくいん	314
7-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）			
ヘルプネットについて	241		
各部の名称とはたらき	243		
安全のために	244		
ヘルプネットをお使いになる前に	246		
緊急通報をする	247		
保守点検をする	251		
表示灯について	254		
緊急通報できない場合について	256		
故障とお考えになる前に	258		
7-4. リモートメンテナンスサービス			
リモートメンテナンスサービスについて	259		

8 駐車支援システム

8-1. パノラミックビューモニター	
パノラミックビューモニターの機能とはたらき	262
シフトポジションが P のときの表示モード	266
シフトポジションが D、N のときの表示モード	268
シフトポジションが R のときの表示モード	275
画面を拡大表示する	283
床下透過映像を表示する	285
パノラミックビューモニターの設定を変更する	287
パノラミックビューモニターの注意点	289


9 付録

9-1. 付録	
メディア／データについての情報	306
認証・商標についての情報	313

知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書

- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書では、システムのソフトウェアバージョン Ver.2036 までの情報を記載しています。最新情報については、下記 URL から確認することができます。ご使用前には必ずソフトウェアバージョンにあった最新情報をお読みください。本機のソフトウェアバージョンの確認方法は、「ソフトウェア情報の確認や更新をする」(→ P.65)をご覧ください。

URL	QR コード
https://toyota.jp/dop/navi/update/software/	

- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。
- 本書に記載されている会社名や商品などは、各社の商標および登録商標です。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度などの故障診断に有用な情報を T-Connect システム内に常時記録します。

補機バッテリーの取りはずしについて

マルチメディアシステムはパワースイッチを OFF にするごとに、各種データをマルチメディアシステムに保存しています。各種データの保存が終わる前に補

機バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。

動作確認済み携帯電話について

動作確認済み携帯電話については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

安全にお使いいただくため

安全のため、次の内容にしたがってお使いください。

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。

安全運転をさまたげるような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転中は、音声案内に従い、安全な状況でのみ少しのあいだけ画面を見るようにしてください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。正常に自車位置を特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。運転規制（左折禁止や通行止め）などの道路状況はひんぱんに変更されます。そのため、指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法であるか確認してください。

本車両は、登録仕様により高速道路を走行出来ない場合があります。




▲ 警告

- 安全のため、運転中は運転者がシステムを操作しないでください。道路や交通への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。道路の交通標識が変更された場合、一方通行指示などの情報がルート案内に反映されない場合があります。

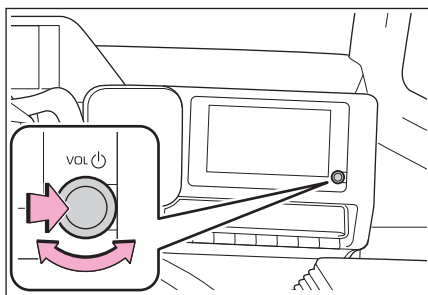
本書の見方


本書で使用している記号について説明します。

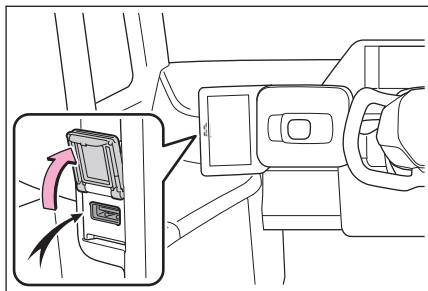
本文の記号について


記号	意味
	警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3...	操作や作業の手順を示しています。
	知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



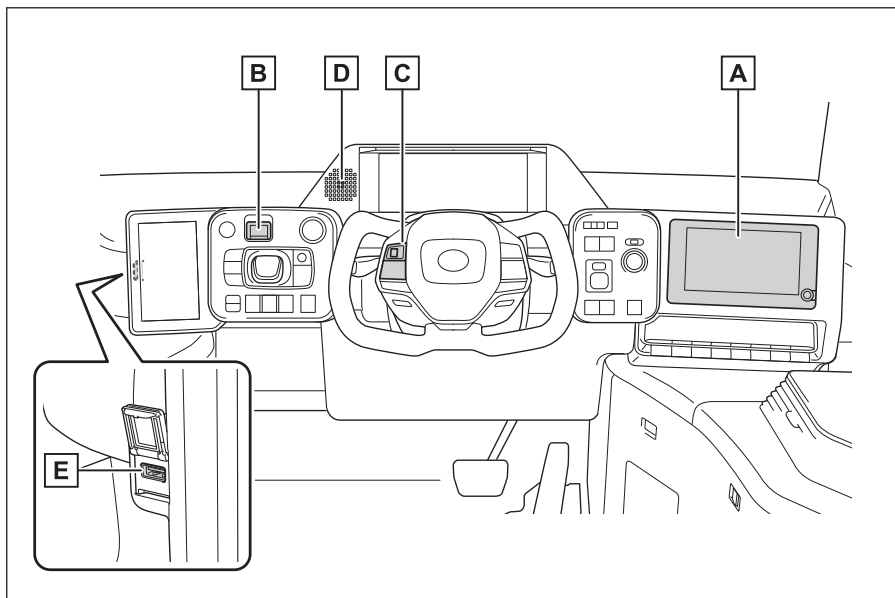
記号	意味
	押す、まわすなどの操作を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるものや場所を示しています。

イラスト目次

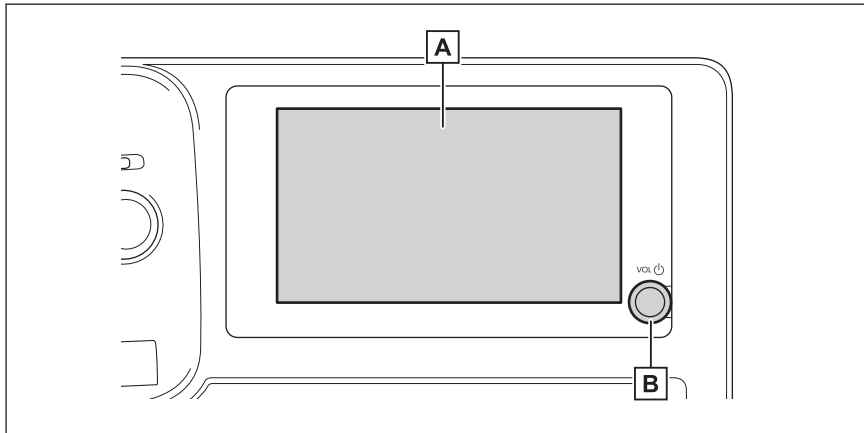
インストルメントパネル



A マルチメディアディスプレイ	P.12
B ヘルプネットスイッチ	P.243
C ステアリングスイッチ オーディオを操作する	P.34
音声操作システムを使用する	P.39
電話をかける	P.207
D マイク	P.38
E USB 入力端子	P.36

- 1-1. マルチメディアシステムの基本操作**
- ディスプレイと操作スイッチ 12
 - マルチメディア画面の概要 14
 - メインメニュー 15
 - ステータスアイコンの見方 17
 - タッチスクリーンの操作 19
 - 画面の基本操作 22
 - 文字や数字の入力 24
- 1-2. ナビゲーションの基本操作**
- 地図画面表示 26
 - 車の現在地の表示 28
 - 地図のスケール（縮尺）の切りかえ 29
 - 地図の向きの切りかえ 30
 - 地図の動かし方 31
- 1-3. オーディオの基本操作**
- オーディオの ON/OFF と音量を調整する 32
 - オーディオのソースを変更する 34
 - USB 機器を接続する 36
- 1-4. エージェント（音声対話サービス）**
- 音声で操作する 37
 - 音声操作を開始する 39
 - 音声コマンドを発話する 41
 - キーボードで情報を検索する 45

ディスプレイと操作スイッチ



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B [VOL]ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。(→ P.32)

☐ 知識

- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面にあると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

▲ 警告


安全のため、運転者は走行中に極力操作をせず、停車させてから操作をしてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

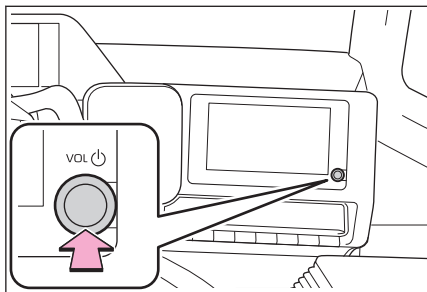
⚠ 注意

EV システムが停止した状態で長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。

システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

- [VOL ]ノブを 3 秒以上押し続けます。



マルチメディア画面の概要



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B マイクボタン

音声操作画面が表示され、音声でナビゲーションやオーディオなどさまざまな機能を操作できます。

C ステータスアイコン

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。

関連リンク

[メインメニュー \(P.15\)](#)

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

[音声操作を開始する \(P.39\)](#)

メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



: Android Auto™

Android Auto 画面を表示します。(→ P.114)

Android Auto のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。



: ナビゲーション

地図画面を表示します。目的地検索などナビゲーションに関する操作を行うことができます。(→ P.26,119)



: オーディオ

オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。(→ P.34,179)



: 電話

電話画面を表示します。Bluetooth®接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。(→ P.199)



: 車両連携

車両情報画面を表示します。充電スケジュール の設定や車両装備のカスタマイズなどを行うことができます。*1



: コネクティッド

アプリケーション画面を表示します。



: 設定

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

設定画面を表示します。マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。(→ P.53)

ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。



4:12

現在の時刻が表示されます。時計にタッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。



Bluetooth®接続されている携帯電話の接続状態が表示されます。アイコンにタッチすると、Bluetooth®機器の設定画面を表示できます。



接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。



接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。



通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。



Wi-Fi® Hotspot の接続状況が表示されます。

知識

- 携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- Wi-Fi®の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

- 次のような場所や状態で携帯電話を使用すると、Bluetooth[®]接続ができないことがあります。
 - 携帯電話がシートのうしろや下にあるとき
 - 携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われていたりするとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth[®]接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.58\)](#)

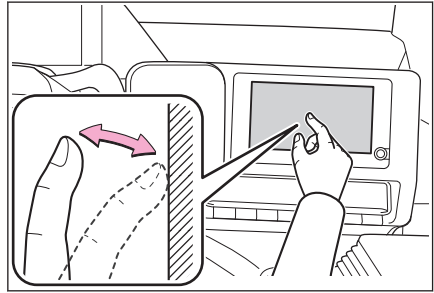
[Bluetooth[®]機器を設定する \(P.89\)](#)

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

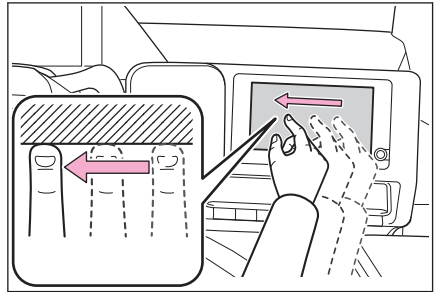
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



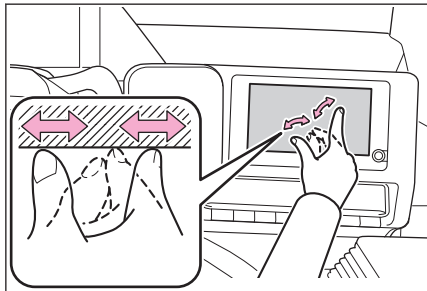
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた2本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



□ 知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く2回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルを変更できます。
- 画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- 走行中は操作が制限されます。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.58\)](#)

タッチスクリーン操作上の留意事項

□ 知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - 手袋などを装着しているとき
 - 爪で操作したとき
 - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
 - 画面に汚れや水分が付着しているとき
 - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
 - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき

- 画面に次のような金属製のものが接していたり、覆われていたりしている場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - アルミ箔を使用したタバコの箱
 - 財布やかばんの金属部品
 - 小銭
 - CD/DVD などのメディア、USB ケーブルなど
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、パワースイッチを OFF にし、再度システムを起動してください。

⚠ 注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでもタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

設定画面や楽曲検索など、複数の候補がある場合にリスト画面が表示されます。リストをスクロールして希望の項目を選択します。



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C メインエリア

サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

D 戻るボタン／画面タイトル

画面タイトルが階層表示されます。[<]にタッチすると前の画面に戻ることができます。

知識

走行中は操作が制限されます。

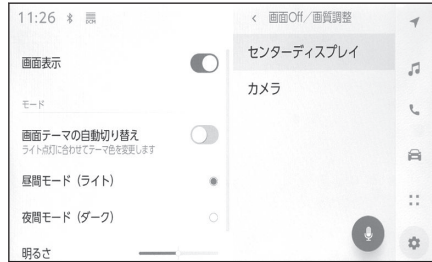
■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。



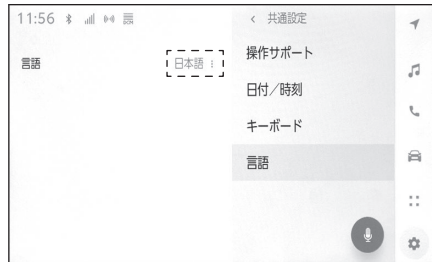
■ 設定の ON/OFF 切りかえ

項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。



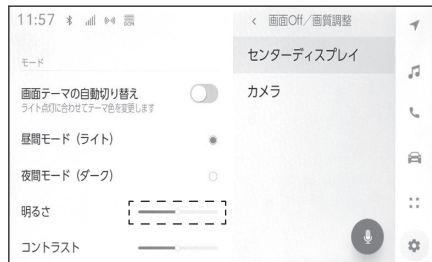
■ 複数オプションの設定項目

[⋮]が付いた項目にタッチすると、複数のオプションから項目を選択できます。



■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。



— 関連リンク —

[メインメニュー \(P.15\)](#)

文字や数字の入力

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。

▶ 画面例（日本語入力）



▶ 画面例（英字入力）



✕ : キーボードを終了して前の画面にもどります。

◀ ▶ : カーソルを移動します。

⋮ : 表示されている以外の予測変換候補を表示します。

✕ : 1つ前の文字を消去します。



: キーボードの種類を切りかえます。



: 大文字と小文字を切りかえます。

[検索]: 入力した文字を確定して検索を実行します。



: キーボードを閉じます。



123

: 数字や記号の入力モードに切りかえます。


ABC

: 英字の入力モードに切りかえます。

□ 知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。
- []を長押しすると、キーボードの種類を直接選ぶことができます。
- []をダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

地図画面表示

地図画面上に表示される情報の説明および役割を説明します。地図画面を表示するには、メインメニューの[]にタッチします。



- A** 自車位置マーク
現在位置と車が向いている方角を表示します。
- B** レーン（車線）表示
通過および分岐する交差点の車線を表示します。（地図データに情報のある交差点のみ）
目的地案内中は走行を推奨する車線がハイライト表示されます。
- C** 名称表示
走行している道路の名称を表示します。（地図データに情報のある地点のみ）
- D** スケール表示
表示させている地図の縮尺を表示します。
- E** 方位マーク
地図の方角を表示します。タッチすると地図の向きが切りかわります。
- F** 拡大／縮小ボタン
地図の表示を拡大／縮小します。
- G** 表示設定ボタン
地図オプション画面を表示し、施設記号や交通情報など地図上に表示する情報を変更することができます。
- H** 目的地ボタン
目的地の検索画面を表示します。
- I** マイクボタン
音声操作画面を表示します。

 知識

本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、VICS 非表示の画面を使用しています。

関連リンク

[車の現在地の表示 \(P.28\)](#)


[地図の向きの変更 \(P.30\)](#)



[音声で操作する \(P.37\)](#)

[地図表示設定 \(P.125\)](#)

[目的地検索について \(P.133\)](#)





車の現在地の表示

現在地は自車位置マーク[]で表示されます。

地図画面をスクロールしたとき、[]
またはメインメニューの[]にタッチ
すると、現在地に戻ります。



知識

- 走行中は表示される道路が制限されます。(幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。) ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および補機バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク[]が表示されている(自車位置マーク[]がずれている)ことがあります。ただし、地図の自車位置マーク[]がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報を利用して、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS 情報が利用できず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。
- 地図色によって自車位置マーク[]の形状は変わります。
- 地図データに情報がなければ、路線名/路線番号は表示されません。

— 関連リンク —

[現在地を修正する \(P.77\)](#)

地図のスケール（縮尺）の切りかえ

地図画面上の[+]または[-]にタッチして、地図を拡大／縮小することができます。

- 以下の操作でも地図を拡大／縮小することができます。
 - ピンチイン／ピンチアウト操作
 - ダブルタップで拡大：画面に素早く2回タッチ
 - タッチで縮小：画面に2本指を揃えてタッチ
- [+]／[-]を長押しすると無段階に縮尺が切りかわります。



関連リンク

[タッチスクリーンの操作 \(P.19\)](#)

市街図の表示

地図を拡大したときに、市街図を表示させることができます。

スケール表示が50mのとき[+]にタッチします。


市街図表示を解除するときは、[-]にタッチ、または画面のピンチイン操作をします。

知識

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。

地図の向きの切りかえ

車の進行方向に合わせて地図の向きを切りかえることができます。お好みに合わせて変更してください。

地図画面上の[]にタッチするごとに、ノースアップ表示、ヘディングアップ表示または3D表示に切りかわります。



：ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



：ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



：3D表示

地図を立体的に表示させることができます。3D表示に切りかえているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

知識

- 3D表示の角度を調整することができます。
- ヘディングアップ表示と3D表示は、目的地の設定で呼び出した地図や全ルート図表示画面などの現在地画面以外の地図にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または3D表示に戻ります。

— 関連リンク —

[俯角設定 \(P.70\)](#)

地図の動かし方

タッチした地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。
地図上の地点にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心になるように移動します。
- タッチした地点に施設情報がある場合は詳細が表示されます。
- 地図をスクロールして任意の地点で [📍] にタッチすると、新規目的地／経路地として設定することができます。
- 地図をスクロールして任意の地点で [♡] にタッチすると、お気に入りに登録することができます。
- [🏠] またはメインメニューの [🏠] にタッチすると、現在地に戻ります。



📄 知識

画面のフリック操作やドラッグ操作で地図を移動させることもできます。

— 関連リンク —

[タッチスクリーンの操作 \(P.19\)](#)

[地図の向きの切りかえ \(P.30\)](#)

[地点情報を表示する \(P.121\)](#)

オーディオの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。パワースイッチが ACC*¹ または ON のときに使用できます。

知識

■ ACC カスタマイズが「OFF」のとき

パワースイッチが OFF の状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。マルチメディアシステムの電源を OFF にしたいときは次のいずれかの操作を行ってください。

- [VOL ]ノブを押す

注意

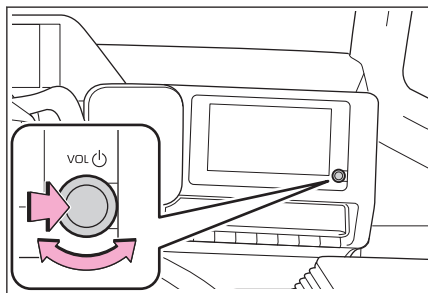
- EV システムが始動していない状態で、オーディオシステムを長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ [VOL]ノブで操作する

[VOL]ノブ

押すごとにオーディオの ON/OFF が切りかわります。

まわすと音量が切りかわります。



■ ステアリングスイッチで操作する

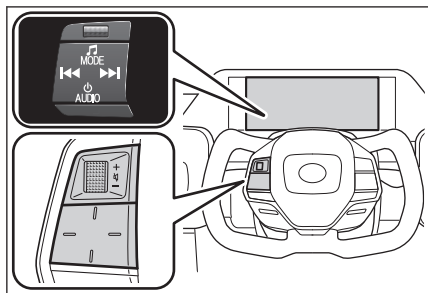
[]スイッチ

オーディオの音量を調整します。

[AUDIO]スイッチ

押すごとにオーディオの ON/OFF が切りかわります。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの



*1: カスタマイズメニューから ACC カスタマイズの ON/OFF を切り替えることができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

オーディオのソースを変更する

再生するオーディオソースを変更します。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 希望のソースにタッチします。



知識

- 本車両では、ラジオや交通情報など一部のオーディオソースを利用することができません。
- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。
- Android Auto を接続しているときは、USB オーディオおよび USB ビデオを利用できません。

ステアリングスイッチでソースを変更する

ステアリングスイッチでソースの変更ができます。

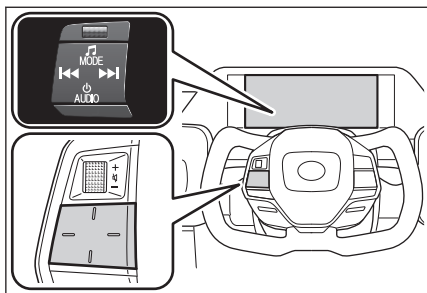
[🎵 MODE]スイッチ

ソースが順番に切りかわります。

押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

ソース選択画面のボタンの配置を変更すると、切りかわる順番もかわります。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



ソース選択画面のリストの配置を変更する

ソースリストの配置を変更できます。

- 配置を変更したいソース右側の [≡] をドラッグ操作してリストを変更します。

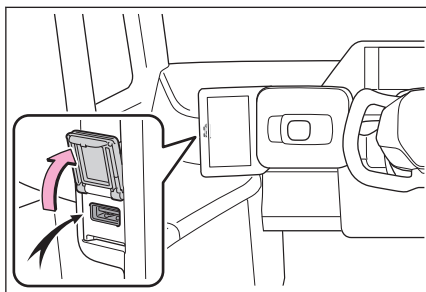


USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

● USB ケーブルを端子に接続します。

USB メモリーを接続するときは USB 端子に直接接続してください。



□ 知識

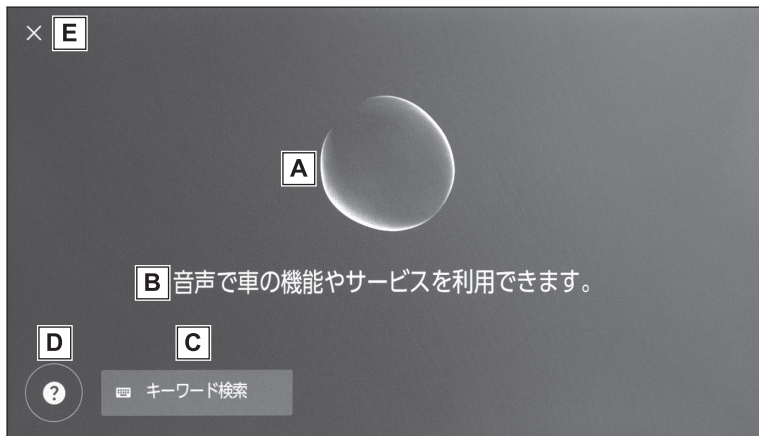
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- USB ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

音声で操作する

エージェント（音声対話サービス）を使用して、ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー電話といったさまざまな機能を、音声で操作できます。T-Connectをご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した情報検索を行うこともできます。



A 音声認識ステータスが表示されます。



: 発話待ち



: 聞き取り中



: 音声認識処理中

B 音声操作システムの応答や認識結果がテキストで表示されます。

C キーボード画面を表示します。

キーボードを使用してさまざまな情報を検索できます。

D 音声操作の発話例がリストで表示されます。

音声操作でよく使用される発話の一例を、機能ごとに確認できます。

E 音声操作画面を閉じます。

知識

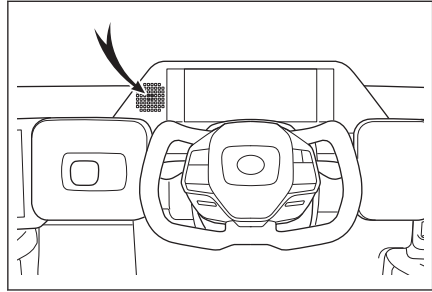
- T-Connect の接続状況によって、画面右上に以下のメッセージが表示されることがあります。
 - 「オンラインサービスはご利用できません」：T-Connect 契約がない。
 - 「インターネットに接続していません」：インターネットに接続できない。
- 運転中は、音声操作画面がバナーで表示されます。

— 関連リンク —

[キーボードで情報を検索する \(P.45\)](#)

マイク位置

マイクはメータークラスターに設置されています。




対応言語

エージェント（音声対話サービス）の対応言語は日本語のみです。

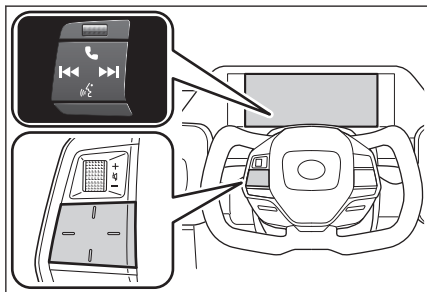
音声操作を開始する

次のいずれかの操作で音声操作をはじめることができます。


■ トークスイッチを押す

ステアリングの[]スイッチ（トークスイッチ）を押します。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



■ マイクボタンにタッチする

画面の[]にタッチします。



📖 知識

- エージェント（音声対話サービス）は、正しく発話しないと認識されないことがあります。次の点にご留意の上、ご使用ください。
 - ハッキリした声で発話してください。
 - 騒音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、窓を閉めてください。
 - エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
 - 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されないことがあるため、音量を下げてください。
 - 複数人で同時に話すと認識されないことがあります。
- 音声ガイドの ON/OFF は、音声操作設定画面で変更できます。
- エージェント（音声対話サービス）の音声ガイドの音量は次の方法で調整できます。
 - 音声ガイド中にオーディオシステムの音量を調整する。
 - [音声&オーディオ]設定画面の[システム音量]を調整する。



— 関連リンク —

[音声操作の設定を変更する \(P.62\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

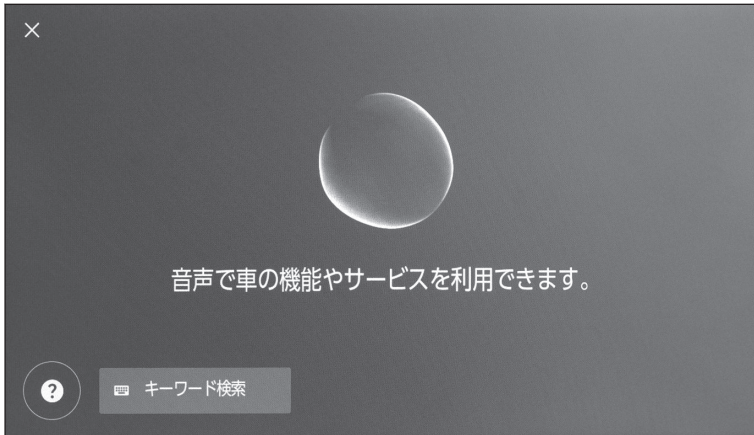
音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- 「キャンセル」と発話します。
- 音声操作画面の[]にタッチします。
- ステアリングの[]スイッチ（トークスイッチ）を押し続けます。

音声コマンドを発話する

音声操作画面が表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。



知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、エージェント（音声対話サービス）が通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話してください。
- 何をどうしたいかがわかるように発話すると、エージェント（音声対話サービス）が発話を認識しやすくなります。たとえば目的地を名称で検索する場合、名称のみを発話するのではなく、「近くのコンビニに行きたい」のように名称と動詞を含めて発話してください。

機能一覧

音声で操作ができる主な機能と発話例の一覧です。

使用できる機能は、車両や搭載されるシステムによって異なる場合があります。

音声操作の発話例については、Web サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/service/agent.html>) もご覧ください。



■ 共通コマンド

動作	発話例
最初からやり直す	「最初からやり直す」
音声操作を終了する	「キャンセル」
音声操作のヒントを聞く	「ヘルプ」
前の画面に戻る	「戻る」
リストの番号を選択する	「1 番目」
リストを次のページ／前のページに送る	「次のページ」「前のページ」

■ 目的地検索^{*1}

目的地を施設の名称やジャンル、住所から設定することができます。

動作	発話例
目的地を名称で検索する	「<施設のカテゴリ／施設名称>を探して」「近くの喫茶店に行きたい」
クラウド情報を利用して施設を検索する	「駐車場があるコンビニを探して」
目的地を住所で検索する	「<住所>に行きたい」
自宅を目的地に設定する	「自宅へ戻る」

■ ナビゲーション操作^{*1}

地図の操作や目的地の削除などができます。

動作	発話例
地図のタイプを変更する	「地図を 3D に変更」
地図を拡大／縮小する	「地図を拡大して」「地図を縮小して」
地図を表示する	「地図を見せて」
目的地までの所要時間を聞く	「所要時間を教えて」
目的地を削除する	「目的地を消して」
目的地の履歴を表示する	「目的地の履歴を見せて」
ETC 料金を聞く	「ETC の料金を教えて」

■ オーディオ操作

USB メモリー、Bluetooth[®]オーディオなどの操作ができます。

メディアに登録されているアーティスト名、アルバム名、曲名で指定できます。

^{*1}: コネクティッドナビ利用時

動作	発話例
オーディオの音量を上げる／下げる	「音量を上げて」「音量を下げて」
オーディオをミュートする	「ミュートして」
次の曲／前の曲を再生する	「次の曲を再生」「前の曲を再生」
楽曲を指定して再生する*1	「<アーティスト名>の曲を再生」「<アルバム名>をかけて」「<楽曲名>を再生して」
オーディオソースを切りかえる	「<オーディオソース>に切りかえて」

■ ハンズフリー電話操作

車両に接続されている Bluetooth[®]携帯電話で電話をかけることができます。

連絡先に登録されている名前、電話種別を指定できるほか、電話番号からかけることもできます。

動作	発話例
電話帳の連絡先に電話をかける	「<連絡先>に電話」
電話番号でかける	「<電話番号>にかけて」
発信／着信履歴を表示する	「電話履歴を表示」
Bluetooth [®] 接続画面を表示する	「Bluetooth 設定画面を表示して」

■ 情報検索サービス

T-Connect のサービスを利用して情報を検索することができます。

動作	発話例
天気情報を聞く	「明日の東京の天気を教えて」
ニュースを聞く	「スポーツのニュースを教えて」
株価情報を聞く	「トヨタの株価を教えて」

■ 車両機器操作

車両装備の操作ができます。

動作	発話例
オドメータを表示する	「オドメーターを表示して」
トリップメーター A を表示する	「トリップ A を表示して」
カメラ映像を表示する	「バックビューを表示して」「ワイドフロントビューを表示して」「ムービングビューを表示して」
カメラ映像を切りかえる	「カメラ画像を切りかえて」

*1: USB 接続した機器に登録されている楽曲が再生できます。

■ 車両情報

航続可能距離などの情報を確認することができます。


動作	発話例
航続可能距離を聞く	「走行可能距離を教えてください」
平均車速を聞く	「平均車速を教えてください」

— 関連リンク —

[音声操作の設定を変更する \(P.62\)](#)

キーボードで情報を検索する

キーボードを使ってさまざまな情報を検索できます。

- 1  キーワード検索]にタッチします。

検索履歴がある場合には履歴画面が表示され、履歴から選択できます。



- 2 検索したいジャンルを選択します。

[目的地]：住所／施設名／電話番号／エリア／通り名／交差点などを検索できます。

[オーディオ]：アルバム／アーティスト／曲名／プレイリスト／ジャンル／放送局名などを検索できます。

[電話]：電話帳に登録されている名称／電話番号などを検索できます。

[設定]：オーディオや電話などの設定項目を検索できます。

[車両]^{*1}：車両情報を検索できます。

- 3 検索キーワードを入力し、[検索]にタッチします。



- 4 検索結果のリストが表示されたら、希望の項目にタッチします。

知識

- 走行中は操作が制限されます。
- Android Auto を接続しているときは、検索を利用できません。

*1: グレードなどにより、表示されない場合があります。

2-1. マルチメディアシステムの初期設定	
ドライバーを登録する	48
2-2. 各種設定	
各種設定を変更する	53
2-3. ドライバー設定	
ドライバーの切りかえや登録をする	55
ドライバーの特定方法を設定する	57
2-4. 共通設定	
マルチメディアシステムの共通設定を変更する	58
2-5. 画面設定	
画面表示の設定を変更する	60
2-6. 音声操作設定	
音声操作の設定を変更する	62
2-7. 車両設定	
セキュリティ設定を変更する	63
ソフトウェア情報の確認や更新をする	65
2-8. ナビゲーション設定	
ナビゲーションの設定	68
地図表示設定をする	69
ルート設定をする	71
案内設定	74
その他設定	75
走行支援の設定	78
2-9. サウンド&メディア設定	
サウンドやメディアの設定を変更する	82
画面モードを切りかえる	84
画質を調整する	85
各ソースの音を調整する	86

2-10. Wi-Fi®設定

Wi-Fi® Hotspot を設定する 87

2-11. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する 89

ドライバーを登録する

マルチメディアシステムの初期設定として、オーナードライバーの登録を行い、ドライバー設定機能を有効にします。

ドライバー設定機能を利用することで、マルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。複数のドライバーで車両を利用する場合に、他のドライバーの設定を変更することなく車両を利用することができます。

ドライバー設定を利用しない場合は、ゲストドライバーモードで車両を使用できます。

ご利用には T-Connect 契約が必要です。

ドライバー設定について

マルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存し、乗車時に呼び出すことができます。

- オーナードライバーを含む計 3 名までのマイセッティングを車両に登録できます。
- マイセッティングには次のような設定情報が保存されます。
 - 一部のマルチメディア設定：対象項目は各種設定画面に表示されている項目^{*1}(→P.53)
 - 一部の車両設定：メーター表示や車両カスタマイズ設定など(センターに情報は保存されません。)
- 設定を変更すると、現在の設定情報が自動的に保存されます。
- マイセッティングを登録することにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。
- スマートフォンなど、ドライバーを特定するための Bluetooth[®]機器を登録することで、乗車の際、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。

■ TOYOTA アカウントの連携

- ドライバー設定のご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。
- スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使用して TOYOTA アカウントでログインすることで、T-Connect スタンダード (22) を契約している車両であれば、センターから同じマイセッティングを呼び出すことができます。
- 登録したドライバー名は、スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」で確認や変更ができます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのマイセッティングを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのマイセッティングを削除できません。
- 同じマイセッティングを別の車両で同時に使用できません。

*1: ただし一部項目は対象外です。詳細はトヨタ販売店にお問い合わせください。

- 一部のマルチメディア設定を変更すると、センターに保存されているマイセッティングが自動更新され、更新を知らせる画面が表示されます。
- 一部のマルチメディア設定はセンターに保存され、ドライバーを削除してもセンターに保存されたマイセッティングは削除されません。TOYOTA アカウントを削除した場合は、センターに保存されたマイセッティングの情報は削除されます。

関連リンク

ドライバーの特定方法を設定する (P.57)

オーナードライバーを登録してドライバー設定機能を有効にする

ドライバー設定のご利用にはおクルマと連携された TOYOTA アカウントが必要です。

- 1 パワースイッチを ACC または ON にしたときに、言語選択画面が表示されたら希望の言語にタッチします。

ドライバー登録を行う際の表示言語を選択します。ドライバー登録完了後、システム言語はデフォルト言語に戻ります。



- 2 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使ってドライバーを登録する場合は、[登録する]にタッチします。

- スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を持っていない場合は、[アプリのダウンロード]にタッチして、画面のQRコードからアプリをダウンロードしてください。



- ドライバーを登録しない場合は、[今は登録しない]にタッチします。画面の[次回から登録画面を表示しない]をタッチすると、次回からドライバー登録画面が表示されなくなります。

- 3 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を起動し、説明にしたがって画面のQRコードをスキャン、または認証コードを入力してドライバーを登録します。

- 4 [確認しました]にタッチします。

- センターに保存されているドライバー設定を使用するか、車両の設定を使用するかを選択する画面が表示される場合があります。表示された場合は、どちらの設定を使用するかを選択します。

- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

- 5 ドライバー登録後、ドライバーを認識するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。

機器の登録はあとから行うこともできます。

- 6 ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを特定するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。



□ 知識

- ドライバー登録完了後、システム言語はセンターに保存された言語になります。初回はデフォルト言語（日本語）、他の車両ですでにドライバー登録をしている場合は、その設定言語になります。
- ドライバーを登録しなかった場合でも、ドライバーリスト画面で登録を再開できます。

— 関連リンク —

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.55\)](#)

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.57\)](#)

マイセッティングを自動的に呼び出す

スマートフォンなど、ドライバーを認識する Bluetooth[®]機器を携帯して乗車することで、マイセッティングを自動的に呼び出すことができます。

- パワースイッチを ACC または ON にしたときに、車両はマイセッティングに登録された機器の検出を開始します。登録された機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。
- マイセッティングが割り当てられた機器が検出されない場合は、ゲストドライバーモードで車両の利用を開始します。
- [設定]にタッチするとドライバーリスト画面が表示され、マイセッティングの切り替えなどを行うことができます。
- ドライバーを特定する機器には、スマートフォンなどの Bluetooth[®]機器を登録することができます。




— 関連リンク —

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.55\)](#)

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.57\)](#)

マイセッティングを切りかえる

車両に登録されているマイセッティングのリストから、利用するマイセッティングを選択することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[]（ドライバー名称／車両名称）または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 「ドライバーリスト」から切りかえるマイセッティング名を選択します。



- 4 パスワードを入力します。
 - ドライバー設定画面で[パスワードによる設定ロック]を ON にしている場合に、パスワードの入力が必要になります。
 - TOYOTA アカウント作成時にスマートフォンアプリ「My TOYOTA+」で設定したパスワードを入力してください。
 - マイセッティングの切りかえが完了するとメッセージが表示されます。




知識

マルチメディアシステムが他のドライバーに設定されている機器を検知した場合、ポップアップが表示されます。[はい]にタッチするとマイセッティングを切りかえることができます。


ドライバー設定を削除する

次のいずれかの操作で、車両に登録されているドライバー設定を削除することができます。

ドライバーリストからドライバーの登録を削除する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[]（ドライバー名称／車両名称）または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 [ドライバーリスト]の[編集]をタッチして、削除するドライバーを選択します。
- 4 [削除]にタッチします。
選択したドライバーの登録が車両から削除されます。

マイセッティングからドライバーの登録を削除する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [マイセッティング]の[ドライバー設定]にタッチします。
- 3 [ドライバー削除]にタッチします。
- 4 [削除]にタッチします。


現在利用しているドライバーの登録が車両から削除されます。

知識



- 車両のオーナーとして登録されているドライバーを削除すると、その他全てのドライバーの登録が削除されます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのドライバー設定を削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのドライバー設定を削除できません。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 各項目を設定します。



設定項目	内容
「ドライバー」	
[] (ドライバー名または車種名)	現在のドライバー名が表示されます。タッチすると、マイセッティングの切り替えや登録を行うことができます。(→ P.55)
[][ゲスト]	
「マイセッティング」	
[ドライバー設定]	ドライバーを認識するための機器を登録できます。(→ P.57)
[Bluetooth/機器]	Bluetooth®機器の登録や編集を行うことができます。(→ P.89)
[共通設定]	時刻設定や表示言語など、マルチメディアの基本設定を変更できます。(→ P.58)
[Wi-Fi]	Wi-Fi®の接続や詳細設定を行うことができます。(→ P.87)
[画面 Off/画質調整]	画面のコントラストや明るさなどを調整できます。(→ P.60)
[音声 & オーディオ]	システムサウンドやオーディオソースに関する設定を変更できます。(→ P.82)

設定項目	内容
[ナビゲーション]	地図表示やルート案内などに関する設定を変更できます。(→ P.68)
[VICS/ETC2.0/TSPS]	VICS の情報表示、音声案内などの通知設定を変更できます。(→ P.166)
[音声操作]	エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。(→ P.62)
「車両設定」	
[車両カスタマイズ]	車両装備 ⁽¹⁾ や走行支援に関する設定を変更できます。(→ P.78)
[運転支援] ⁽¹⁾	運転や走行に関する機能の設定を変更できます。
[セキュリティ]	セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。(→ P.63)
[ソフトウェア更新]	ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。(→ P.65)




(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

知識


走行中は安全のため、操作ができない項目があります。

ドライバーの切りかえや登録をする

ドライバーの切りかえや登録を行います。ドライバーを登録することで、マルチメディアの個人設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[] (ドライバー名称/車両名称) または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。






設定項目	内容
「ドライバーリスト」	車両に登録されているドライバーがリストで表示されます。希望のドライバー一名にタッチして、利用するマイセッティングを切りかえることができます。ドライバー設定画面で[パスワードによる設定ロック]をONにしている場合は、パスワードの入力が必要です。 [編集]にタッチして、登録済みのドライバーを削除できます。(ゲストモードでは表示されません。)
[][新しいドライバーの登録]	新しいドライバーを登録します。登録するドライバーが、既に他の車両でドライバー登録をしている場合は、他の車両で設定した一部のマルチメディア設定を引き継ぐことができます。
[ゲストへの切り替え]	ゲスト用のドライバー設定に切りかえます。ドライバー設定画面で[パスワードによる設定ロック]をONにして使用することをおすすめします。(→ P.57) ゲストドライバー設定を使用することで、マイセッティングに保存されない個人設定を行うことができます。他人に車両を預ける場合は、ゲストへの切り替えにタッチすることで機器の個人特定が無効になり、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。検索履歴や個人設定以外のマイセッティングは、ゲストのマイセッティングに引き継がれます。

知識

走行中は安全のため、操作を行うことができません。


新しいドライバーを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[] (ドライバー名称/車両名称) または[][ゲスト]にタッチします。
- 3 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使ってドライバーを登録する場合は、[新しいドライバーの登録]にタッチします。
スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を持っていない場合は、[アプリのダウンロード]にタッチして、画面のQRコードからアプリをダウンロードしてください。
- 4 スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を起動し、説明にしたがって画面のQRコードをスキャン、または認証コードを入力してドライバーを登録します。
- 5 [確認しました]にタッチします。
登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。
- 6 ドライバー登録後、ドライバーを特定するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。
機器の登録はあとから行うこともできます。
- 7 ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。

ドライバーの特定方法を設定する

ドライバーを認識するための機器を設定します。

パワースイッチを ACC または ON にしたときに、登録した機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。




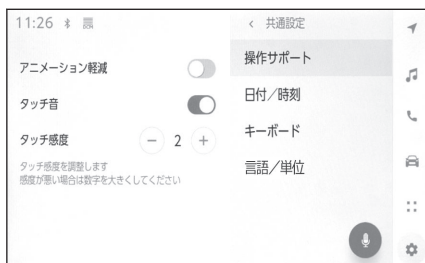
設定項目	内容
ドライバー名 ⁽¹⁾	ドライバー名が表示されます。 [編集]にタッチして、ドライバー名を変更できます。
「ドライバー認識の方法」	
「Bluetooth 機器」 ⁽¹⁾	スマートフォンなどの Bluetooth [®] 機器でドライバーの認識を行い、マイセッティングを呼び出します。[機器登録]にタッチして登録をします。(→ P.105)
[パスワードによる設定ロック] ⁽¹⁾	手動でマイセッティングを切りかえるときに、パスワードによるロックを設定します。
[設定の初期化]	現在選択されている一部のマルチメディア設定(音量、ナビゲーション、オーディオなど)を初期化します。
[ドライバー削除] ⁽¹⁾	現在選択されているマイセッティングを削除します。 オーナーとして登録されているマイセッティングを削除すると、車両に登録されたすべてのマイセッティングが削除されます。

(1) ゲストモードでは表示されません。

マルチメディアシステムの共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの基本設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[共通設定]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [操作サポート]

設定項目	内容
[アニメーション軽減]	画面が切りかわるときのアニメーション表示を軽減できます。
[タッチ音]	画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。
[タッチ感度]	スクリーンのタッチ感度を調整できます。

● [日付/時刻]

設定項目	内容
[オフセット]	時計を進めたり遅らせたりできます。
「時刻」	
[24 時間表示]	時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。
[GPS 時刻設定]	GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。
[手動時刻設定]	[GPS 時刻設定] を OFF にしたときに、手動で時刻を設定できます。
「日付」	
[日付フォーマット]	日付の表示形式を切りかえることができます。(月/日/年、日/月/年、年/月/日など)

● [キーボード]

設定項目	内容
「検索履歴」	
[キーボード入力結果の学習]	キーボードの入力結果を学習できます。
[文字学習履歴の削除]	キーボードの文字学習履歴を削除できます。
[検索履歴の削除]	キーボードの検索履歴を削除できます。

● [言語／単位]


設定項目	内容
[言語]	言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。
「単位」	
[単位の自動設定]	距離などの表示単位を地域に合わせて自動で設定できます。
[トリップインフォメーション単位]	[単位の自動設定]を OFF にしたとき、トリップインフォメーションの単位を手動で設定できます。

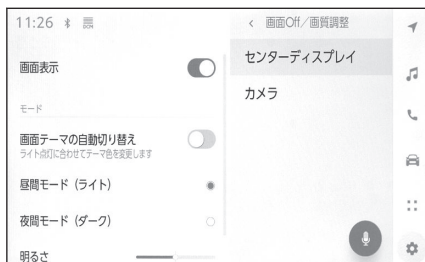
□ 知識

- 言語設定を変更した場合、すべての表示および音声案内が選択した言語に変更されるわけではありません。また、変更することによって、いくつかの案内が行われない場合があります。
- Android Auto の言語は接続している機器側で設定してください。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[画面 Off/画質調整]にタッチします。
- 3 各項目を選択します。



● [センターディスプレイ]

設定項目	内容
[画面表示]	画面表示の ON/OFF を設定できます。OFF にすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央のボタンをタッチします。
「モード」	
[画面テーマの自動切り替え]	ヘッドランプの点灯や消灯に合わせて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。
[昼間モード (ライト)]	[画面テーマの自動切り替え]を OFF にしたとき、手動で昼間モードに切りかえることができます。
[夜間モード (ダーク)]	[画面テーマの自動切り替え]を OFF にしたとき、手動で夜間モードに切りかえることができます。
[明るさ]	画面の明るさを調節できます。
[コントラスト]	画面のコントラストの強弱を調整できます。

● [カメラ]

設定項目	内容
「カメラ画面」	
[明るさ]	カメラ画面の明るさを調節できます。


設定項目	内容
[コントラスト]	カメラ画面のコントラストの強弱を調整できます。

□ 知識


- オーディオの画質調整方法は、「[画質を調整する](#)」(→ P.85)をご覧ください。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。
- 画面表示について
 - 画面表示が OFF のときに画面をタッチすると、画面中央に解除ボタンが表示されます。画面を表示させる場合は、解除ボタンをタッチしてしてください。3 秒間操作がない場合は、再び画面表示が OFF になります。
 - 画面表示が OFF の場合でも、ステアリングのトークスイッチを押したり、シフトポジションを R にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。

音声操作の設定を変更する

エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。


- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[音声操作]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
「エージェント」	
[マイクボタン]	[]ボタンの表示を ON/OFF できます。
[音声ガイド中の発話受付]	音声ガイダンス再生中の音声コマンド発話受付を ON/OFF できます。
「音声ガイド」	
[音声ガイド再生]	音声ガイダンスの ON/OFF を設定できます。

セキュリティ設定を変更する

セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[車両名称]	システム名称（車両名称）を表示します。 外部機器から Bluetooth®機器を検索したときに表示される機器名称です。タッチして名称を変更できます。
「プライバシー」	
[セキュリティロック]	個人情報保護のための、パスワードによるセキュリティロックを有効にできます。設定を ON にすると、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステム操作をするためのパスワード入力が必要です。
[セキュリティロックのパスワードを初期化]	設定したセキュリティロックのパスワードを初期化できます。
[全ての情報を初期化]	システムの全データを初期化して工場出荷状態にもどすことができます。


知識

- 全ての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。
- システムを初期化した場合、データを初期化前の状態に戻すことはできません。

関連リンク

[システムを再起動する \(P.12\)](#)

セキュリティロックを設定する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。
- 3 [セキュリティロック]にタッチします。
- 4 [OK]にタッチします。
- 5 4～15文字の英数字で任意のパスワードを設定します。
- 6 パスワードを再度入力します。


メッセージが表示されセキュリティロックが有効にかかります。

知識

- パスワード設定後、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要です。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数間違えて入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合はトヨタ販売店によるロック解除を行ってください。
- セキュリティ確保のため、パスワードを設定する際は、同じパスワードを使い回したり辞書に存在する言葉を使用したりしないでください。

ソフトウェア情報の確認や更新をする

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。より快適にご利用いただくため、マルチメディアシステムの機能や操作性向上を目的にソフトウェアの更新をします。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。
- 3 各項目を選択します。



設定項目	内容
「ソフトウェア更新」	
[更新ソフトウェアがあります]	[詳細]にタッチすると、ソフトウェアの更新情報を確認できます。更新対象の有無や更新内容を確認後、更新データのダウンロードとソフトウェア更新を行うことができます。更新データがない場合は[ソフトウェアは最新です]が表示されます。
[機種情報]	現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
[ソフトウェア更新]	ソフトウェアの更新を行うことができます。更新データがない場合は表示されません。
[履歴]	ソフトウェアの更新履歴を確認できます。更新履歴がない場合は表示されません。
[ライセンス情報]	ソフトウェアのライセンス情報を確認できます。
[更新通知]	ソフトウェア更新通知のON/OFFを設定できます。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新は、通信モジュール（DCM）を使って更新を行います。

知識

- 地図データは本サービスの更新対象ではありません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができないことがあります。
- ご不明点についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意


- ソフトウェア更新はおお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンにもどすことはできません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中もマルチメディアシステムの操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性があります。できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車(株)の配信サーバーに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車(株)は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。

通信モジュール (DCM) を使って更新する

マルチメディアシステムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。

1. ソフトウェア更新通知内のボタンにタッチします。
2. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。
 - 更新が完了するとメッセージが表示されます。
 - システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[はい]にタッチするとシステムが再起動します。
 - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で [履歴] にタッチします。

■ 手でソフトウェアの更新をする場合

1. メインメニューの[]にタッチします。
2. サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。
3. 「更新ソフトウェアがあります」の[詳細]にタッチします。
4. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にした

ときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。


- 更新が完了するとメッセージが表示されます。
- システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[はい]にタッチするとシステムが再起動します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で[履歴]にタッチします。

知識

- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK]にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- ソフトウェア更新の内容によっては、通信モジュール (DCM) を使った更新ができない場合があります。その場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

ナビゲーションの設定

地図の色や文字サイズなど、ナビゲーションの各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。
 - 地図表示設定
 - ルート設定
 - 案内設定
 - その他設定

関連リンク


[地図表示設定をする \(P.69\)](#)

[ルート設定をする \(P.71\)](#)

[案内設定 \(P.74\)](#)

[その他設定 \(P.75\)](#)

地図表示設定をする

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[県境案内]	県境イラスト表示の ON/OFF 設定をします。
[地図表示カスタマイズ]	地図の色や文字サイズを変更することができます。
「交通情報」	
[道路種別の表示]	交通情報の表示範囲の設定をします。 希望する表示範囲の道路にタッチしたあと、[OK]にタッチします。
「リアルタイム情報」	
[渋滞表示]	現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[空き道表示]	現況情報を利用した、すいている道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[規制情報]	規制情報がある道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[駐車場]	駐車場情報の表示の ON/OFF 設定をします。
[充電ステーション]	現況情報を利用した、充電ステーションの表示を ON/OFF します。
[施設アイコン表示設定]	周辺施設アイコンの設定をします。
[3D ビュー俯角設定]	地図 3D 表示時の俯角設定をします。

県境案内を設定する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。


- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [県境案内]にタッチします。

知識

- 同じ都道府県においても、進入経路によって県境イラストが異なる可能性があります。
- 県境沿いを走行する場合は、実際の県境より遅く通知されることがあります。

地図表示のカスタマイズ設定

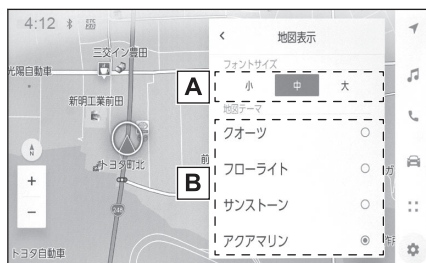
地図の色や文字サイズを変更することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図表示カスタマイズ]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。

A 地図上に表示される文字サイズを変更します。


B 地図色を変更します。



- 5 [OK]にタッチします。



俯角設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。


- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [3D ビュー俯角設定]にタッチします。

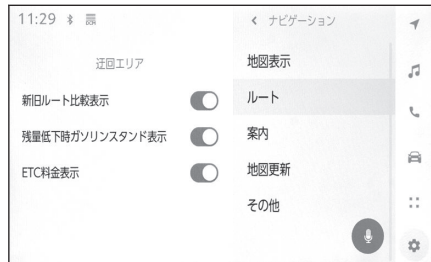
- 4 [] (角度を上げる) または [] (角度を下げる) にタッチします。

- 5 [OK]にタッチします。



ルート設定をする

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[迂回エリア]	迂回エリアの登録と編集を行います。
[新旧ルート比較表示]	新旧ルート比較表示の ON/OFF 設定をします。
[バッテリー低下時充電施設の表示]	バッテリー残量が低下した際に、充電ステーションのリストが自動で表示されます。
[ETC 料金表示]	全ルート図表示画面の料金案内を ETC 料金表示に切りかえます。 OFF にすると ETC を使用しない料金表示になります。

関連リンク


[迂回エリアの設定 \(P.71\)](#)

[検索結果リスト画面の見方 \(P.138\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.142\)](#)

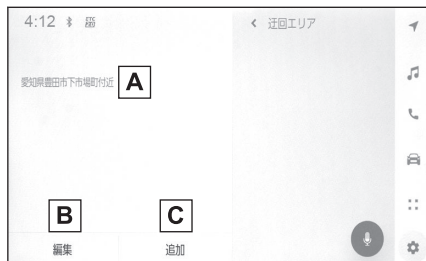
迂回エリアの設定

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回エリアとして登録しておく、そのエリアを迂回するルートを探索します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。

5 各項目を設定します。

- A 登録した迂回エリアのリストが表示されます。タッチするとタッチした迂回エリアを編集できます。
- B 登録した迂回エリアリストの削除を行います。
- C 迂回エリアを登録します。



迂回エリアを登録する

- 1 メインメニューの[設定]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 [追加]にタッチします。

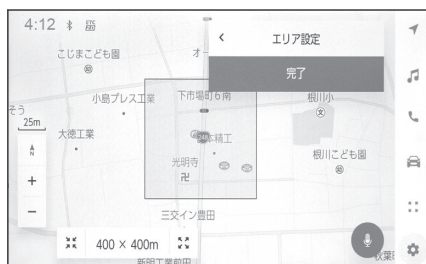
- 6 迂回エリアを地図画面からスクロールして検索します。

- 7 [完了]にタッチします。

迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

- 8 迂回範囲を[拡大] (広くする)、または [縮小] (狭くする) にタッチして設定し[完了]にタッチします。

- 9 編集画面で各項目を設定後、[完了]にタッチします。



知識

- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、[迂回メモリ地点] (迂回メモリ地点) に切り替えることができます。高速道路 (都市高速・有料道路を含む) およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

迂回エリアを編集する

- 1 メインメニューの[設定]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。


- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 修正したい迂回エリアにタッチします。
- 6 設定したい項目にタッチします。
 - A 迂回エリアの名称を変更します。
 - B 迂回エリアと迂回範囲を変更します。
- 7 [保存]にタッチします。

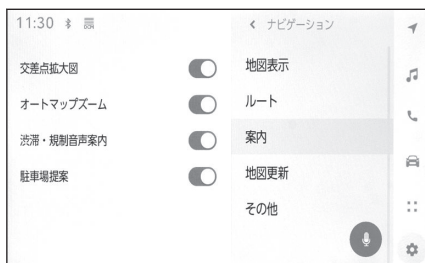


迂回エリアを削除する

- 1 メインメニューの[設定]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [ルート]にタッチします。
- 4 [迂回エリア]にタッチします。
- 5 [編集]にタッチします。
- 6 削除したい迂回エリアの[削除]にタッチします。
 - [全削除]：すべての迂回エリアを削除します。
 - [キャンセル]：迂回エリアの削除を中止します。
- 7 [完了]にタッチします。

案内設定

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [案内]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。




設定項目	内容
[交差点拡大図]	交差点拡大図の ON/OFF 設定をします。
[オートマップズーム]	オートマップズームの ON/OFF 設定をします。
[渋滞・規制音声案内]	渋滞・規制音声案内の ON/OFF 設定をします。
[駐車場提案]	駐車場提案の ON/OFF 設定をします。 目的地に設定した駐車場が満車である場合に付近の駐車場を提案します。

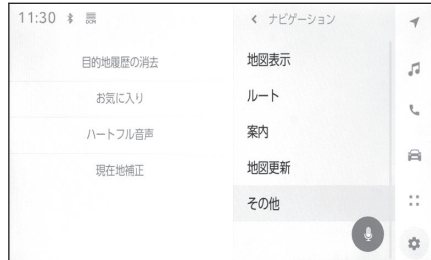
— 関連リンク —

[さまざまなレーン表示画面 \(P.155\)](#)

[渋滞や規制情報の音声案内 \(P.162\)](#)


その他設定

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[目的地履歴の消去]	目的地検索の履歴を削除します。 削除したい目的地にタッチしたあと[完了]にタッチします。すべて削除する場合は[全削除]にタッチします。
[お気に入り]	お気に入りを編集します。
[現在地補正]	自転車位置を修正します。

お気に入り設定

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 各項目を設定します。

- A** 登録したお気に入りのリストが表示されます。タッチしてお気に入りの情報を編集できます。
- B** 登録したお気に入りの削除を行います。



お気に入りリストの登録

地図スクロール時や地点情報画面で[♡]をタッチすると、表示地点をお気に入りに登録できます。



知識

お気に入りの保存件数は最大 400 件です。

関連リンク

[地点情報を表示する \(P.121\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.142\)](#)

お気に入りリストの編集

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 編集したいお気に入りにタッチします。
- 6 各項目を設定します。

- A お気に入りの名称を編集します。
- B 電話番号を編集します。
- C この地点を自宅として登録します。
- D この地点をよく行く地点として登録します。
- E 地図上に表示するアイコンを変更します。



- 7 [保存]にタッチします。



□ 知識


よく行く地点に登録すると、目的地設定の際に登録地点がお気に入りリストの上部に表示されます。

お気に入りリストの削除

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [お気に入り]にタッチします。
- 5 [編集]にタッチします。
- 6 削除したいお気に入りの[]にタッチします。
 - [全削除]：すべてのお気に入りを削除します。
 - [キャンセル]：お気に入りの削除を中止します。
- 7 [完了]にタッチします。

現在地を修正する

運転中、自転車位置マークはGPS信号によって自動的に修正されます。GPSの受信状態が悪く、自転車位置マークが自動的に修正されない場合は、手動で調整できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [その他]にタッチします。
- 4 [現在地補正]にタッチします。
- 5 地図を目的の場所まで移動して、[OK]にタッチします。
- 6 矢印にタッチし、自転車位置マークの方向を調整して[OK]にタッチします。


走行支援の設定


走行支援の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

▲ 警告

走行支援設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識／標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（）と音声で案内します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [一時停止案内]を設定します。

□ 知識

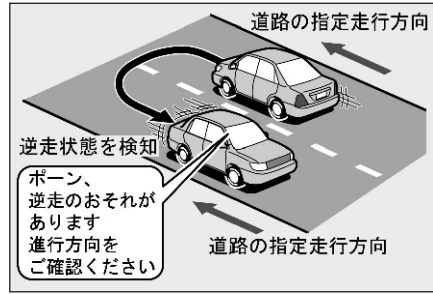
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
 - 地図データに情報のない地点
 - 自車位置が正確に特定できないとき
 - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
 - 一時停止交差点が連続するとき
 - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
 - 自車位置が正確に特定できないとき
 - 信号機付き交差点に変わったなど、地図データと実際の道路状態が変わったとき


逆走注意案内を設定する

サービス対象道路にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ボーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内します。


サービス対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。





- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [逆走注意案内]を設定します。

知識

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
 - ・ サービス対象道路以外を走行している場合
 - ・ 一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など、「本線、または本線につながる区間でのUターン、SA/PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合
 - ・ ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
 - ・ ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できない場合
 - ・ 地図データに情報のない道路を走行している場合
 - ・ 急激な回転をした場合
 - ・ 自転車位置補正、方位補正が行われた直後
 - ・ 料金所付近を走行している場合
 - ・ 本線への合流区間が短い場合
 - ・ スマート IC 付き SA/PA、その他特定の SA/PA である場合
- 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
 - ・ 自転車位置を逆走対象道路上と誤認識し、Uターン動作をした場合
 - ・ 自転車位置マーク[]の位置が正しくない場合
 - ・ 料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならないUターンを行った場合
 - ・ SA/PA 内での一方通行違反など、交通規制に従わない走行を行った場合

- 重大事故発生時など警察および道路管理会社の誘導によりUターンを行った場合


道路形状案内を設定する


注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

□ 知識



- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
 - 目的地案内開始直後
 - 再探索直後
 - 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。


踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク（）と音声で案内します。



- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [踏切案内]を設定します。


合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [合流案内]を設定します。

レーン案内を設定する

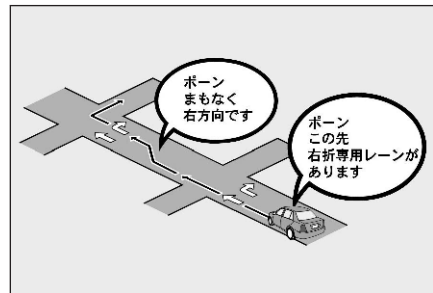
一般道を走行中に右折（左折）専用レーンのある交差点に近づくと、音声で案内します。また、高速道路を走行中にレーン数減少地点に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [レーン案内]を設定します。

□ 知識


- 右折（左折）専用レーンでは、案内マークは表示されません。
- 右折（左折）専用レーン案内の例：

一般道を走行中、直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折（左折）専用レーン案内はされません。この場合は「ポーンまもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。




事故多発地点案内を設定する


交通事故が多発している地点を案内します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [車両カスタマイズ]にタッチします。
- 3 [走行支援の設定]にタッチします。
- 4 [事故多発地点案内]を設定します。

□ 知識

高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（：黄色）が表示され、音声で案内します。

サウンドやメディアの設定を変更する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [音声&オーディオ]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● [音設定]

設定項目	内容
[レベル]	
[ASL]	車両の速度と連動して、自動的にオーディオの音量が調整されます。
[音声設定]	
[システム音量]	システム音声の音量を調整できます。
[ナビ案内音量]	ナビゲーション音声案内の音量を調整できます。
[通話中のナビ音声案内]	通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
[車速感応ボリューム]	高速道路を走行時に、音声ガイダンスの音量を自動的に上げることができます。
[運転支援時の音量]	運転支援システムの音声ガイダンス音量を調整できます。
[メッセージの自動読み上げ]	自動読み上げの ON/OFF を設定できません。

● [ソース共通]

設定項目	内容
[共通設定]	
[カバーアート表示]	音楽アルバムなどのカバーアートを表示します。


設定項目	内容
[ブレーキホールド中の動画視聴]	パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドが作動しているときに動画を視聴できます。

● [AM/FM]⁽¹⁾

設定項目	内容
[AM/FM]	
[Auto.P 設定]	<p>オートプリセットの設定方法を切りかえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [エリアデータベース]に設定していると、放送局データベースの情報を利用して、放送局をプリセットに登録します。 ● [受信放送局]に設定していると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[AM ラジオからワイド FM を利用]	AMとワイド FMを同時に放送している地域で、AM 放送を FM 補完中継局で受信できます。

- (1) 本車両にはラジオアンテナが搭載されていないため、ラジオおよび交通情報を利用することができません。

□ 知識

システム音声案内中に[VOL ]ノブをまわすと、音声案内の音量を調節できます。

画面モードを切りかえる

通常の映像とワイド映像を切りかえることができます。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
 - 2 [オーディオ選択]にタッチします。
 - 3 画面モードを切りかえたいソースにタッチします。
 - 4 [⋮]にタッチします。
 - 5 [画面設定]にタッチします。
- 映像モードのときに、ボタンが表示されます。
- 6 [ワイド設定]にタッチします。
 - 7 希望のモードを選択します。

[ノーマル]: 入力映像をよこ 4 : たて 3 の割合で表示します。

[ワイド 1]: 入力映像を画面に合わせて拡大して表示します。

[ワイド 2]: 入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



□ 知識

- 映像モードによって設定できるモードは異なります。
- 動画の見え方に違和感が生じないように黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

画質を調整する

映像のコントラストと明るさを調整できます。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
 - 2 [オーディオ選択]にタッチします。
 - 3 画質を調整したいソースにタッチします。
 - 4 [⋯]にタッチします。
 - 5 [画面設定]にタッチします。
- 映像モードのときに、ボタンが表示されます。
- 6 [画質調整]にタッチします。
 - 7 各項目を設定します。

「明るさ」：明るさを調整できます。

「コントラスト」：コントラストを調整できます。



□ 知識

映像モードによって設定できる項目は異なります。

各ソースの音を調整する

各ソースの音質や音量バランスを調整できます。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 音を調整したいソースにタッチします。

- 4 [⋮]にタッチします。

ソースによっては手順6に進みます。

- 5 [音設定]にタッチします。

- 6 各項目を設定します。

「Treble」：高音の強さを調整できます。

「Mid」：中音の強さを調整できます。

「Bass」：低音の強さを調整できます。

フェーダーとバランス：[●]を移動するとフェーダーやバランスを調整できます。

[リセット]にタッチすると中心にもどします。



知識

Treble/Mid/Bass の設定は、各ソースごとに独立して調整できます。


Wi-Fi® Hotspot を設定する

Wi-Fi® Hotspot 機能によりアクセスポイントの設定を変更できます。

この機能を使用するには、T-Connect の契約と車内 Wi-Fi® オプションの契約が必要です。

□ 知識

- 他の機能で Wi-Fi® 接続している場合、Wi-Fi® Hotspot は同時に使用できません。
- 接続可能な Wi-Fi® 機器は最大で 5 台です。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。



● 「Hotspot の設定」

設定項目	内容
[Hotspot]	Wi-Fi® Hotspot 機能の ON/OFF を設定できます。
[パスワード]* ¹	アクセスポイントのパスワードを変更できます。
[セキュリティ]* ¹	アクセスポイントのセキュリティ方法を変更できます。
[かんたん接続 (WPSプッシュ方式)]* ¹	<p>簡単設定によるアクセスポイントへの接続を受付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 接続台数が上限の場合、選択できません。 ● 受付時間を過ぎると接続できません。 ● WPS でサポートされている機器のみ接続できます。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

□ 知識

設定変更時には、Wi-Fi® Hotspot 機能を再起動する必要があるため、Wi-Fi® 接続されている機器はすべて切断されます。

*1: [Hotspot]が ON のときに表示されます。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® 機器使用上の留意事項 \(P.107\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot に接続する \(P.109\)](#)


[T-Connect とは \(P.234\)](#)

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

□ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては設定を選択できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth/機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから、設定する Bluetooth®機器にタッチします。

Bluetooth®機器が1台以上登録されていないと表示されません。

- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[電話]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[オーディオ]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示/非表示または ON/OFF されます。Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。切りかえによって接続がすぐに開始されるわけではありません。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

設定項目	内容
[Android Auto]	Android Auto を使用中に設定を OFF にすると、[電話]設定が ON になります。
[サブ機器として設定]	サブ機器に設定できます。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[サブ機器として設定]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[サブ機器設定の解除]	サブ機器から解除できます。
[切断]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。
[削除]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。

● 「音量」

設定項目	内容
[着信音量]	着信音量を調整できます。*1
[受話音量]	受話音量を調整できます。*1

● 「共通設定」

設定項目	内容
[着信音]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 既存の着信音を設定します。 着信相手の名前を読み上げる設定にします。
[連絡先の並び替え]	連絡先に登録してある名称の表示を次のように変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> 名／姓の順に変更できます。 姓／名の順に変更できます。
[通話履歴の削除]	ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。 [自動転送]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されません。

● 「連絡先」

*1: 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

設定項目	内容
[自動転送]	連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。 設定を OFF から ON に切り替えた場合、電話帳の自動転送が始まります。
[連絡先の画像表示]	連絡先画像の表示設定を ON/OFF できます。 [自動転送]設定が ON でなければ、連絡先の画像をマルチメディアにダウンロードできません。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.94\)](#)

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.97\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.105\)](#)

[Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.106\)](#)

[Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 \(P.194\)](#)

[ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.200\)](#)

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項	94
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル	97
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する	98
Bluetooth®機器の登録を削除する	101
Bluetooth®機器との接続	102
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する	105
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する	106

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項	107
Wi-Fi® Hotspot に接続する	109

3-3. Android Auto の使い方

Android Auto 使用上の留意事項	112
Android Auto を使用する	114
Android Auto が故障したとお考えになる前に	116

Bluetooth[®]機器使用上の留意事項

Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- Bluetooth[®]は 2.4GHz 帯周波数を用いた無線通信を行うベストエフォート型機能です。
- Bluetooth[®]と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi[®]と同時使用する場合には、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth[®]と Wi-Fi[®]が相互に干渉することで、互いに画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。Bluetooth[®]機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth[®]機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。(Bluetooth[®]機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます)
- Bluetooth[®]携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi[®]機能 (Wi-Fi[®] Hotspot、Miracast[®]) と Bluetooth[®]機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。この場合は、Wi-Fi[®]機能を OFF に設定にすると快適に利用できる場合があります。
- Bluetooth[®]機器は、Bluetooth[®]接続により電池が早く消耗します。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業／科学／医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。(上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します) この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth[®]接続している携帯電話で Miracast[®]を使用している場合は、Bluetooth[®]オーディオの音が出ないことがあります。Miracast[®]を切断すると Bluetooth[®]オーディオの音が出るようになりますことがあります。
- 緊急通報中は、Bluetooth[®]接続が切断されます。緊急通報終了後に切断された Bluetooth[®]機器が再接続されます。

▲ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

▲ 注意

- Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth[®]通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

Bluetooth[®]通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステム内に内蔵されています。植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth[®]オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth[®]オーディオとハンズフリー電話とで異なる Bluetooth[®]対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のような場合があります。
 - 携帯電話の Bluetooth[®]接続が切断されることがあります。
 - ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
 - ハンズフリー電話の動作が遅くなる場合があります。
- Bluetooth[®]オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声途切れることがあります。
- 連絡先データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- 携帯電話を利用する際には、動作確認済携帯電話をトヨタ販売店にお問い合わせください。

— 関連リンク —

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

[Wi-Fi[®] 機器使用上の留意事項 \(P.107\)](#)

[Bluetooth[®] オーディオの再生についての留意事項 \(P.194\)](#)

[Miracast[®]の再生についての留意事項 \(P.198\)](#)

[ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.200\)](#)

Bluetooth[®]の仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべての Bluetooth[®]端末において動作を保証しているわけではありません。

■ 対応 Bluetooth[®]仕様


Bluetooth[®] Core Specification Ver. 5.0

■ 対応プロファイル

- HFP (Hands Free Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.8
ハンズフリーを行うためのプロファイル
- PBAP (Phone Book Access Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.2.3
連絡先データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル
- OPP (Object Push Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.2.1
連絡先データの転送を行うためのプロファイル
- SPP (Serial Port Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.2
 - Bluetooth[®]搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
 - スマートフォン連携を行うためのプロファイル
- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.3.2
オーディオを転送するためのプロファイル
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
サポートしているバージョン: Ver. 1.6.2
オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル


Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する

ハンズフリー電話や Bluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動で Bluetooth®接続されます。Android Auto を USB で接続したときは、自動的に機器登録されます。

Bluetooth®機器が1台も接続されていない場合、ステアリングの[]スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話と Bluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は、5台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大2台までです。(ハンズフリー電話を2台接続するには、ドライバーの特定が必要です。)
- Bluetooth®機器側の操作は、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth®機器を使用する場合は、Bluetooth®機器の数だけ登録を繰り返してください。
- PIN コードとは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- Miracast®を利用中に Bluetooth®機器を登録をすると、Miracast®の音が途切れることがあります。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 [機器登録／切り替え]にタッチします。

4 [見つからなかった場合]にタッチします。

他の機器がすでに登録されている場合、**[機器の新規登録]** > **[OK]** > **[見つからなかった場合]**の順でタッチします。



5 メインエリアから登録する機器にタッチします。

- 機器名ではなく、Bluetooth®アドレスで表示される場合があります。
- メインエリアに登録したい機器が表示されない場合は、Bluetooth®機器からの登録を試してください。
- Bluetooth®機器の機種により、特定の画面をBluetooth®機器で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくはBluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

6 表示されているPINコードが、Bluetooth®機器に表示されるPINコードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によってはBluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFPに対応したBluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録したBluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.55\)](#)

[Android Auto 使用上の留意事項 \(P.112\)](#)

Bluetooth®機器から登録する

マルチメディアシステムでBluetooth®機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth/機器]にタッチします。
- 3 [機器登録/切り替え]にタッチします。

他の機器がすでに登録されている場合、**[機器の新規登録]**にタッチします。

4 使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。

- Bluetooth®機器の操作手順にしたがってください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。



5 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されません。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

— 関連リンク —


[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Android Auto 使用上の留意事項 \(P.112\)](#)

Bluetooth®機器の登録を削除する

登録した Bluetooth®機器を削除できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth/機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから削除する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 [削除]にタッチします。
他のユーザーがメイン機器に設定している機器の場合、削除できません。
- 5 [削除]にタッチします。



知識

- 緊急通報中は、携帯電話の登録を削除できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては削除できない場合があります。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切り替えや登録をする \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.105\)](#)

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の2通りの方法があります。

□ 知識

- Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続機能が ON になっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが画面上部に表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチが ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- Miracast®利用中に Bluetooth®機器を接続すると、Miracast®の音が途切れることがあります。

■ Bluetooth®接続の再接続について

パワースイッチが ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的にを行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき
最大で2台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできません）
- ドライバーが設定されていないとき
最大で1台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできません）

□ 知識

- [切断]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続されません。
- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

 関連リンク

- ステータスアイコンの見方 (P.17)
- ドライバーを登録する (P.48)
- ドライバーの切りかえや登録をする (P.55)
- Bluetooth®機器を手動で接続する (P.103)

Bluetooth®機器を自動で接続する

パワースイッチを OFF から ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。

- ドライバーが設定されているとき
 - メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい順に自動で接続します。
 - 最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)
- ドライバーが設定されていないとき
 - 接続履歴の新しい順に自動で接続します。
 - 最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

知識


- Bluetooth®機器の機種により Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。
- [切断]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続されません。

 関連リンク

- ドライバーを登録する (P.48)
- ドライバーの切りかえや登録をする (P.55)

Bluetooth®機器を手動で接続する

自動接続ができなかったときや別の Bluetooth®機器に接続したいときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth/機器]にタッチします。
登録済みの Bluetooth®機器がない場合、メインエリアに機器検索画面が表示されません。Bluetooth®機器を登録してください。
- 3 サブメニューから接続する Bluetooth®機器にタッチします。

サブメニューに接続する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器を登録してください。

- 4 メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。



知識

Bluetooth®機器の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

関連リンク

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.98\)](#)

Bluetooth®機器を切断する

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth/機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから切断する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 メインエリアの[切断]にタッチします。




Bluetooth®機器をメイン機器に設定する

Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。

- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

□ 知識

他のドライバーにメイン機器として設定されている Bluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ドライバー設定]にタッチします。
- 3 メインエリアの[機器登録]または[機器変更]にタッチします。

メイン機器に設定可能な Bluetooth®機器が接続されていない場合は、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を検索し、マルチメディアシステムに新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。

- 4 メイン機器にする Bluetooth®機器を選択します。

現在接続している Bluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。



— 関連リンク —

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.98\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.103\)](#)

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する

Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーが特定されている状態で、Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていないときに設定できます。
- HFP に対応した Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。

登録済みの Bluetooth®機器がない場合、機器検索画面が表示されます。携帯電話の登録を行ってください。

3 サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。

設定する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器の登録を行ってください。

4 メインエリアから[サブ機器として設定]にタッチします。

サブ機器としてすでに設定されている場合、[サブ機器設定の解除]にかわりません。



関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.103\)](#)

Wi-Fi®機器使用上の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi®を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

Wi-Fi®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Wi-Fi®と Bluetooth®を同時に使用するとき

Wi-Fi®は 2.4GHz 帯周波数を用いた無線通信を行うベストエフォート型機能です。Wi-Fi®と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Bluetooth®と同時使用の場合には、相互に影響を与える可能性があります。

■ Wi-Fi®について知っておいていただきたいこと

□ 知識

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- DCM が通信圏外となった場合は、Wi-Fi® Hotspot 機能による通信は切断されます。
- 接続されている機器が Wi-Fi®圏外になった場合、接続は切断されます。
- Wi-Fi® Hotspot に接続している Bluetooth®機器を使用すると、通信速度が低下する場合があります。

- Wi-Fi® Hotspot を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客さまのご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。
- マルチメディアシステムは、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解または改造すると、法律により罰せられることがあります。

対応 Wi-Fi®通信方式

IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)

対応セキュリティ方式

- WPA2™
- WPA3™

— 関連リンク —

[ステータスアイコンの見方 \(P.17\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.94\)](#)

[Miracast®の再生についての留意事項 \(P.198\)](#)

[T-Connect とは \(P.234\)](#)


Wi-Fi® Hotspot に接続する

Wi-Fi® Hotspot 機能を使って Wi-Fi®のアクセスポイントを設定し、Wi-Fi®機器で接続できます。

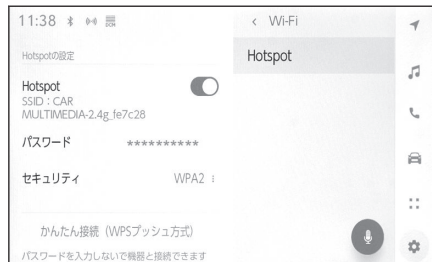
この機能を使用するには、T-Connect の契約と車内 Wi-Fi®オプションの契約が必要です。詳細についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

☐ 知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi® Hotspot は使用できません。
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
- 接続可能な Wi-Fi®機器は最大で 5 台です。

- 1 Wi-Fi®機器の Wi-Fi®機能を ON にします。
- 2 メインメニューの[]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。



- 5 Wi-Fi®機器からマルチメディアシステムの Wi-Fi® Hotspot に接続します。

- Wi-Fi®機器からの接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク名はメインエリアの Hotspot 下部に表示されます。
- ネットワークのパスワードはメインエリアに表示されます。パスワードが長い場合、省略されて表示される場合があります。画面にタッチしてパスワード編集画面で確認してください。

☐ 知識

第三者による不正利用を防ぐため、次のようなパスワードを設定することを推奨します。

- 13 文字以上とする
- アルファベット、数字を混在させる
- 定期的に変更する
- パスワードを書いた紙を人目の付くところに保管しない

- 他のパスワードの使いまわし、似たパスワードを使わない
- 車両名やナンバー、辞書などに存在する言葉を使用しない
- 辞書にある言葉を他の文字に置きかえた場合に、推測できるものは使用しない(例: cat→c@t)


関連リンク

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

[T-Connect とは \(P.234\)](#)

Wi-Fi® Hotspot に簡単設定で接続する

Wi-Fi®機器が Wi-Fi Protected Setup™ と互換性がある場合、より簡単に接続できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

- 4 メインエリアの[かんたん接続 (WPS プッシュ方式)]にタッチします。

マルチメディアシステムが簡単設定による受付を開始します。

- 運転中は選択できません。
- 接続台数が上限の場合、選択できません。

- 5 Wi-Fi®機器を操作して接続します。

- Wi-Fi®機器の簡単設定による接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 受付時間を過ぎると、接続失敗のメッセージが表示されます。



Wi-Fi® Hotspot を切断する

Wi-Fi® Hotspot 機能を OFF にすることで、Wi-Fi® Hotspot を切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。

- 3 メインエリアの[Hotspot]を OFF にします。



Android Auto 使用上の留意事項

Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。Android Auto を使用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

車内で Android Auto を使用するには、Google Play ストア™から Android Auto をインストールしてください。

■ 対応機器

Android Auto をサポートする Android™機器

対応機器については、<https://www.android.com/auto/> でご確認ください。*1

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB 端子に異物を入れないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

📄 知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB ケーブルを使用してください。
- Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能が変わります。
- Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Android Auto によって管理されます。
- Miracast®使用中に Android Auto を開始すると Miracast®が終了することがあります。
- [音声&オーディオ]設定画面で案内音量を変更できます。オーディオシステムの音量調整でも変更できます。
- Android Auto を接続中に、もう一台の Android Auto を使用することはできません。
- Android Auto は、Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。

*1: 動作を保証しているわけではありません。

- Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。
- Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- USB 接続の場合は、USB ケーブルを抜くと、Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、マルチメディアシステムの画面にかかります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。

— 関連リンク —

[オーディオの ON/OFF と音量を調整する \(P.32\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.94\)](#)

[Android Auto の再生についての留意事項 \(P.190\)](#)

[Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 \(P.194\)](#)



[Miracast®の再生についての留意事項 \(P.198\)](#)

Android Auto を使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。

Android Auto のホーム画面が表示されます。


- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - ・メインメニューの[]をタッチしてください。
 - ・メインメニューに[]が表示されていない場合は、Android Auto を使用するスマートフォンを選択し、[Android Auto] を ON にします。

3 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[]



マルチメディアシステムの画面を表示します。

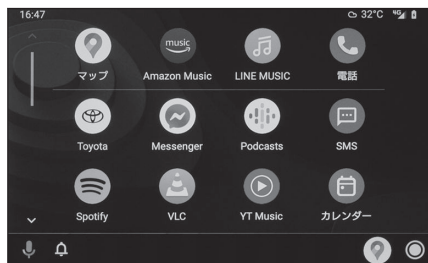
再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。

[]

Google Assistant™を起動します。

知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。



— 関連リンク —


[USB 機器を接続する \(P.36\)](#)

[音声操作を開始する \(P.39\)](#)

Bluetooth®機器を設定する (P.89)

Android Auto が故障したとお考えになる前に

Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

症状	処置
Android Auto が起動しない。	<p>接続するスマートフォンが Android Auto をサポートしているか確認してください。</p> <p>スマートフォン側で Android Auto が有効になっているか確認してください。</p> <p>接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。</p> <p>詳細については、次の URL をご覧ください。</p> <p>https://www.android.com/auto/</p>
	<p>登録済みスマートフォンの Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。</p>
	<p>USB 接続の場合、USB 接続に使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB 端子にスマートフォンを接続してください。</p> <p>Android Auto の接続に正しい USB 端子が使用されていることを確認してください。充電専用の USB 端子はスマートフォンアプリではご利用いただけません。</p> <p>充電専用の USB ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。</p> <p>データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。</p> <p>USB ケーブルに関する推奨要件は下記となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1.8m 以下の長さのケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 ● USB マーク  のあるケーブルを使用してください。 <p>これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。</p>
	<p>上記をすべて確認したあとに、Android Auto を接続してください。</p>
スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない。	<p>Android Auto は、YouTube 動画を表示することはできません。</p>
音声が出力されない。	<p>マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。</p>

症状	処置
音声が出力されない。	Google™がサポートするアプリが Android Auto に使用されていることを確認してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	マルチメディアシステムとの接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。
	USB ケーブルを別のケーブルに交換してください。
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能はマルチインフォメーションディスプレイとの仕様により表示されない場合があります。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	通話を終了してください。 スマートフォンを USB ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
	マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
Android Auto を終了した後、電話が接続されていた。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。

— 関連リンク —

- タッチスクリーン操作上の留意事項 (P.20)
- オーディオの ON/OFF と音量を調整する (P.32)
- USB 機器を接続する (P.36)
- サウンドやメディアの設定を変更する (P.82)
- Bluetooth®機器を設定する (P.89)
- Bluetooth®機器との接続 (P.102)

4-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ 120

4-2. 地図の情報について

地点情報を表示する 121

地図オプション画面 122

施設記号を表示する 123

地図表示設定 125

地図記号・地図表示について... 126

高速略図（ハイウェイモード）
について 130

4-3. 目的地の検索

目的地検索について 133

目的地検索画面の見方 134

検索結果リスト画面の見方 138

経由地を追加する 140

電話帳から目的地を検索する... 141

4-4. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方 142

目的地案内のデモを見る 145

ルート情報を表示する 146

ルートオプションを変更する... 147

他の経路に変更する 148

出入口 IC（インターチェン
ジ）を指定する 149

目的地の詳細情報を表示する... 150

通過する地点を設定する 151

経由地を編集する 152

4-5. ルート案内

ルート案内画面の見方 153

さまざまなレーン表示画面 155

ルートを再探索する 158

4-6. VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う 159

VICS・交通情報について 160

タイムスタンプの情報表示 161

渋滞や規制情報の音声案内 162

VICS 記号の内容を表示する 163

VICS・交通情報を表示する道路
を設定する 164

VICS・交通情報を表示する種類
を設定する 165

自動割込を設定する 166

自動割込表示時間を調整する... 167

新旧ルートと比較して表示す
る 168

VICS 記号や表示について 169

VICS について 171

4-7. 地図データ

地図データ情報 176

コネクティッドナビ

トヨタスマートセンターから最新の地図データと目的地情報を取得して画面に表示し、ナビゲーションを行うセンター通信型のナビゲーションサービスです。ご利用には T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約が必要です。

- 現在地周辺の最新地図をトヨタスマートセンターから取得して表示します。ルート案内時にはルート沿いの最新地図も取得します。
- トヨタスマートセンターからプローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを配信します。
- ルート案内中もトヨタスマートセンターで定期的なタイミングで最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。

関連リンク

[T-Connect の利用手続き \(P.238\)](#)

コネクティッドナビ

車載機にナビ地図を持っていないため、トヨタスマートセンターと通信できないエリアでは一時的に保持している地図を表示します。また、通信できないエリアではルート探索などのナビ機能をご利用できない場合があります。

□ 知識

- T-Connect 契約とコネクティッドナビのオプション契約がない場合はナビ機能を利用できなくなり、コンパス画面が表示されます。
- 一時的な地図の保持は、自車を中心とした約 80km 四方、およびルート沿い（目的地設定時）となります。保持しているエリア外において、通信できない状態が一定期間続く場合、地図表示ができないなど、ナビゲーション機能に制限がかかります。

地点情報を表示する

地図画面上の地点や施設の情報を確認することができます。

1 施設にタッチ、または希望の地点を長押しします。

希望の地点を短押ししたときは、タッチした地点の住所が表示されます。[♡]にタッチすると、その地点をお気に入りに登録できます。

2 希望の項目にタッチします。



A お気に入りに登録するためにタッチします。

B インターネットから取得した評価などの情報が表示されます。

C タッチした地点の住所や営業時間などの詳細な情報が表示されます。

D 施設に登録された電話番号に電話をかけるためにタッチします。

E 地点を目的地としてルート案内を開始します。

F 地点を目的地として全ルート図表示画面が表示されます。すでに目的地を設定している場合、経由地として追加することもできます。

G 同じ地点に複数の施設が重なっている場合に施設の一覧が表示されます。

タッチすると、その施設の情報表示に切りかわります。情報表示の[◀][▶]で切りかえることもできます。

関連リンク

[施設記号を表示する \(P.123\)](#)

地図オプション画面

施設記号や交通情報など地図画面上の表示を設定することができます。

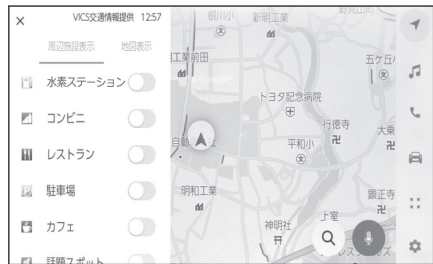
1 地図画面上の[***]にタッチします。



2 [周辺施設表示]または[地図表示]にタッチします。

[周辺施設表示]: 地図上に表示する施設記号を設定することができます。

[地図表示]: 地図上に表示する情報を設定することができます。



関連リンク

[施設記号を表示する \(P.123\)](#)

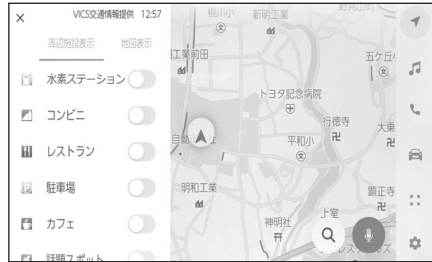
[地図表示設定 \(P.125\)](#)

施設記号を表示する



レストランなどの施設記号を地図上に表示することができます。


- 1 地図画面上の[***]にタッチします。
- 2 [周辺施設表示]にタッチします。
- 3 地図上に表示させたい施設にタッチします。

表示されている以外のジャンルを設定するときは[他の施設に変更]にタッチします。



知識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 800m スケールより広域の地図には表示されません。
- 表示することができる施設は、自車位置マーク[]または[]から半径約10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 800m スケールより詳細の地図には、表示施設が密集していると設定したジャンル単位で集約されます。(道路を見やすくするため)

アイコンの右上に集約された件数[]が表示され、タッチすることで集約された表示施設の確認を行うことができます。

- ナビゲーション設定からも表示施設の設定を行うことができます。
- 駐車場の施設記号の上部には料金が表示されます。
 - 駐車時間を設定することで現在の時刻からの駐車時間を考慮した料金が表示されます。
 - 駐車時間の設定は 1 時間～24 時間まで 1 時間単位で設定できます。
 - 駐車料金情報が無い場合は表示されません。
 - 駐車料金は予告なく変更となる場合があります。現地看板などをご確認のうえご利用ください。
 - 駐車料金が 1 万円以上の場合、「1 万円～」と表示されます。
 - 充電ステーションを表示する場合、[急速のみ]などの中から絞り込んで表示することができます。ただし、地図データによって、情報取得ができず、絞り込みができない場合があります。(デフォルトは[急速のみ]に設定されています。)

△ 注意

一部の駐車場では、利用する際に事前に専用サイトにて予約が必要になります。

— 関連リンク —

[地図表示設定をする \(P.69\)](#)

施設記号表示の設定について

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。
- 2 [周辺施設表示]にタッチします。
- 3 [他の施設に変更]にタッチします。
- 4 入れかえたい登録済みの施設にタッチします。
- 5 新しく登録する施設にタッチします。

話題スポット

周辺施設表示で[話題スポット]の表示を ON にすると、地図上に新しくオープンした施設などを表示することができます。

地図画面上のアイコンにタッチすると詳細が表示されます。営業時間などを確認できます。



地図表示設定

交通情報などの地図上に表示する情報を設定することができます。

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。
- 2 [地図表示]にタッチします。

[交通情報]: 交通情報の表示／非表示を切りかえることができます。

[高速略図]: 高速略図の表示／非表示を切りかえることができます。

[航続可能範囲]: 航続可能範囲の表示／非表示を切りかえることができます。

メータに表示されている航続可能距離を地図上に同心円で表示します。同心円内でも道路形状や混雑などの使用状況によっては到達できない可能性があります。

[走行軌跡]: 走行した経路（軌跡）の表示／非表示を切りかえることができます。

非表示に切りかえるときは、蓄積情報を消去するか確認のポップアップが表示されます。



関連リンク

[高速略図（ハイウェイモード）について \(P.130\)](#)

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。

- 1 地図画面上の[***]にタッチします。
- 2 [地図表示]にタッチします。
- 3 [走行軌跡]にタッチします。




























知識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500 図～1/512 万図で表示することができます。

地図記号・地図表示について




































































- 選択した地図色によって、道路の表示色および記号のデザインが異なります。
- VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。











表示	内容
 (橙色)	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
 (淡黄)	国道
 (白色)	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
 (青色)	水域
	都道府県界
 (緑色)	緑地
 (薄茶色)	駅舎・敷地

地図色				内容
サンストーン/ アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)/ フローライト	トパーズ	
				駅
				学校
				銀行等金融機関
				デパート
				ホテル
				競技場
				スキー場

地図色				内容
サンストーン/ アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)/ フローライト	トパーズ	
				ゴルフ場
				キャンプ場
				温泉
				海水浴場
				スケート場
				ヨットハーバー
P		P	P	駐車場
				国の機関
				郵便局
				公園、緑地
				消防署
				市役所
				町村役場
				都道府県庁
				警察署
				病院
				港湾
				空港
				フェリー発着場
				道の駅
				城

4-2. 地図の情報について

地図色				内容
サンストーン/ アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)/ フローライト	トパーズ	
				神社
				仏閣
				教会
				名所・観光地
				幼稚園
				工場
				変電所
				ビル
				NTT
				灯台
				山岳
				霊園・墓地
				その他の施設
				SA (サービスエリア)
				PA (パーキングエリア)
				IC (インターチェンジ)
				交差点
				スマート IC
				踏切
				事故多発地点
				開かずの踏切 ⁽¹⁾

地図色				内容
サンストーン／ アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)／ フローライト	トパーズ	
				県庁所在地
				市町村 東京 23 区
				東京 23 区以外 の区
				トヨタ販売店

(1) 列車がひんぱんに通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- 地図データに収録されている開かずの踏切データは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

— 関連リンク —

[地図表示設定をする \(P.69\)](#)

高速略図（ハイウェイモード）について

高速道路に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。



- A 施設の名称を表示
- B 現在地からの距離を表示
- C VICS／交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）、黒色（通行止め）を表示
 「VICS／交通情報の表示設定」で、[一般道のみ]に設定しているときでも、VICS／交通情報を表示できます。
- D 施設にある設備を表示
 - 設備の数が多い場合は表示されない設備もあります。
- E 表示区間を切りかえているときにタッチすると、自車が走行している区間に戻る

[**P**空]：駐車場の混雑状況が表示されます。空き状態は[空]、混雑状態は[混]、満車状態は[満]と表示されます。

[**K**][**!**]：工事や路上障害物などによる交通規制がある場合に表示されます。

[**立**立ち寄る **駅**]：道の駅を経由地に追加します。

関連リンク

[地図表示設定 \(P.125\)](#)

設備のマークについて

記号	内容
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	コンビニ
	オストメイトトイレ
	インフォメーション
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	郵便ポスト
	ハイウェイ温泉・銭湯
	FAX サービス
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	休憩所
	ハイウェイオアシス
	レストラン
	コインシャワー
	充電ステーション


 知識

- 反対車線の情報は表示されません。
- ガソリンスタンドなど固有のロゴマークが出ることがあります。
- SA・PAに入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。

- 目的地案内中るとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

目的地検索について

目的地検索画面から目的地を検索し、設定できます。

- 1 地図画面上の[]にタッチします。
- 2 目的地検索画面が表示されます。目的地の検索方法にタッチします。



- 3 検索結果リスト画面が表示されます。リストから目的地に設定したい項目にタッチします。
 - すでに目的地が設定されているときは、[新規目的地] (新しく目的地を設定)、または[経由地追加]にタッチします。
 - T-Connect 契約時は、トヨタスマートセンター上のコンテンツを活用した目的地検索を行うこともできます。

関連リンク

[キーボードで情報を検索する \(P.45\)](#)

[経由地を編集する \(P.152\)](#)

目的地検索画面の見方



- A** 施設名、住所、電話番号などを入力して検索します。
- B** カーソルを移動します。
- 続けてタッチすると、連続してカーソルが移動します。
 - 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。
 - 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
 - 変換範囲のみ変換するときには、希望の候補にタッチできます。変換範囲（文節）が間違っているときは、[◀]・[▶]にタッチして変換範囲を修正できます。
- C** お気に入り登録されている地点のリストを表示します。
お気に入り地点を登録しているときのみ使用できます。
- D** 目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点のリストを表示します。
目的地履歴が存在するときのみ使用できます。
- E** マップコードで検索します。
- F** スマートフォンからあらかじめ送信されたおでかけプランの地点のリストを表示します。
- G** 自宅を目的地としてルート探索を開始します。
自宅を登録していない場合は、[🏠]にタッチし、登録します。
- H** 名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

文字入力で目的地を検索する

施設の名称や住所、電話番号を入力して目的地を検索できます。
ラーメン、花見などのフリーワードでも検索ができます。

- 1 地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [施設名、住所、電話番号で検索]にタッチします。
- 3 施設名、住所、電話番号などを入力し、[検索]にタッチします。
 - 文字を入力するごとに、検索される目的地候補が表示されます。
 - 入力された文字列に対して、過去の検索入力文字列や目的地履歴、お気に入り、文字列の一致条件から、ユーザーがこれから入力しようとする文字列を予測して入力文字列の候補として表示します。
 - ユーザーが入力ミスによる検索ワードで検索した結果、該当する検索結果が存在しないとき、正しいと思われる検索ワードを表示します。
 - ユーザーが入力した検索ワードに対する検索結果一覧に対して、付加価値の情報をもつ施設がわかるように情報が表示される場合があります。たとえば、「レストラン」と入力すると、お店の評価などがリスト上に表示されたりします。
 - 入力した文字数が上限を超えた場合、超えた分の文字は切り捨てられます。

自宅を登録する

- 1 地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [🏠]にタッチします。
- 3 地図を登録したい場所に移動し、[完了]にタッチします。

自宅を目的地に設定する

- 1 地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [🏠]にタッチします。
[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

お気に入り地点を目的地に設定する

- 1 地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 希望のお気に入り地点にタッチします。
名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。
[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

知識

お気に入り登録した地点の名称を文字入力して検索することも可能です。


履歴で目的地を検索する

- 1 地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 目的地履歴から希望の目的地にタッチします。

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。


マップコードで目的地を検索する

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [マップコード]にタッチします。
- 3 マップコードを入力し、[検索]にタッチします。

おでかけプランで目的地を検索する

スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」のナビ連携機能、または「moviLink」のナビ連携機能、スケジュール連携機能にておでかけプラン（目的地、出発時間等）を設定しておくことで、乗車後に車載ディスプレイでおでかけプランがある旨の通知を受けます。登録されたおでかけプランを選択することで目的地設定が可能となります。

この機能を使用するには、ドライバー登録する必要があります。

- 1 地図画面上の[]にタッチして、目的地検索画面を表示します。
- 2 [おでかけプラン]にタッチします。
- 3 希望のおでかけプランにタッチします。

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[開始]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。



知識

車載ディスプレイで設定した目的地情報をスマートフォンアプリ「My TOYOTA+」のナビ連携機能に引き継ぐことも可能です。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

moviLink について

moviLink の入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

- URL :
<https://www.toyotaconnected.co.jp/movilink/>
- QR コード :



検索結果リスト画面の見方

目的地を検索したとき、検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。



- A** 前の画面に戻ります。
- B** 検索で入力した文字を表示します。
- C** 検索オプションを表示します。
- D** 検索結果リストが表示されます。リストをタッチすると、そのリストを目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。
 - 施設内にある目的地候補も併せて表示されます。
- E** 現在表示されているリスト内の項目の位置が地図で表示されます。
 - 充電ステーションの検索結果もリストで表示されます。
 - 地図をスクロールしたあと、[このエリアを検索]にタッチすると、スクロールしたエリア内で目的地を検索することができます。

知識

リストを長押しすると、そのリストを目的地とした位置微修正画面が表示されます。任意の場所に地図を移動して目的地の位置を修正できます。[ルート]をタッチすると、修正後の地点を目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。

— 関連リンク —

[地図の動かし方 \(P.31\)](#)

[全ルート図表示画面の見方 \(P.142\)](#)

検索オプションについて

検索結果リストの表示範囲や並び順を変更することができます。

- 1 検索結果リスト画面で[≡]にタッチします。

- 2 検索オプションを設定します。
- 3 設定が完了したら[完了]にタッチします。

経由地を追加する

目的地をすでに設定しているとき、新たな目的地を経由地として追加することができます。

● **目的地を設定している状態で目的地を検索します。**

目的地を設定しようとするメッセージが表示されます。

- **[新規目的地]**：現在設定している目的地を削除し、新たに目的地までのルート探索を開始します。
- **[経由地追加]**：指定した地点を経由地として含んだ目的地までのルート探索を開始します。

知識

- 地図画面上で任意の地点にタッチして、経由地を追加することもできます。
- 経由地と合わせて目的地は 10 か所まで追加できます。
- 追加した経由地はいちばん手前の目的地として追加されます。順番を変更する場合は、経由地編集で変更してください。

— 関連リンク —


[目的地検索について \(P.133\)](#)

[経由地を編集する \(P.152\)](#)

電話帳から目的地を検索する

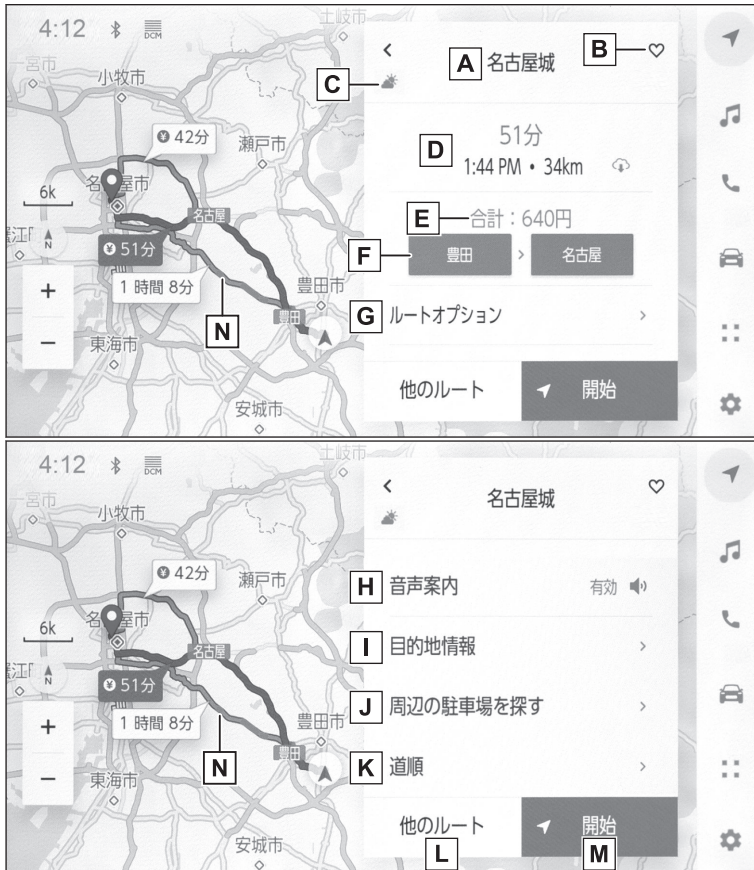
接続しているスマートフォンの電話帳に住所が登録されている場合、電話帳から目的地を設定することができます。

- この機能を使用するには、スマートフォンをマルチメディアシステムに登録する必要があります。
- 登録されている住所が地図データにない場合は設定できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 住所を選択します。

全ルート図表示画面の見方

目的地を設定すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



- A** 目的地の名称または住所が表示されます。
- B** 目的地をお気に入り地点として登録します。
- C** 目的地の現在の天気が表示されます。
- D** 出発地点から目的地までの距離と所要時間、到着予想時刻を表示します。
複数目的地を設定している場合、タッチすると各目的地の到着予想時刻リストが表示されます。
- E** 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。
初期設定では ETC 料金が表示されます。ETC 料金表示設定を OFF にすると、ETC を使用しない料金表示に切りかわります。

F 最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を左に、最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を右に表示します。入口および出口名を選択することで IC を変更することができます。

ETC 料金は通過予想時間を考慮して割引を計算した料金が表示されますが、実際には運転状況や交通状況により割引が適応されない場合があります。

G ルートオプションを表示します。

H 音声案内のミュート設定をします。

I 目的地の詳細情報を表示します。

J 目的地設定した地点周辺の駐車場リストを表示します。

- 駐車場の料金が表示されます。
 - 駐車時間を設定すると、現在の時刻からの駐車時間を考慮した駐車料金が表示されます。
 - 駐車時間の設定は 1 時間～24 時間までの 1 時間単位で設定できます。
 - 駐車料金情報がない場合は表示されません。
 - 料金は予告なく変更となる場合があります。実際の駐車場看板をご確認ください。
 - 駐車時料金が 1 万円以上かかる場合、「1 万円～」と表示されます。

K ルート情報を表示します。

L 条件の異なるルートに変更できます。

M 目的地案内を開始します。長押しすると目的地案内のデモを開始します。

- 施設を目的地に設定した場合は、営業時間などが表示される場合があります。
 - 目的地への到着予想時刻が定休日や営業時間外るとき、案内を開始するか確認されます。
 - 目的地の営業時間・定休日は実際と異なる場合があります。
- 目的地が高速道路や有料道路上に近い、橋やトンネル、線路などに近いとき、高速道路上やその周辺に変更するかを確認する通知が表示されます。
- 航続可能距離が目的地まで到達できない可能性がある場合、充電ステーションへの経路を推奨する通知が表示されます。航続可能距離はエアコンなどの使用状況により変化するため、目安として使用し早めの充電を心掛けてください。

[追加]にタッチするとルート周辺の充電ステーションリストが表示されます。

N 選択中のルートとは別のルートをタッチすることで、希望のルートに変更できます。

- 推奨ルート、時間優先ルート、一般道路優先ルートの 3 つのルートから選択できます。デフォルトは推奨ルートが選択されています。

4-4. 目的地の設定

- センターへの接続状況などにより、提案されるルートが異なる場合があります。
- ¥が表示されているルートは有料道路を含むルートです。

— 関連リンク —

[ルート設定をする \(P.71\)](#)

[目的地案内のデモを見る \(P.145\)](#)

[ルート情報を表示する \(P.146\)](#)

[ルートオプションを変更する \(P.147\)](#)

[他の経路に変更する \(P.148\)](#)

[出入口IC（インターチェンジ）を指定する \(P.149\)](#)


[目的地の詳細情報を表示する \(P.150\)](#)

[経由地を編集する \(P.152\)](#)

目的地案内のデモを見る

目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。


- 全ルート図表示画面で[開始]を長押しします。

デモを終了するときは、[]または[終了]にタッチ、または走行します。

ルート情報を表示する

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・通過予想時刻）を表示させることができます。

- 1 全ルート図表示画面で[道順]にタッチします。
- 2 目的地までのルート情報が表示されます。

現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自転車位置マーク[]が表示されます。



ルートオプションを変更する

スマート IC を利用しないなど、ルート探索する際の条件を変更できます。

1 全ルート図表示画面で[ルートオプション]にタッチします。

2 設定したい条件の項目を変更します。

- A 特定の道路を避ける・避けないを切りかえます。
- B 設定されている経由地の順番を変更します。
- C ルート上の通過点の追加や削除、編集をします。



関連リンク

[通過する地点を設定する \(P.151\)](#)

[経由地を編集する \(P.152\)](#)

他の経路に変更する

条件の異なるいくつかのルートから、希望のルートを選択できます。

- 1 全ルート図表示画面で[他のルート]にタッチします。
- 2 希望のルートにタッチしたあと[決定]にタッチします。



知識

- ニーズや状況を踏まえてルート探索パターンは追加されたり無くなることもあります。
- 全ルート図表示画面の地図画面で選択中のルートとは別のルートをタッチすることで希望のルートに変更可能です。

出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面を表示します。
- 2 [IC 名称表示] にタッチします。

選択した IC 周辺の IC 名称が表示されます。



- 3 指定したい IC 名称にタッチします。



知識

[名称検索] で名称を検索すると、検索結果の周辺が表示されるため、そこから指定したい IC 名称にタッチします。

目的地の詳細情報を表示する

目的地の詳細情報を確認することができます。

- 全ルート図表示画面で[目的地情報]にタッチします。

[概要]：地点の住所や電話番号、施設の場合は営業時間や定休日などの情報を表示します。

[評価]：口コミの詳細を表示します。

[その他]：施設やキャンペーン情報などを表示します。



通過する地点を設定する

目的地を設定したあと、ルート上の通過する地点を設定することができます。

- 1 通過点設定画面で[+]にタッチします。



- 2 通過点として追加したい地点を地図上で指定して、[完了]にタッチします。

[−]: タッチした経由地を削除することができます。


関連リンク

[ルートオプションを変更する \(P.147\)](#)

経由地を編集する

ルート上に設定している経由地の順番の変更、および削除ができます。

- 1 経由地にタッチすると[上に移動]
[下に移動]が表示され、経由地の順
番を入れかえることができます。

[]: タッチした経由地を削除する
ことができます。



- 2 [OK]にタッチします。

関連リンク

[ルートオプションを変更する \(P.147\)](#)

ルート案内画面の見方

ルート案内中は、ポイントとなる地点(交差点や分岐点など)で音声や画面で案内します。



- A** 自転車位置から目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
 ルートからはずれた場合は、到着予想時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。
 タッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。
- B** 次に分岐する交差点までの距離と分岐方向が表示されます。
 タッチすると、目的地までのターンリストが表示されます。
- C** 目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。
 ルート上に混雑や渋滞があった場合はルート色が変わります。(赤色：渋滞、黄色：混雑、黒色：通行止め)^{*1}
 ルートの表示色の設定については「地図表示設定をする」をご覧ください。
- D** 目的地案内中、直近の通過および分岐する交差点に表示されます。
- E** 案内を終了します。複数目的地を設定している場合は、[案内終了]にタッチすることですべての目的地設定を削除し案内を終了、[次の目的地を削除]にタッチすることで次の目的地設定のみを削除し案内は継続されます。
- 緊急情報を受信したとき、案内画面上に通知が表示されます。
 - ナビが逆走状態を検知したとき、逆走注意の案内が表示されます。
 - ルート探索ができなかったときは、画面上に通知が表示されます。
 - 居住者規制エリアに目的地を設定した場合、ルート上に×印が表示されます。

関連リンク

[地図表示設定をする \(P.69\)](#)

*1: 地図色によって表示色は異なります。

逆走注意案内を設定する (P.78)

さまざまなレーン表示画面 (P.155)

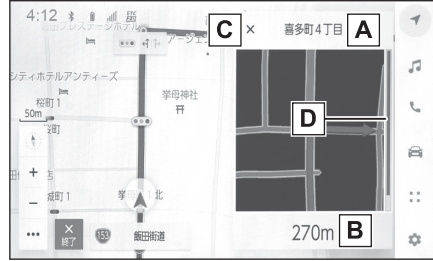
さまざまなレーン表示画面

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、交差点拡大図に切りかわります。

交差点拡大図

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点手前では、交差点拡大図が表示されます。

- A** 通過・分岐する交差点の名称を表示します。
- B** 現在位置からの距離を表示します。
- C** 交差点拡大図を閉じます。
- D** 交差点に近づくとともにゲージが短くなります。



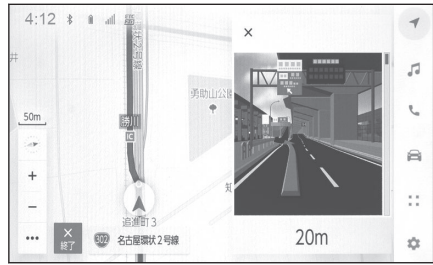
知識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。
- 交差点拡大図は実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面上とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

立体的な拡大図

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

拡大図を解除するときは[×]にタッチします。



● 拡大図には下記の種類があります。

● 都市高速 IC 入口

● 高速分岐

● 高速分岐渋滞案内

高速道路の分岐付近で渋滞が発生しているとき、渋滞情報と画像でお知らせします。

● 立体交差点

● リアル交差点

都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。

● 側道案内

🗒 知識

地図データに情報のある地点で表示されます。

都市高速レーン案内サービス

都市高速において、特殊なレーン移動が必要な旨を音声により案内します。

■ 都市高速での音声案内例

● 連続車線変更事前注意

「この先、300m ですぐに右に車線変更が必要です。」

● 車線変更禁止区間

「およそ 1 km 先〇〇出口です。車線変更禁止区間にご注意ください。」

● 複数レーン

「まもなく、〇〇方面です。右側 2 車線を走行してください。」

交差点目印・信号機案内サービス

目的地案内中、交差点で曲がる方向をわかりやすくするために、曲がる方向と目印となる施設を音声で案内します。

■ 交差点での音声案内例

「まもなく、右方向です。〇〇が目印です。」

- ○○には目印となる施設の名称が案内されます。案内される施設の名称は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファーストフード店などです。
- 案内される施設の名称は、情報のある地点のみ案内されます。

ルートを再探索する

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）に、ルートの再探索をすることができます。

- 1 地図画面で [▼] にタッチします。



- 2 [ルートオプション]または[他の経路]にタッチします。
- 3 再探索する条件にタッチします。
- 4 [OK]または[決定]にタッチします。

関連リンク

[ルートオプションを変更する \(P.147\)](#)

[他の経路に変更する \(P.148\)](#)

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号や交通情報を表示することができます。

- 赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：空き道

交通情報の表示／非表示の切り替えは
地図表示設定画面で行います。



関連リンク

[地図表示設定 \(P.125\)](#)

VICS・交通情報について

- VICS・交通情報は表示されない地点があります。また、地図更新などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される VICS・交通情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1/16 万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

■ 現況 VICS 情報について

VICS センターから提供される現況の情報です。

知識

現況情報は、1/16 万図以上の詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。

■ 現況プローブ交通情報について

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。

T-Connect 契約期間内、かつトヨタスマートセンターに接続されているときは現況交通情報も表示されます。

タイムスタンプの情報表示

地図表示設定から、現況情報の提供時刻を表示することができます。



■ 時刻表示

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[--:--]の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[--:--]になります。
- パワースイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは、[--:--]の表示になります。

■ 文字表示

現況 VICS 情報を受信すると[VICS 交通情報提供]が黒色に点灯し、現況交通情報のみを受信すると[VICS 交通情報提供]は薄墨色になります。

☐ 知識

- 現況 VICS 情報と現況交通情報の両方が受信されていないときは、タイムスタンプ全体が薄墨色になります。
- パワースイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは[VICS 交通情報提供]が薄墨色になります。

— 関連リンク —

[地図オプション画面 \(P.122\)](#)

渋滞や規制情報の音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 1km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- VICS 表示がある地点：「およそ 1km 先渋滞があります」
- VICS 記号のある地点：「およそ 1km 先電気工事のため車線規制中です」

知識

- 渋滞と規制音声自動発声の出力 ON/OFF を設定できます。
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより実際とは異なる案内をされることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、案内されなかったり、まれに遅れたり、誤った案内をされることがあります。

— 関連リンク —

[案内設定 \(P.74\)](#)

VICS 記号の内容を表示する

地図画面上に表示される記号にタッチし、道路の種類／状況や施設情報、規制情報を表示することができます。


- 地図上の規制情報、または施設情報の記号にタッチします。

 知識

VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報を表示する道路を設定する

地図画面上の交通情報を表示する道路を設定することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図表示]にタッチします。
- 4 交通情報の[道路種別の表示]にタッチします。
タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。
- 5 [OK]にタッチします。

知識


ハイウェイモードでは、[一般道]に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

— 関連リンク —

[高速略図（ハイウェイモード）について \(P.130\)](#)

VICS・交通情報を表示する種類を設定する


地図画面上に表示する交通情報などの種類を設定することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [ナビゲーション]にタッチします。
- 3 [地図表示]にタッチします。
- 4 表示するリアルタイム情報にタッチします。
 - [渋滞表示]
 - [空き道表示]
 - [規制情報]
 - [駐車場]
 - [充電ステーション]

タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。

自動割込を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。

- 表示設定

[VICS 注意警戒情報]: VICS 注意警戒情報を表示します。

[VICS 文字情報]: VICS 文字情報を表示します。

[VICS 図形情報]: VICS 図形情報を表示します。

[VICS/ETC2.0 表示時間]: VICS および ETC2.0 割込情報の表示時間を設定します。

- 音声／音設定

[VICS 割込音]: VICS 割込情報の表示時にブザー音を出力します。

知識

- 自動割込情報を OFF に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- VICS 表示時間については、[P.167](#) をご覧ください。


関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[自動割込表示時間を調整する \(P.167\)](#)

自動割込表示時間を調整する

割込情報の表示時間の調整をすることができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
- 3 [VICS/ETC2.0 表示時間]にタッチします。
- 4 希望の割り込み表示時間にタッチします。
- 5 [OK]にタッチします。

知識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。
- 初期状態では[5 秒]に設定されています。

新旧ルートを比較して表示する

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。トヨタスマートセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞および規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。





[新しいルートを表示]にタッチします。

比較画面を表示中に操作しなかったとき、または新ルートと元ルートの分岐点を通過したときは、元ルートで案内します。

新旧ルート比較表示を ON に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。



VICS 記号や表示について

記号 ^{*1}	道路の種類／状況
 (黒色) ^{*2}	通行止めの区間
 (赤色)	渋滞している道路
 (橙色)	混雑している道路
 (緑色)	空き道

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止

*1: 選択した地図色によって、表示色が異なります。

*2: 夜画のときは白色で表示されます。

記号	規制情報
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

知識

表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

— 関連リンク —

[地図表示のカスタマイズ設定 \(P.70\)](#)

VICS について

知っておいていただきたいこと

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された[]のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。（提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。）
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

VICS センター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書

の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS の問い合わせ先について

■ トヨタ販売店への問い合わせについて

以下の内容は、トヨタ販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステムの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

VICS で提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間...9：30～17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通・PHS、IP 電話などを除く）

FAX 番号（受け付け時間...24 時間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧ください。<https://www.vics.or.jp/>

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有または管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を甲が所有または管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

（約款の適用）

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラーFM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類など

（VICSサービスの種類）

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

（契約の単位）

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台ごとに1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立など）

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込みおよび承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡または承継）

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡または地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第 11 条または第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

（料金の支払い義務）

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこのかぎりではありません。

（利用の中止）

第 15 条 当センターは、放送設備の保守上または工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、このかぎりではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信または再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合など、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面などにより、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み) ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図データ情報

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

□ 知識

- 地図の作成にあたり、できるかぎり正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。
- 国土地理院の著作権情報については、以下の URL をご覧ください。

<https://www.aisin.com/copyright/21map>

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索および周辺迂回路探索

JARTIC/MICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■ 案内標識

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ 充電施設

対象データ：EV ステーションデータ

対象企業：EV Smart by ENECHANGE（株）

5-1. ラジオについて

ラジオおよび交通情報 180

5-2. USB メモリーの操作

USB メモリーの音楽ファイルを再生する 181

USB メモリーの動画ファイルを再生する 183

USB メモリーの再生についての留意事項 186

5-3. Android Auto の操作

Android Auto を再生する 188

Android Auto の再生についての留意事項 190

5-4. Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth® オーディオを再生する 191

Bluetooth® オーディオの再生についての留意事項 194

5-5. Miracast® の操作

Miracast® 対応機器を接続する .. 195

Miracast® を再生する 196

Miracast® の再生についての留意事項 198

ラジオおよび交通情報

本車両にはラジオアンテナが搭載されていないため、ラジオおよび交通情報を利用することができません。

USB メモリーの音楽ファイルを再生する

USB 端子に接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生して、音楽を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
USB メモリーに動画ファイルがない場合は手順 5 に進みます。
- 4 [ミュージック]にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 画面で操作する



[🔀]: ランダム再生をします。


タッチするたびに、全ファイル／トラック、解除、再生中のフォルダー／アルバムの順に切りかわります。


[⏮]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。ファイル／トラックの先頭のときは、前のファイル／トラックの先頭から再生します。


タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[⏭]: 再生します。

[]: ファイル／トラックが切りかわります。
タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: タッチするとリピート再生をします。
タッチするたびに、再生中のファイル／トラック、再生中のフォルダー／アルバム、全ファイル／トラックの順に切りかわります。

[]: 設定可能な項目を表示します。
サブメニューのリスト: 次の条件から選曲できます。

- [アーティスト]: アーティスト名から選曲できます。
- [アルバム]: アルバム名から選曲できます。
- [フォルダ]: フォルダー名から選曲できます。
- [曲]: 曲名から選曲できます。
- [ジャンル]: ジャンルから選曲できます。
- [作曲者]: 作曲者名から選曲できます。

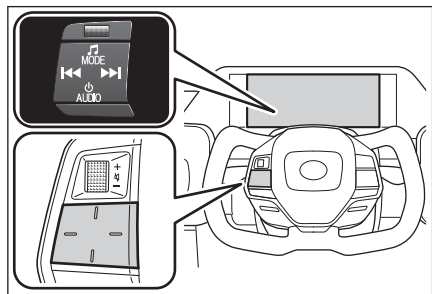
● ステアリングスイッチで操作する

[] / [] スイッチ

ファイル／トラックが切りかわります。

押し続けると、フォルダー／アルバムが切りかわります。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.36\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.86\)](#)

USB メモリーの動画ファイルを再生する

USB 端子に接続した USB メモリー内の動画ファイルを再生して、音楽や映像を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- 4 [ビデオ]にタッチします。
- 5 必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。

● 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。




[⏮]: 再生中のファイルの先頭から再生します。ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

タッチし続けると、映像を早もどします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 映像の再生を一時停止します。

[▶]: 映像を再生します。

[]: ファイルが切りかわります。


タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。


[移動]: 操作ボタンが移動します。

操作ボタンが映像に重なって見づらいときに、操作ボタンを移動できます。




[]: 操作画面表示にします。


● 操作画面で操作する


操作画面を表示するときは、全画面で  にタッチします。



[]: 再生中のファイルの先頭から再生します。ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

タッチし続けると、映像を早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 映像の再生を一時停止します。


[]: 映像を再生します。

[]: ファイルが切りかわります。


タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。



[]: 全画面表示にします。



[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダー名／ファイル名: フォルダー名にタッチすると、フォルダー移動し、ファイル名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

- ステアリングスイッチで操作する

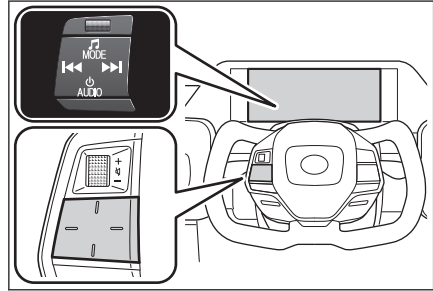
[] / []スイッチ

ファイルが切りかわります。

押し続けると、映像を早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中に押し続けると、スロー再生します。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.36\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.84\)](#)

[画質を調整する \(P.85\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.86\)](#)

USB メモリーの再生についての留意事項

USB メモリーを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- USB メモリーを接続している状態で、他のソースから USB メモリーに切りかえたときは、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出る場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはクルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダーなどを書き込まないことをおすすめします。

 知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

 注意

ファイルに間違った拡張子をつけないでください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子をつける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子をつける

関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[使用できるメディアについての情報 \(P.306\)](#)

[フォーマットについての情報 \(P.306\)](#)

[USB メモリーから再生できる動画データについての情報 \(P.309\)](#)

[USB メモリーについての情報 \(P.310\)](#)

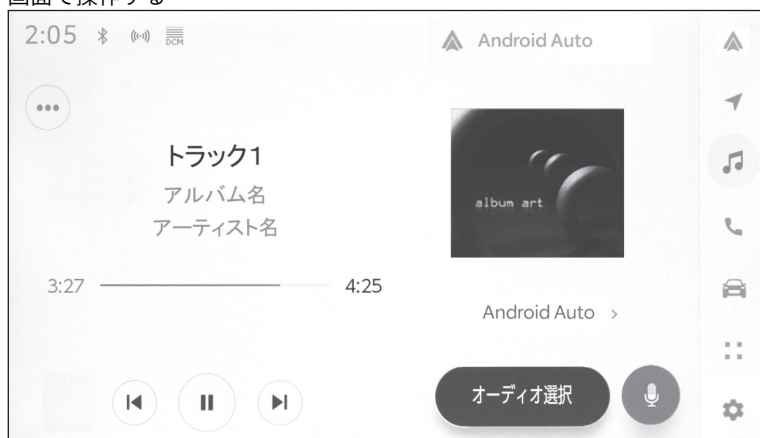
Android Auto を再生する

USB 端子に接続した Android 機器の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Android Auto] (機器名称) にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。

- 画面で操作する



[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。

[⏭]: トラックが切りかわります。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。

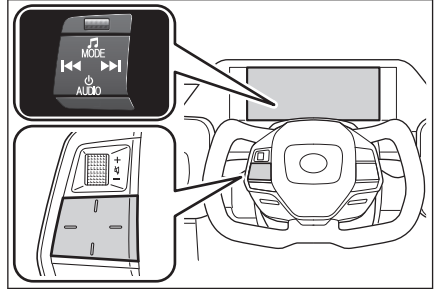
[Android Auto]: Android Auto の画面を表示します。

- ステアリングスイッチで操作する

[⏮] / [⏭] スイッチ

トラックが切りかわります。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.86\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

[Android Auto を使用する \(P.114\)](#)

Android Auto の再生についての留意事項

Android Auto を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

📄 知識

- Android Auto を接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Android Auto 使用上の留意事項 \(P.112\)](#)


Bluetooth®オーディオを再生する

ポータブル機を接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。


□ 知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報が表示されないことがあります。
 - フォルダータイトル
 - 曲名
 - アルバム名
 - アーティスト名
 - 再生時間
 - 合計時間
 - ランダム
 - リピート
 - 再生／一時停止
 - トラックアップ／ダウン
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - マルチメディアシステムで操作できない。
 - 動作や音量が異なる。
 - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。


ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 機器名称または[Bluetooth]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Bluetooth®オーディオを操作します。
 - 画面で操作する





[]: ランダム再生をします。


タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。^{*1}

[]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。


タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 再生を一時停止します。


[]: 再生します。

[]: トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。^{*1}

[]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダー名/曲名: フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、曲名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

- ステアリングスイッチで操作する

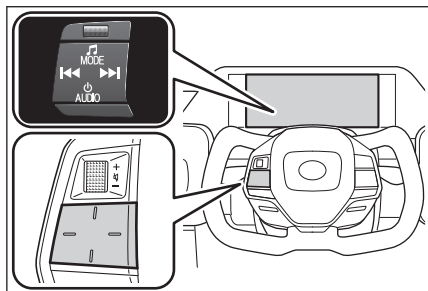
^{*1}: ランダム/リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。

[⏮] / [⏭] スイッチ

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.86\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項

Bluetooth®オーディオを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 携帯電話を含む Bluetooth®ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- Bluetooth®オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。マルチメディアシステムで動作確認済みの携帯電話の機種については、トヨタ販売店にお問い合わせください。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステムの設定で Wi-Fi®機能を ON にしているときは、Bluetooth®オーディオの音が途切れる場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステム内に内蔵されています。

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

⚠ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.94\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.98\)](#)

[Bluetooth®についての情報 \(P.310\)](#)

Miracast®対応機器を接続する

Miracast®機能をサポートする Android スマートフォンやタブレットを接続できます。

ご利用の機器の Miracast®対応状況については、機器に添付の取扱説明書などをご覧ください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Miracast®]にタッチします。
- 4 **Miracast®対応機器を接続可能な状態にします。**
 - 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
 - 接続失敗画面が表示されたときは、接続操作を最初からやりなおしてください。
- 5 **機器名称を確認して、[はい]にタッチします。**



関連リンク

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

Miracast®を再生する

スマートフォンまたはタブレットの音声や映像を、マルチメディアシステムで再生して楽しむことができます。

□ 知識

- Miracast®の音量は、接続する機器によって異なります。
- Wi-Fi®接続が切断されるとオーディオがOFFになります。

Miracast®対応機器を接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [オーディオ選択]にタッチします。
- 3 [Miracast®]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Miracast®を操作します。

- 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。




[🔍]: 操作画面表示にします。


- 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で[🔍]にタッチします。



[]: 設定可能な項目を表示します。



[]: 全画面表示にします。

[**切断**]: Miracast®を切断します。
オーディオが OFF になります。



— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[画面モードを切りかえる \(P.84\)](#)

[画質を調整する \(P.85\)](#)

[各ソースの音を調整する \(P.86\)](#)

Miracast®の再生についての留意事項

Miracast®を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

☐ 知識

- 機器と Wi-Fi®接続 (P2P モード) で通信します。
- Wi-Fi® Hotspot を使用しているときは、この機能を使用できません。
- Miracast® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast® は機器によって、表示される名称が異なる場合があります。
- Miracast® 機能動作確認済み携帯電話については、トヨタ販売店にお問い合わせください。
- iPhone などの iOS 端末には対応していません。
- Miracast® は、接続する機器によって画面に表示される機能名称が異なる場合があります。お使いの機器の仕様に関しては、各機器メーカーへお問い合わせください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。(走行中は音声のみを再生します)
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはクルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。

▲ 警告

運転中はスマートフォンやタブレットを接続したり、操作をしないでください。

⚠ 注意

スマートフォンまたはタブレットを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンまたはタブレットが故障するおそれがあります。

— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.82\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

[Wi-Fi® 機器使用上の留意事項 \(P.107\)](#)

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

- ハンズフリー電話についての留意事項.....200
- ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に.....204

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

- ステアリングスイッチで操作する.....207

6-3. 電話のかけ方

- 履歴から電話をかける.....208
- ワンタッチダイヤルから電話をかける.....210
- 連絡先から電話をかける.....211
- キーパッドから電話をかける...212
- 110番／119番にかける.....213
- ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける.....214

6-4. 電話の受け方

- 電話に出る.....215
- 着信を拒否する.....217

6-5. 通話中の操作

- 通話画面で操作する.....218
- 割込着信の電話に出る.....220
- 通話中に別の通話相手へ電話をかける.....221
- グループ通話をする.....222
- 電話を切る.....223

6-6. ハンズフリー電話の変更

- ハンズフリー電話を切りかえる.....224

6-7. 連絡先データの編集

- 連絡先データの転送.....225

- ワンタッチダイヤルを登録する.....229
- 連絡先に新規データを追加する.....231

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth®携帯電話*1（以下「携帯電話」）を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Android Auto 接続中でも、状況によっては Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

□ 知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
 - 携帯電話は、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth®接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。
 - 携帯電話は Bluetooth®機能を使用できる状態で使用してください。
 - Bluetooth®オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。
- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

携帯電話の機種によっては、次のことがあります。

 - ハンズフリー電話中にパワースイッチの操作をすると、通話が切断される場合があります。
 - 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
 - 発信画面でキーパッドを使用して入力をして、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
 - 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
 - 通話エリア外るとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
 - ヘルプネット動作中るとき
 - 携帯電話から連絡先データを転送中るとき
 - 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
 - 携帯電話が故障しているとき

*1: マルチメディアシステムで携帯電話を利用する際には、動作確認済携帯電話をトヨタ販売店にお問い合わせください。

- 携帯電話が接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
- マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。(切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth®接続状態が表示されません)
- その他、携帯電話自体が使えないとき
- 応答保留操作は、マルチメディアシステムで操作できません。携帯電話で操作してください。
- 三者通話を契約しているときは、携帯電話で三者通話を解除してから使用してください。
- ヘルプネットを使用する場合は、次の制限があります。
 - ヘルプネット動作中はハンズフリー電話を使用できません。また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作によるヘルプネット回線切断ができません。
 - 着信中、保留中または通話画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリー電話は強制終了されて、ハンズフリー電話画面が解除されます。
- ハンズフリー電話と Wi-Fi®機能 (Wi-Fi® Hotspot、Miracast®) を同時に使用する場合、携帯電話の Bluetooth®接続が切断される場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

▲ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.94\)](#)

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.97\)](#)

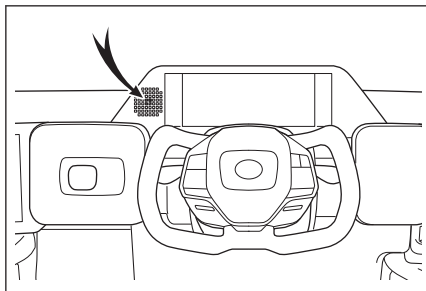
[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.98\)](#)

[ヘルプネットについて \(P.241\)](#)

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイクを通して通話ができます。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



□ 知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声はこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受話音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 次の場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコン送風の音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth[®]機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi[®]機能（Wi-Fi[®] Hotspot、Miracast[®]）を利用する設定にしていると、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

△ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、全ての情報を初期化してください。

全ての情報を初期化すると、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

関連リンク

[セキュリティ設定を変更する \(P.63\)](#)

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次の症状で気になったりお困りになったときは、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。

■ ハンズフリー電話を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー電話を使うことができない	携帯電話が Bluetooth® に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、トヨタ販売店にご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth® に適合していない。	Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0 以上の携帯電話を使用してください。

■ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。
Bluetooth® 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth® 接続状態にある。	お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth® 接続してください。
	携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。	パワースイッチが ACC または ON のときに、携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。

■ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外にいる	通話可能エリア内に移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

■ 連絡先

症状	考えられること	処置
連絡先データの転送/ 自動転送ができない	携帯電話の Profile が 連絡先データ転送に対 応していない。	マルチメディアシステムで動作確認 済みの機種については、トヨタ販売 店にご確認ください。
	マルチメディアシステ ムの Bluetooth®設定 で、[自動転送]が OFF に なっている。	マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で、[自動転送]を ON にしてください。
	携帯電話が常に承認す る設定になっていな い。	携帯電話を常に承認する設定にして ください。
携帯電話に承認の確認 画面が表示される	承認時に常に許可が選 択されていない。	携帯電話で常に許可を選択し承認し てください。
連絡先データがその他 に登録される	携帯電話の連絡先に登 録してある名称にふり がながない。	携帯電話の連絡先にふりがなを登録 してください。
	携帯電話に連絡先が登 録されていない。	携帯電話に連絡先を登録してくださ い。
連絡先データの編集が できない	マルチメディアシステ ムの Bluetooth®設定 で、[自動転送]が ON に なっている。	マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で、[自動転送]を OFF にしてください。

■ その他の状況

症状	考えられること	処置
考えられる処置をし ても、症状が改善され ないとき	携帯電話とマルチメ ディアシステムの距離が 離れすぎている。	携帯電話とマルチメディアシステム の距離を近づけてください。
	電波干渉が発生して いる。	Wi-Fi®機器など電波を発生する機器 の電源を OFF にしてください。 マルチメディアシステムの Wi-Fi®設 定を OFF にしてください。
	携帯電話に要因があ る。	携帯電話の電源を OFF にして、電池 パックを取り出してください。
携帯電話の Wi-Fi®接続を OFF にし てください。		

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話に要因がある。	携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。

 知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.98\)](#)

[Bluetooth®機器の登録を削除する \(P.101\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot を切断する \(P.110\)](#)

ステアリングスイッチで操作する

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。

スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

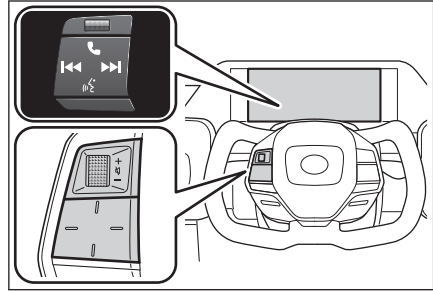
[]スイッチ

着信音量／受話音量を調整します。



[]スイッチ

音声操作で電話をかけることができます。




音声操作中に押し続けると、エージェント（音声対話サービス）を終了します。



[]スイッチ

- マルチメディアシステムが電話画面以外のとき、履歴画面を表示します。
- マルチメディアシステムの電話画面に[]が表示されているとき、電話をかけます。
- マルチメディアシステムの電話画面に[]が表示されていないとき、履歴画面を表示します。
- 発信中／通話中は、電話を切ります。
- 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。

知識

- Android Auto を接続中に[]を押すと、Android Auto の電話画面がマルチメディアシステムに表示されます。
- Android Auto とハンズフリー電話を接続中に[]を押すと、マルチメディアシステムの電話画面が表示されます。
- 着信中に[]で電話に出ると、着信した携帯電話の電話画面（ハンズフリー電話／Android Auto）が表示されます。


— 関連リンク —

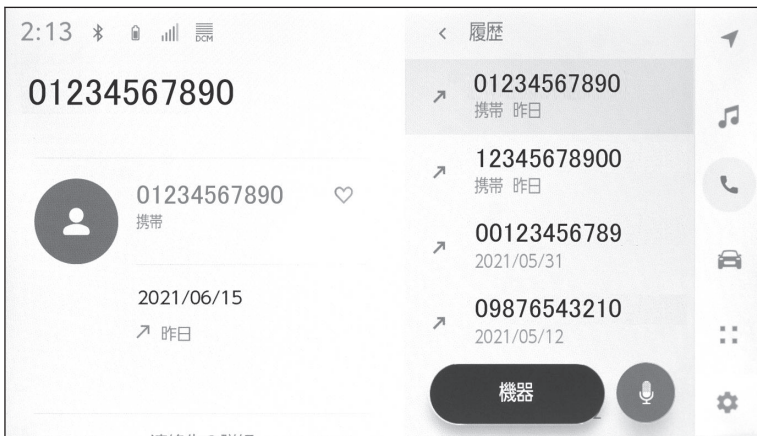
[音声操作を開始する \(P.39\)](#)

[Android Auto 使用上の留意事項 \(P.112\)](#)

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。



連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。

- 4 希望の電話番号にタッチします。

知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号に発信した場合は、発信先名称のあとに発信回数が表示されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も登録されます。
 - 相手先電話番号の通知がない場合は、「非通知」と登録されます。
- 保留した通話も履歴に登録されます。

- 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録することで、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [ワンタッチダイヤル]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。




関連リンク

[ワンタッチダイヤルを登録する \(P.229\)](#)

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録している連絡先から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



知識

- [連絡先の転送]が画面に表示されている場合、タッチすることで携帯電話の連絡先データをマルチメディアシステムへ転送します。
- 連絡先データが登録されていない場合、マルチメディアシステムに連絡先データを転送/追加する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。
2台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。


関連リンク

[連絡先データの転送 \(P.225\)](#)



[連絡先に新規データを追加する \(P.231\)](#)

キーボードから電話をかける

電話番号をキーボードで入力し、電話をかけます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [キーボード]にタッチします。
- 3 電話番号を入力します。



- 4 []にタッチ、またはステアリングスイッチの[]スイッチを押します。
サブメニューに表示された連絡先にタッチして発信することもできます。

知識

- 走行中はキーボードが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信できます。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話での操作が必要です。

— 関連リンク —






[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

110 番／119 番にかける

緊急時に 110 番／119 番へ通報できます。

☐ 知識

- 走行中でも発信できます。
- ヘルプネットによる緊急通報中は、本画面からは通報できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [110/119]にタッチします。
- 3 [  110]または[  119]にタッチすると発信します。





— 関連リンク —


[ヘルプネットについて \(P.241\)](#)

ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける

ウェイト (w) /ポーズ (p) 信号が含まれる番号に電話をかけることができます。ウェイト (w) /ポーズ (p) 信号のあとに続く番号の送信を一時停止または2秒ほど停止できます。

- ウェイト (w) 信号は番号の送信を一時停止させます。ユーザー操作後、次のウェイト (w) 信号まで送信されます。途中でポーズ (p) 信号が含まれる場合は2秒停止し、続く番号を送信します。
- ポーズ (p) 信号は番号の送信を2秒停止させます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 ウェイト (w) /ポーズ (p) 信号が含まれる電話番号を選択します。
- 5 電話番号にウェイト (w) 信号が含まれている場合、[]にタッチします。

[]にタッチすると、ウェイト (w) 信号で一時停止された番号が次のウェイト (w) 信号まで送信されます。途中でポーズ (p) 信号が含まれる場合は2秒停止し、続く番号を送信します。





知識

- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の画面にウェイト信号はセミコロン (;) で、ポーズ信号はカンマ (,) で表示されます。
- 本機能は、国際電話などを利用するときに使用します。
- 本機能は、留守番電話や銀行の電話サービスなど、電話主体のサービスで自動操作が必要な場合に使用できます。ウェイト (w) /ポーズ (p) 信号を含んだ電話番号は連絡先リストに登録できます。

電話に出る

着信があると着信音が鳴り、着信画面もしくは着信通知が表示されます。

● 次のいずれかの操作をして、電話に出ます。

- [] にタッチします。
- ステアリングスイッチの [] スイッチを押します。



📖 知識

- 駐車支援システム画面表示中は、着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
 - 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
 - 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
 - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
 - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。
- 連絡先自動転送（PBAP）に対応している携帯電話で、連絡先の画像データが転送された場合、着信時に[連絡先の画像表示]がONに設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。
- マルチメディアシステムで着信音の設定を携帯電話の着信音以外に設定している場合、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、マルチメディアシステムで登録されている着信音出力されます。
- 応答保留中の携帯電話をハンズフリー電話に切りかえると、携帯電話は応答保留中のまま、マルチメディアシステムの通話画面が表示されます。この場合、マルチメディアシステムで保留を解除すると、ハンズフリー電話で通話ができます。
- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。


— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

- **着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。**
 - []にタッチします。
 - 電話機を直接操作します。

知識

携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。


— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

通話画面で操作する


通話中は通話画面でいろいろな操作ができます。




[]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。ミュート（消音）中はボタンが青くなります。


解除するときは、再度ボタンにタッチします。

通話相手の声は聞くことができます。


[]: キーパッド画面を表示します。キーパッド画面表示中は、通話画面が縮小されます。


走行中にキーパッドは操作できません。

[]: 通話中の電話を切ります。


[]: 別の通話相手に電話をかけるために、サブメニューに連絡先リストを表示します。通話中に電話番号をタッチして電話をかけることで、別の相手に電話をかけます。


- 表示された連絡先リスト以外からも電話できます。

[]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。携帯電話で通話中のときは、ボタンが青くなります。

[]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。

[]: 通話画面を縮小します。

[]: メインエリアに通話画面を表示します。

[]: オプション画面を表示します。

オプション画面では次のことができます。

- [送話音量]: 送話音量を調整できます。

送話音量を変更すると、音質が悪くなる場合があります。

- [ナビ案内音声]: 通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。

- [保留]: 通話を一時的に保留できます。

解除するときは、[保留]を OFF にします。

携帯電話の機種によっては、保留できないことがあります。

- [X]: 通話画面にもどります。通話を保留したまま通話画面にもどった場合、再度オプション画面を表示して保留を解除できます。



知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が縮小されたり、表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 走行中は、ハンズフリー電話での通話から携帯電話での通話に切りかえることはできません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、通話画面が表示されます。携帯電話の機種によって、携帯電話がマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。
- ハンズフリー電話で通話中にパワースイッチを操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になる場合があります。

— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

□ 知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

- 割込着信中に、[📞] にタッチ、またはステアリングスイッチの [📞] スイッチを押します。

割込着信に出ると、通話していた相手は保留中になります。

[通話切り替え] にタッチするごとに通話相手が切りかわります。



— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

割込着信中に、[📞] にタッチします。

□ 知識


携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

通話中に別の通話相手へ電話をかける

通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

- 1 通話画面で、[]にタッチします。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 電話番号を選択します。

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。



知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話相手と保留相手がいる場合に保留相手を通話に追加できます。

● **第三者と通話中に、[グループ通話]にタッチします。**

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。



 **知識**

- 携帯電話会社とグループ通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、いくつかの方法があります。

● **通話中に、次のいずれかの操作をします。**

- ステアリングスイッチの[]スイッチを押します。
押し続けると、保留中を含むすべての電話を切ることができます。
- 発信中または通話画面で、[]にタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切ります。


— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.207\)](#)

ハンズフリー電話を切りかえる

2台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

ハンズフリー電話として2台接続するには、ドライバー設定を登録し、登録されたドライバーを設定している必要があります。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [機器]にタッチします。

3 使用したい携帯電話を選択します。

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。



知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 電話の着信機能は、選択されていない携帯電話の分も機能します。
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.105\)](#)

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、手動転送 (OPP) か自動転送 (PBAP) のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話がどちらに対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送 (PBAP) するには、Bluetooth®設定で[自動転送]を ON にする必要があります。

知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1つの連絡先に5件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります)
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
 - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは[1234]を入力してください。
 - 手動転送 (OPP) に対応していない電話機は、連絡先を Bluetooth®で追加登録ができません。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中は、次のように対応します。
 - 手動転送 (OPP) 中に着信を受けた場合は、携帯電話本体での通話になります。手動転送中はマルチメディアシステムから発信できません。
 - 携帯電話が自動転送 (PBAP) にも手動転送 (OPP) にも対応していない場合、Bluetooth®を使用して連絡先データを転送できません。ただし、連絡先データは USB メモリーから転送できます。

- 連絡先データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、EV システムを始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。(転送された一部のデータも保存されません。)
 - マルチメディアシステム側のメモリ容量により途中で自動転送 (PBAP) が終了したとき。
 - 何らかの原因で自動転送 (PBAP) が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります)
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送 (PBAP) 機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送 (PBAP) で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送 (PBAP) で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送 (PBAP) が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像を表示するには、Bluetooth®設定で[連絡先の画像表示]を ON にしてください。連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で[自動転送]と[連絡先の画像表示]を ON にする必要があります。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)


[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.97\)](#)

手動転送 (OPP) を利用して携帯電話の連絡先データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号 (連絡先データ) を、手動転送 (OPP) を利用してマルチメディアシステムへ転送できます。

[自動転送]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]が OFF になります。

- AndroidAuto を使用している携帯電話では、手動転送 (OPP) による連絡先データ転送はできません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 次の転送方法を選択します。

[Bluetoothで上書き登録]: 現在の連絡先データに上書きします。

[Bluetoothで追加登録]: 現在の連絡先データに追加します。

4 携帯電話を操作して連絡先データを転送します。

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



— 関連リンク —

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.97\)](#)

USBメモリーの連絡先データを転送する

USBメモリーに登録してある電話番号（連絡先データ）をマルチメディアシステムへ転送できます。

- [自動転送]がONに設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]がOFFになります。
- Android Autoを接続しているときは、この機能を使用できません。
- USBメモリーの連絡先データは、vCard形式(.vcf)のデータのみ転送可能です。
- USBメモリー単体では転送できません。携帯電話をマルチメディアシステムで使用できる状態にしてから操作してください。

- 1 USB端子にUSBメモリーを接続します。
- 2 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 3 [連絡先の更新]にタッチします。
- 4 次の転送方法を選択します。

[USBで上書き登録]: USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに上書きします。

[USBで追加登録]: USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに追加します。

- 5 ファイルリストから、転送したいファイルを選択します。
- 6 [OK]にタッチします。



転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。

 **知識**

携帯電話の機種によっては、USB 接続している携帯電話で vCard 形式のデータを連絡先として転送できます。携帯電話に接続している SD カードなどのデータからも転送できる場合があります。



— **関連リンク** —

[USB 機器を接続する \(P.36\)](#)

ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号を登録しておくことで、ワンタッチで呼び出すことができます。ワンタッチダイヤルは携帯電話ごとに登録が必要です。



連絡先からワンタッチダイヤルを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]にタッチします。
- 3 登録したいデータを選択します。
- 4 登録したい電話番号の[]にタッチします。
- 5 ワンタッチダイヤルリストのボタンを選択します。
- 6 [OK]にタッチします。

ワンタッチダイヤルは選択したボタンの位置に登録されます。

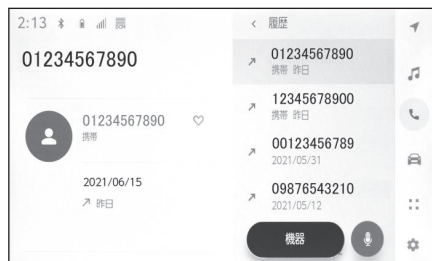


履歴からワンタッチダイヤルを登録する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [履歴]にタッチします。
- 3 登録したいデータを選択します。
- 4 登録したい電話番号の[]にタッチします。


登録可能なデータは、連絡先に登録されているデータのみです。

ワンタッチダイヤルは空いている登録先に登録されます。



ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの登録を削除できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先]または[履歴]にタッチします。
- 3 削除したいデータを選択します。

- 4 削除したい電話番号の[♥]にタッチします。




関連リンク

[ワンタッチダイヤルから電話をかける \(P.210\)](#)

連絡先に新規データを追加する

マルチメディアシステムの連絡先に直接データを入力して連絡先を作ることができます。連絡先には、1名のデータにつき、名称、電話番号（最大4件）、種別（自宅や携帯など、各電話番号にそれぞれ1つ）が登録できます。

- 履歴画面の[連絡先を更新する]からも、連絡先編集画面を呼び出して新規データを追加できます。
- [自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先に新規で追加できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。
- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。
- 3 [新規作成]にタッチします。
- 4 各項目を選択して入力します。

- [電話番号を追加]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。
電話番号が入力されていない場合、電話番号を追加することはできません。
- 電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



- 5 [保存]にタッチします。

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されていないと登録できません。

関連リンク

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)


[履歴から電話をかける \(P.208\)](#)

連絡先のデータを修正する

登録済みの連絡先データを修正できます。

[自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を修正できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。
- 3 [編集]にタッチします。
- 4 修正したい連絡先を選択します。

5 各項目を選択して入力します。

- [電話番号を追加]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。
- 電話番号下部の種別（自宅や携帯など）にタッチすると、電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



6 [保存]にタッチします。

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されていないと登録できません。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

連絡先のデータを削除する

すでに登録済みの連絡先のデータを削除できます。

[自動転送]がONに設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を削除できません。[自動転送]をOFFにしてから行ってください。

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。
- 3 [削除]にタッチします。
- 4 削除したいデータを選択します。
- 5 サブメニュー下部の[削除]にタッチします。



— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.89\)](#)

7-1. T-Connect のサービス概要

T-Connect とは234

データ通信に関する留意事項...235

7-2. T-Connect の利用手続き

T-Connect を契約する238

T-Connect を利用する239

7-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットについて241

各部の名称とはたらき243

安全のために244

ヘルプネットをお使いになる
前に246

緊急通報をする247

保守点検をする251

表示灯について254

緊急通報できない場合につい
て256

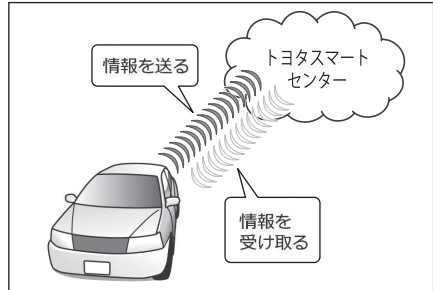
故障とお考えになる前に258

7-4. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービ
スについて259

T-Connect とは

T-Connect は通信モジュール（DCM）を介してお車がお客様と常につながることにより、安心、安全、快適なカーライフをサポートするコネクティッドサービスです。



■ T-Connect サービス

ご利用可能な T-Connect サービスは、T-Connect の WEB サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) をご覧ください。

— 関連リンク —

[コネクティッドナビ \(P.120\)](#)

データ通信に関する留意事項

T-Connect を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

安全にご利用するため注意すること

T-Connect をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について

走行中に T-Connect をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

▲ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

通信機器について

T-Connect は、通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

■ 通信モジュール（DCM）について

車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。ご利用には T-Connect 利用申込みが必要です。通信費は T-Connect 利用料金に含まれます。利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect の WEB サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) でご確認ください。

リコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店からリモートメンテナンスメールによりお送りするため、T-Connect の契約の有無にかかわらず、通信を行う場合があります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、T-Connect をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

T-Connect は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。LTE サービスエリアでは、最大 150 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご覧ください。なお、通信状況はさまざまな要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
 - トンネルの中にいるとき
 - 地下駐車場にいるとき
 - 山奥などの通信圏外にいるとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 通信モジュール(DCM)は、お客様に T-Connect をご利用いただくため、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店よりお客様に対しリコールなどの大切なお知らせをお送りするためなどの目的で、T-Connect を契約されない場合または解約された場合であっても、初度登録日から一定期間、通信事業者とのあいだで通信回線を維持します。
- 通信モジュール(DCM)の回線維持期間経過後に T-Connect を新たにご契約いただく場合、通信モジュール(DCM)の回線を接続するための費用が必要になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、T-Connect が使用できなくなります。(その場合には事前にご連絡します。)

□ 知識

- T-Connect はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
- データ取得までの時間は、マルチメディアシステムの状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間(数カ月間)受信していないとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動してください。

- 全ての情報を初期化したあとはしばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。

関連リンク

[システムを再起動する \(P.12\)](#)

[セキュリティ設定を変更する \(P.63\)](#)

受信レベルについて

画面左上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

レベル	表示
未接続時	
圏外	
弱	
強	

□ 知識

受信レベル表示が「圏外」の場合でも、マルチメディアシステムはデータ取得動作を行います。一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間はマルチメディアシステムの通信状態によって異なります。

T-Connect を契約する

T-Connect をご利用いただくには T-Connect 契約が必要となります。

■ 新規契約を行う

T-Connect の WEB 申し込みサイト (https://tconnect.jp/webregist_tsc/) でお申し込みできます。

T-Connect を利用する

ご利用の際には各サービスの使用方法、注意事項を確認のうえご利用ください。

ご利用の前に

ヘルプネットの手動保守点検を行ってください。手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

— 関連リンク —

[保守点検をする \(P.251\)](#)

各サービスを使う

- ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）
- コネクティッドナビ^{*1}
- エージェント（音声対話サービス）^{*1}
- マイセッティング
- リモートメンテナンスサービス
- 車内 Wi-Fi[®]（Wi-Fi[®] Hotspot 機能）^{*2}

上記以外のサービスの使用方法はスマートフォンアプリのヘルプ、もしくは T-Connect の WEB サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) をご確認ください。

— 関連リンク —

[音声で操作する \(P.37\)](#)

[ドライバーの切りかえや登録をする \(P.55\)](#)

[Wi-Fi[®] Hotspot を設定する \(P.87\)](#)

[コネクティッドナビ \(P.120\)](#)

[ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ） \(P.241\)](#)

[リモートメンテナンスサービス \(P.259\)](#)

WEB サイト

■ T-Connect 公式サイト

T-Connect サービスの概要などを確認することができます。

- URL：<https://toyota.jp/tconnectservice/>
- QR コード：

*1: コネクティッドナビのオプション契約が必要です。

*2: 車内 Wi-Fi[®]のオプション契約が必要です。



■ My TOYOTA (WEB)

T-Connect の契約情報の確認、オプションの契約などを行うことができます。

- URL : <https://toyota.jp/member/mytoyota/>
- QR コード :



スマートフォンアプリ

■ My TOYOTA+ (アプリ)

お車に関する情報の確認などを行うことができます。

- URL : <https://toyota.jp/spapp/mytoyota/qrlink/>
- QR コード :



ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話接続し、車内からの通報救援要請を補助支援するシステムです。

さらに、あおり運転などのトラブルのときでも、警察へ状況に応じて通報します。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

ヘルプネットは株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。

□ 知識

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用についての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが作動したときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

⚠ 注意

- ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

サービスの開始について

ヘルプネットは、T-Connect 申込み後にヘルプネット手動保守点検を実施すると利用できます。EV システム始動後、しばらくすると緑の表示灯が点灯します。その後、ヘルプネット手動保守点検を必ず契約者本人で行うようにしてください。

— 関連リンク —

[ヘルプネットをお使いになる前に \(P.246\)](#)

緊急通報について

■ エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

■ ドライバー異常時対応システム^{*1} 作動による自動通報

ドライバー異常時対応システム作動によってお車が自動停車すると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

■ ボタン操作による手動通報

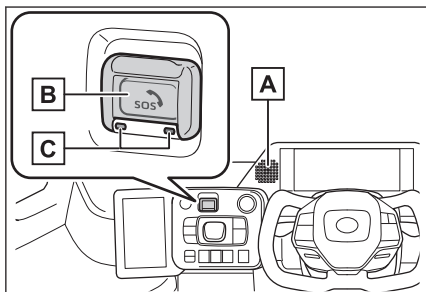
乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

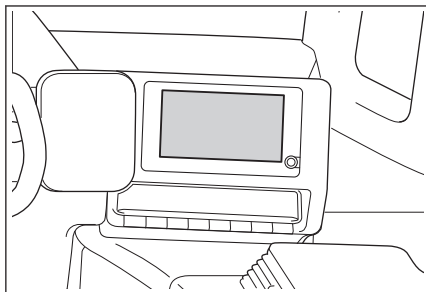
■ ヘルプネットスイッチパネル

- A マイク：緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。
- B ヘルプネットボタン：ボタン操作による手動通報をします。また、手動保守点検をするときに押します。
- C 表示灯：赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせます。



■ マルチメディアシステム

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。



安全のために

▲ 警告

- 安全運転を心がけてください。ヘルプネットは、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により異臭を感じる時は、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- 手動保守点検は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- マルチメディアシステムは衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 補機バッテリーの電圧低下または接続が断られたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外で使用している
 - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
 - T-Connect 契約が未契約、または契約期限が切れている
 - 手動保守点検を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

▲ 警告

- T-Connect 契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

▲ 注意

- マルチメディアシステム内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。動作温度範囲：-20°C～+ 60°C
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりとかけて、パワースイッチを OFF にしてください。

ヘルプネットをお使いになる前に

ヘルプネットは、手動保守点検を実施してからご利用ください。

1 手動保守点検を行い、以下の点を確認する。

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい。（ヘルプネットセンターとの通話で確認）

2 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確認する。

ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。

▲ 警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - 通信が始まらない。
 - 通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
 - 通話できない。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

— 関連リンク —

[手動保守点検を実施する \(P.251\)](#)

緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

- 1 エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始されます。
 - スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
 - メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
 - エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通報を開始する場合があります。
- 2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されます。
- 3 データ通信完了後、通話モードになります。
- 4 通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。
オペレーターからの呼びかけに応答がなくても、緊急車両などを手配することがあります。
- 5 警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。
- 6 通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

▲ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

- 7 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。
- 8 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

□ 知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

▲ 警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話できません。
 - 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

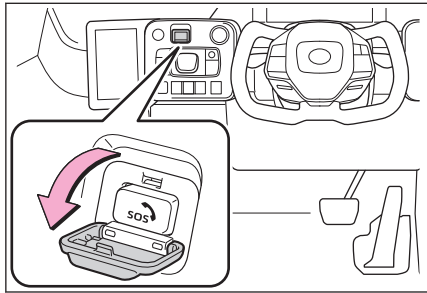
ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

パワースイッチがACCまたはONのとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

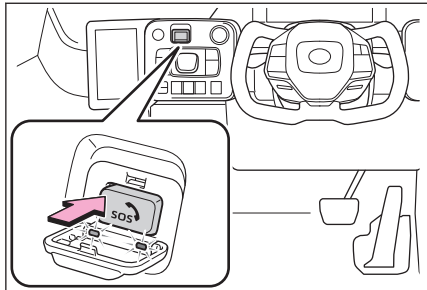
- 1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめます。

- 2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。



- 3 ヘルプネットボタンを押します。
4 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始されます。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。



- 5 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信されます。
6 データ通信完了後、通話モードになります。
7 通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。

手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

- 8 警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。
9 通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救急機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

▲ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

□ 知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

▲ 警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話できません。
 - 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要ときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

保守点検をする

自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期：株式会社日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間：開始後 1～2 分で終了します。

⚠ 注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にパワースイッチを OFF から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

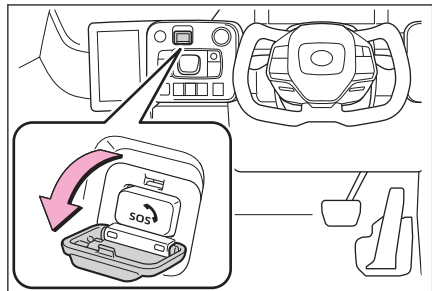
⚠ 警告

手動保守点検の途中で、パワースイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやりなおしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動します。

ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

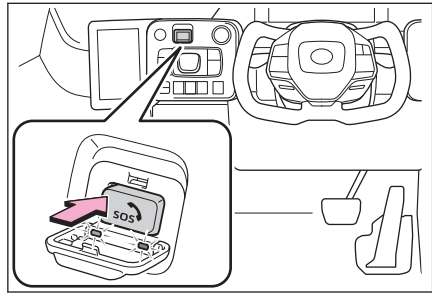
2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。



3 パワースイッチを OFF にします。

4 パワースイッチを ACC または ON にします。

- 5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約10秒間押し続けます。



- 6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅しはじめます。ボタンから指を離してください。

- 7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をします。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること

- 8 データ通信完了後、通話モードになります。

- 9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。

ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ビー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前をくり返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

- 10 通話の終了後に点検を終了します。

緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

□ 知識

- 手動保守点検開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

▲ 警告

手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。手動保守点検が正常に終了しても緑の表示灯が点灯しない場合、緊急通報できない可能性があるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはパワースイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやりなおしてください。携帯電話サービスエリア内でやりなおしても接続されないときには、トヨタ販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき(携帯電話サービスエリア内)	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき(携帯電話サービスエリア外)	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき(携帯電話サービスエリア内)	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。トヨタ販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき(呼び返し待機状態を含む)	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき(携帯電話サービスエリア外)	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。それでも表示が続く場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	トヨタ販売店で交換してください。
点灯	点灯	パワースイッチを ON にしたとき(約 5 秒間)	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。トヨタ販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	T-Connect サービスを契約してください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	関連機器が動作していないとき	パワースイッチを ACC または ON にしてもこの状態が続くときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検をしていないとき	手動保守点検を行います。

▲ 警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
 - EV システム始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
 - EV システム始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
 - 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
 - EV システム始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

— 関連リンク —

[手動保守点検を実施する \(P.251\)](#)

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ T-Connect 契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

■ ヘルプネット利用登録の不成立

- 未登録の場合
- 手動保守点検^{*1}を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

■ 関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 補機バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

■ 緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知識

ヘルプネットは、GPS から位置情報を取得しています。

■ ヘルプネットセンター／トヨタスマートセンターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき

*1: 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
 - 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
 - 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
 - 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき
- 緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止
- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
 - 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき
- その他の要因

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

ヘルプネットが正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	手動保守点検 ⁽¹⁾ が正常に完了していない。	手動保守点検 ⁽¹⁾ をする。
緊急通報できない	パワースイッチを ACC または ON にした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
パワースイッチを OFF にしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を終了しました」という音声案内が流れてから約 60 分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
EV システム始動後、表示灯が両方共に点灯しない	T-Connect 契約がされていますか。	T-Connect 契約をする。

(1) 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

▲ 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

— 関連リンク —

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

リモートメンテナンスサービスについて

お車の状態に関する情報をトヨタスマートセンターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

サービスのご利用には、リモートメンテナンス店の登録が必要です。リモートメンテナンス店の新規登録・変更時は、トヨタ販売店にご連絡ください。

車両に OBD(On-Board Diagnostic) II 通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やタイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話や本機の画面から、その場でトヨタ販売店への入庫予約をおこなうことができます。

また、リコール情報等、お車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車(株)またはトヨタ販売店から通信モジュール (DCM) を利用し、お車にメールでご連絡する場合があります。

e ケア

走行アドバイス

お車の EV システム・ブレーキ関係などの項目について、メーター内の警告灯が点灯しトヨタスマートセンターが異常を検知すると、本機にてお客様に通知します。

お車に警告灯が点灯した場合、ディスプレイより e ケアコールセンターに接続が可能です。e ケアコールセンターは、車両情報をもとに 24 時間 365 日、適切な対処方法をアドバイスいたします。

また、あらかじめ登録しているトヨタ販売店*1 (リモートメンテナンス店) にも車両情報が連携され、点検や修理などをご案内させていただく場合があります。*2

すべての警告灯の点灯に対し、本機への通知を送信するわけではありません。

*1: 販売店での対応は、営業時間内に限ります。

*2: すべての警告灯点灯時に実施するものではありません。走行に支障が出る可能性が高いものに限ります。

8-1. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニター の機能とはたらき	262
シフトポジションが P のとき の表示モード	266
シフトポジションが D、N のと きの表示モード	268
シフトポジションが R のとき の表示モード	275
画面を拡大表示する	283
床下透過映像を表示する	285
パノラミックビューモニター の設定を変更する	287
パノラミックビューモニター の注意点	289

パノラミックビューモニターの機能とはたらき

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

☐ 知識

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

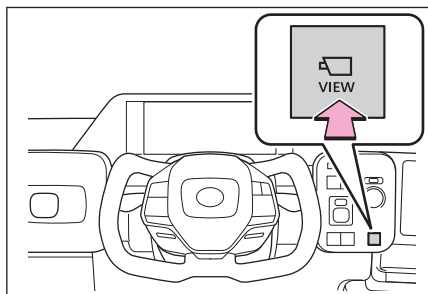
▲ 警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

パノラミックビューモニターの表示や表示モードの切りかえをします。

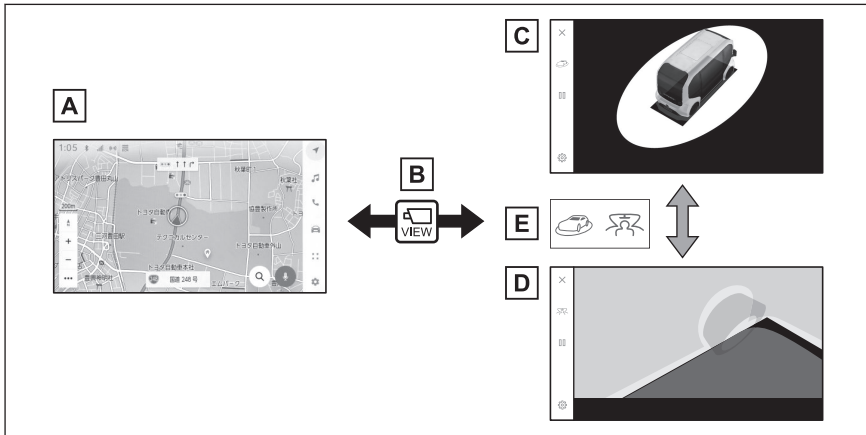
ステアリングスイッチに[VIEW]スイッチを割り当てることで、ステアリングスイッチでも操作ができます。スイッチの位置は、状況や設定によって切り替わり、スイッチに触れると、各スイッチの機能がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。詳細は、別冊「取扱書」をご覧ください。



パノラミックビューモニター画面を表示する

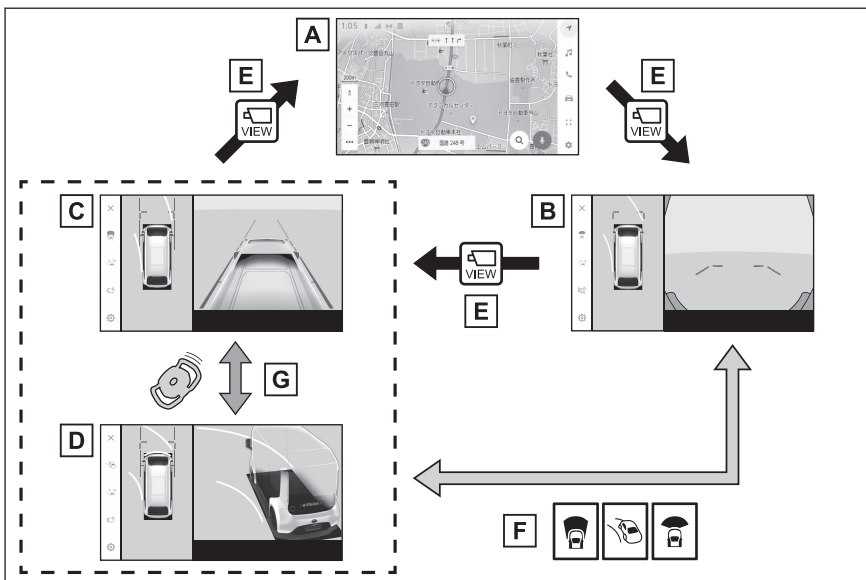
パワースイッチがONの状態、カメラスイッチを押すか、シフトポジションをRにすると、パノラミックビューモニターが表示されます。

■ シフトポジションがPのときの表示モード



- A ナビゲーション画面、オーディオ画面など
- B カメラスイッチを押す
- C ムービングビュー
- D シースルービュー
- E 画面モード切りかえボタンをタッチ

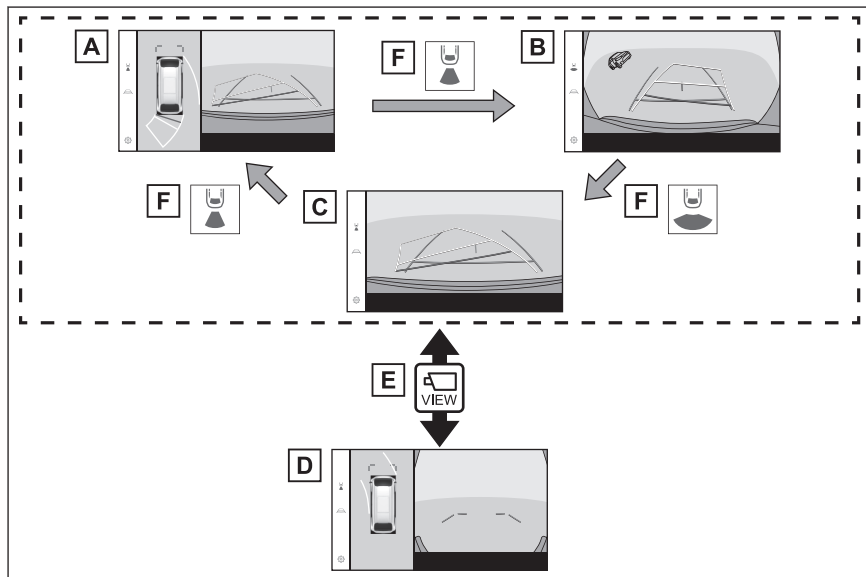
■ シフトポジションがD、Nのときの表示モード



- A ナビゲーション画面、オーディオ画面など
- B パノラミックビュー&ワイドフロントビュー

- C パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー
- D パノラミックビュー&コーナリングビュー
- E カメラスイッチを押す
- F 画面モード切りかえボタンをタッチ
- G 直進状態から 50 度以上ハンドルを操作

■ シフトポジションが R のときの表示モード



- A パノラミックビュー&バックビュー
- B ワイドバックビュー
- C バックビュー
- D パノラミックビュー&ワイドフロントビュー
- E カメラスイッチを押す
- F 画面モード切りかえボタンをタッチ

知識

- 車速が約 20km/h 以下でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 20km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 車速が約 20km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約 20km/h 以下にならないかぎり、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 20km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 20km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。

- 画面表示タイマー（8秒または5分）が作動していないとき、車速が20km/h以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。画面表示タイマー機能はカスタマイズ設定画面でON/OFFの設定ができます。
- ガイド線モードなどの表示設定は、ドライバー登録をすることでマイセッティングとして保存され、乗車時に呼び出すことができます。
- エージェント（音声対話サービス）を使用して、パノラミックビューモニター画面の表示、画面モードの切りかえなどの操作を行うことができます。

関連リンク

[ドライバーを登録する \(P.48\)](#)

[音声操作を開始する \(P.39\)](#)

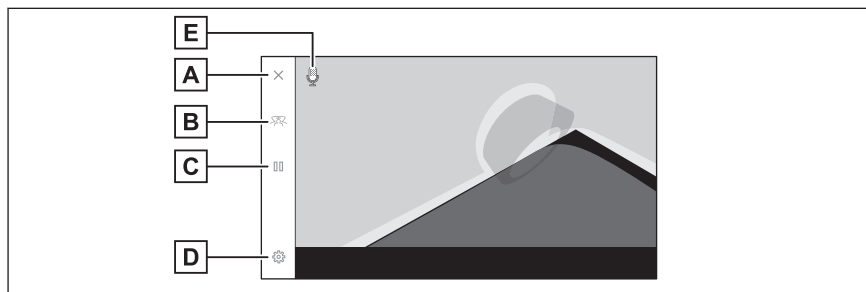
[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

シフトポジションがPのときの表示モード

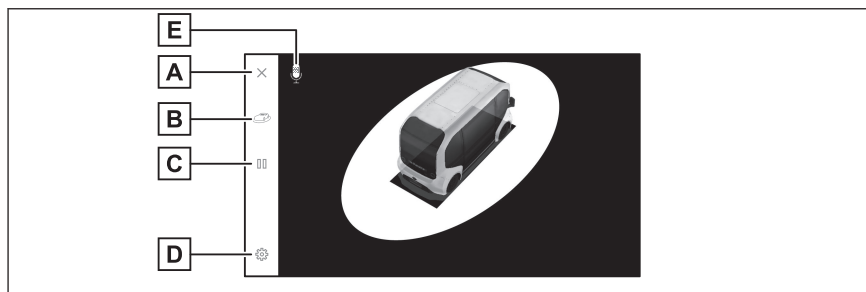
車両周辺の障害物を確認するため、各カメラから合成された映像を表示するモードです。運転席から見たような映像や、車両まわりの斜め上方から見たような映像を表示します。

- シフトポジションをPにします。
- カメラスイッチを押します。
 - 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。
 - カメラスイッチをもう一度押すと、ナビゲーション画面など、以前表示していた画面にもどります。

■ シースルービュー



■ ムービングビュー



A 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

B 画面モード切りかえボタン

シースルービュー／ムービングビューを切りかえます。

C 一時停止／再回転ボタン

回転表示を一時停止、再開します。

D カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボデーカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

E 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

知識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）
- シースルービュー／ムービングビュー画面の回転表示は、画面上の任意の場所をタッチしても一時停止／再開できます。

関連リンク

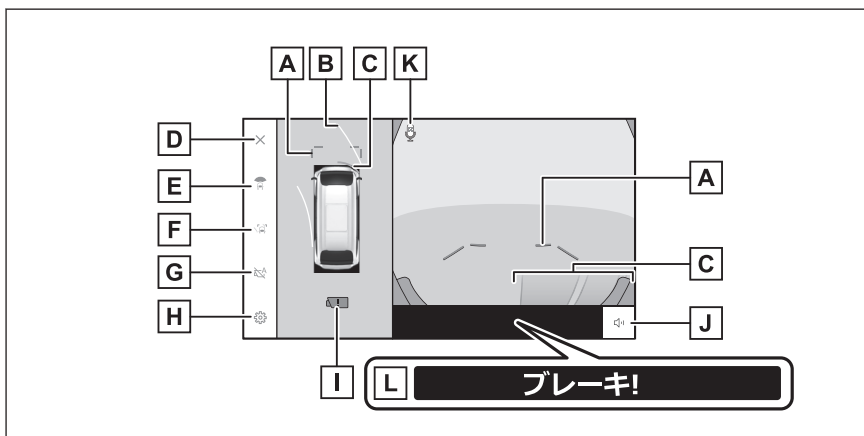
[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

シフトポジションが D、N のときの表示モード

見通しの悪い交差点やT字路などで、左右方向の状況を画面に映し、接近している車や自転車、歩行人の確認を行うことができます。また、車両側方の安全確認や狭い道路での接触回避、路肩への幅寄せ運転などをサポートします。

- シフトポジションを D または N にします。
- カメラスイッチを押します。
 - カメラスイッチを押すたびにモードが切りかわります。
 - コーナリングビューモードが ON になっている場合、ハンドルを直進状態から 50 度以上回転させると、パノラミックビュー&サイドクリアランスビューからパノラミックビュー&コーナリングビューに切りかわります。

■ パノラミックビュー&ワイドフロントビュー



- A** 前方距離目安線
車両前端から約 1m 先を示します。
- B** 前進予想進路線
ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)
直進状態から 25 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。
- C** クリアランスソナー
センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)
- D** 画面消去ボタン
カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。
- E** 画面モード切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。
- F** ガイド線切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

G 自動表示ボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトポジションが D または N とき、車速に応じて自動でパノラミックビュー&ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー&クリアランスビュー/コーナリングビューが表示されます。

H カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボデーカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

I カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

J ミュートボタン

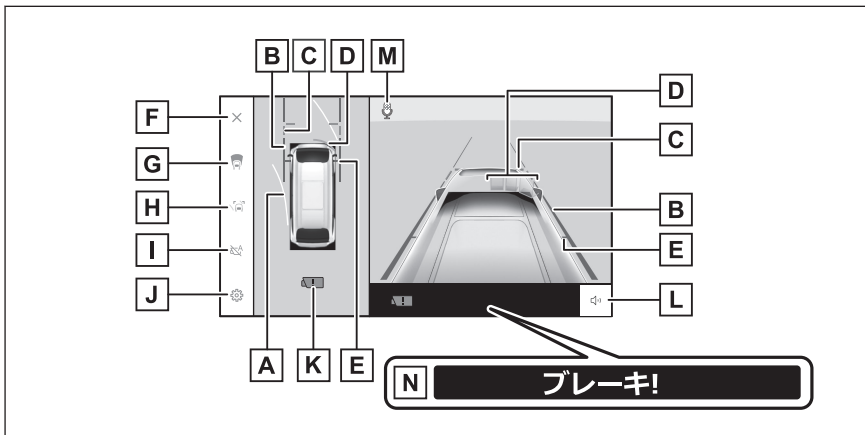
クリアランスソナーの作動音を一時的にミュートします。

K 音声認識アイコン

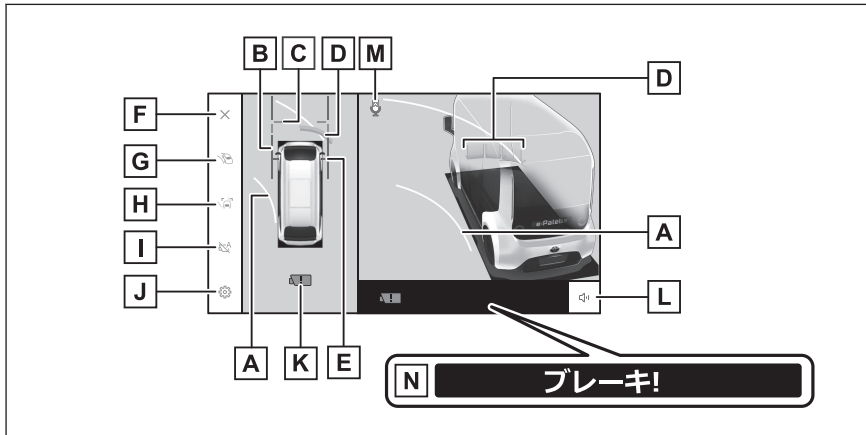
エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

L PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性ある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

■ パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー

■ パノラミックビュー&コーナリングビュー



- A** 前進予想進路線
ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)
直進状態から 25 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。
- B** 車幅平行線
ドアミラー分を含んだ車幅の目安を示します。
- C** 前方距離目安線
車両前端から約 1m 先を示します。
- D** クリアランスソナー
センサーが障害物を検知すると、画面にインジケータが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)
- E** 前輪接地線
前タイヤの位置を示します。
- F** 画面消去ボタン
カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。
- G** 画面モード切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。
- H** ガイド線切りかえボタン
ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。
- I** 自動表示ボタン
自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトポジションが D または N とき、車速に応じて自動でパノラミックビュー&ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー&クリアランスビュー/コーナリングビューが表示されます。
- J** カスタマイズ設定ボタン
コーナリングビュー自動表示や車両のボデーカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。
- K** カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

L ミュートボタン

クリアランスソナーの作動音を一時的にミュートします。

M 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

N PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知 識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー/コーナリングビューを表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

▲ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はわかりません。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

— 関連リンク —

[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.271\)](#)

[自動表示モード \(P.272\)](#)

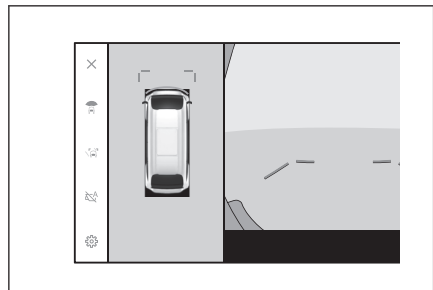
[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするたびに、表示モードが切りかわります。

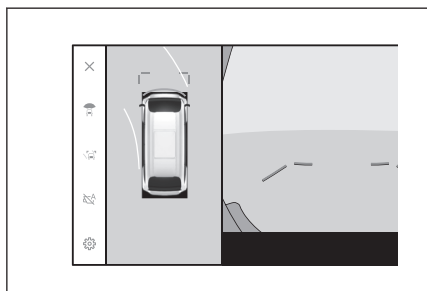
■ 距離目安線表示モード

車両前端から約 1m 先を示します。（青色）



■ 予想進路線表示モード

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)直進状態から 25 度以上ハンドル操作をした場合に表示されます。



自動表示モード

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー&ワイドフロントビュー、パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示される自動表示モードを設定できます。

- 自動表示ボタン[]にタッチすると、自動表示モードが ON にかかります。
- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示されます。
 - ・ シフトポジションを D または N にしたとき
 - ・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき (シフトポジションが R 以外)

コーナリングビュー自動表示

ハンドル操作に応じて自動的にパノラミックビュー&コーナリングビューが表示されるコーナリングビュー自動表示モードを設定できます。

- コーナリングビュー自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動でコーナリングビューを表示できます。
 - ・ シフトポジションを D または N にしたとき
 - ・ 車速が約 12km/h 以下に減速したとき
 - ・ 直進状態から 50 度以上ハンドル操作をしたとき

知識

コーナリングビュー自動表示モードはカスタマイズ設定で変更できます。

— 関連リンク —

[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

クリアランスソナー連動表示

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー&ワイドフロントビュー、パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが自動的に表示されます。

- クリアランスソナーが障害物を感知したとき（シフトポジションが D または N のとき）に、自動で表示されます。
- クリアランスソナーの感知が終了したときに、自動でもとの画面へもどります。

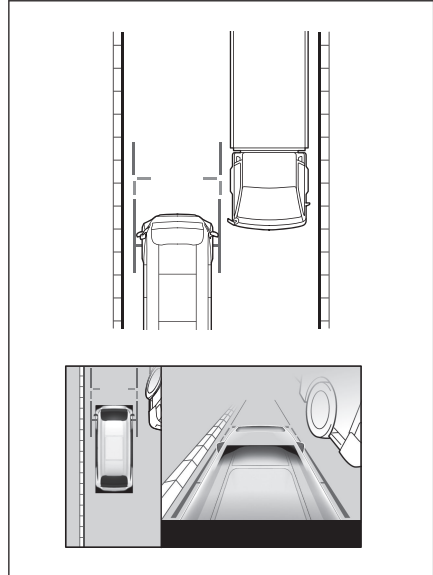
□ 知識

画面表示中にカメラスイッチを押すと、もとの画面にもどることができます。

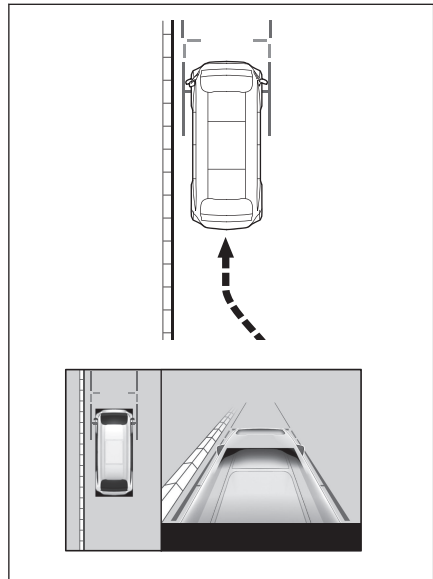
車幅平行線の使い方

■ パノラミックビュー&サイドクリアランスビュー

- 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。
- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



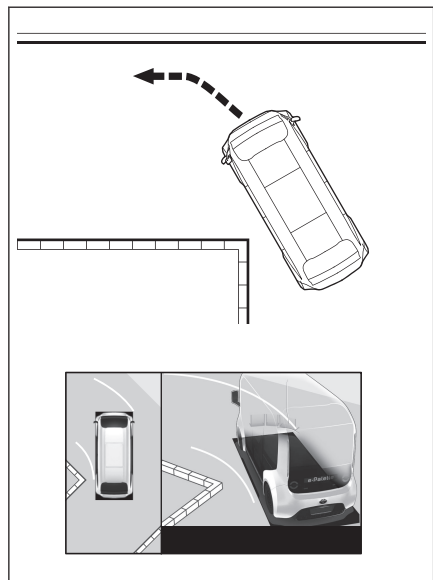
- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 図のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車できます。



前進予想進路線の使い方

■ パノラミックビュー&コーナリングビュー

- 前進予想進路線と障害物との位置関係を確認します。
- 前進予想進路線が実際の障害物と重ならないようにハンドル操作をして前進します。



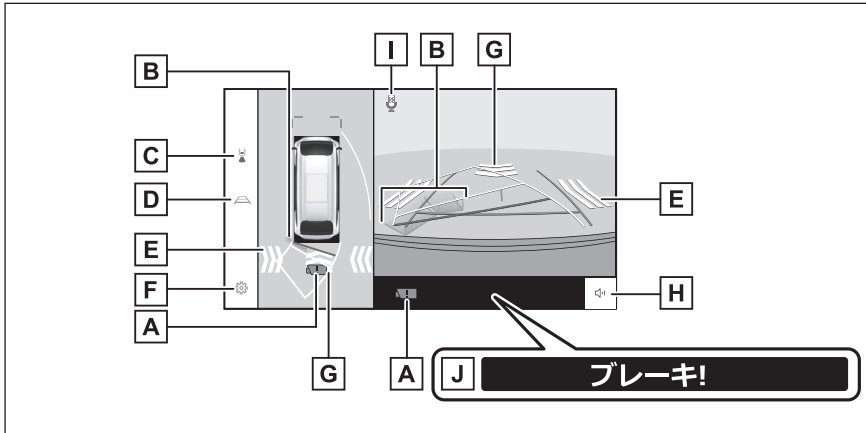
シフトポジションがRのときの表示モード

駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を表示します。

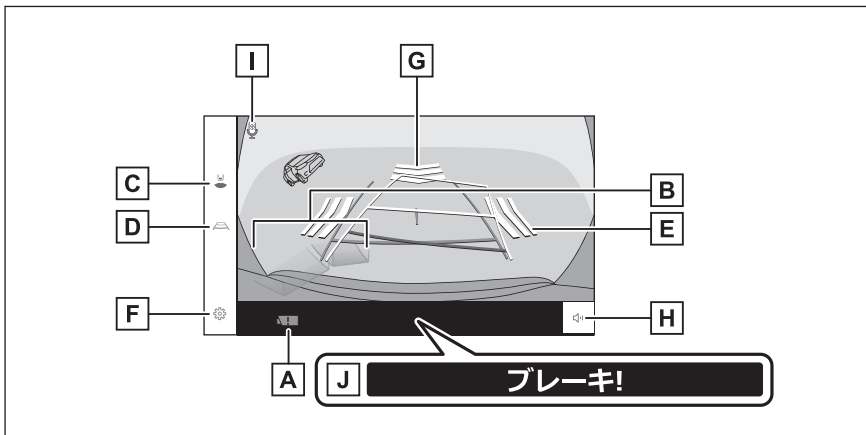
1. シフトポジションをRにします。

- 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。

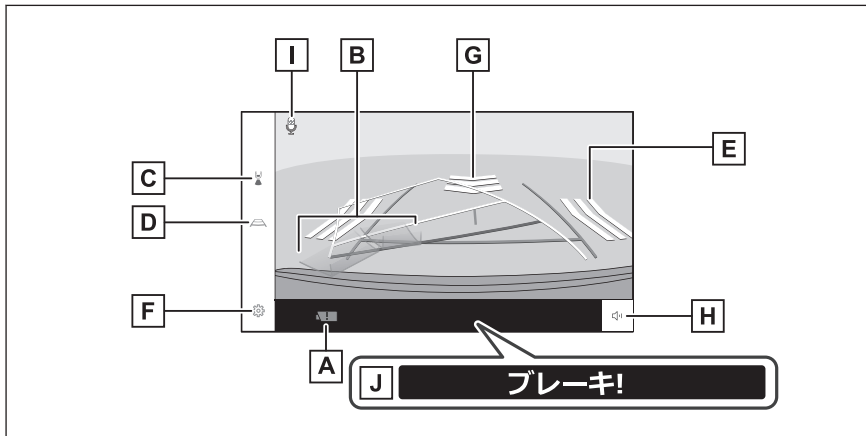
■ パノラミックビュー&バックビュー



■ ワイドバックビュー



■ バックビュー



A カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

B クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、パノラミックビュー&バックビュー/ワイドバックビュー/バックビューが切りかわります。

D ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

E RCTA (リヤクロストラフィックアラート) /RCD (リヤカメラディテクション)

以下のときに画面にインジケーターが表示されます。

- 後方レーダーが後方からの接近車両や障害物を検知したとき
- リヤカメラが後方の歩行者を検知したとき

(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) /RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

F カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボデーカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

G RCD (リヤカメラディテクション)

リヤカメラが後方の歩行者を検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

H ミュートボタン

クリアランスソナー/RCTA (リヤクロストラフィックアラート) /RCD (リヤカメラディテクション) の作動音を一時的にミュートします。

I 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

J PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある対象物を検知すると、画面にインジケータが表示されます。

（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知識

- シフトポジションがRのときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー&ワイドフロントビューに切りかえできます。
- バックビュー表示中、表示部にタッチすることで、ワイドバックビューに切り替えることができます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）、RCD（リヤカメラディテクション）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

— 関連リンク —

[ガイド線表示モードの切りかえ \(P.277\)](#)

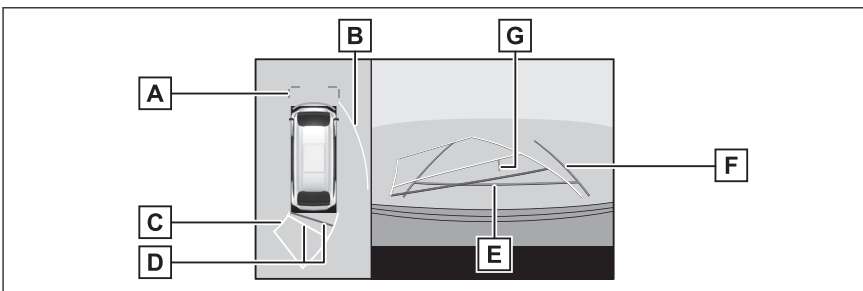
[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするごとに、表示モードが切りかわります。

■ 予想進路線モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

D 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

E 後方距離目安線

リヤバンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示します。

F 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

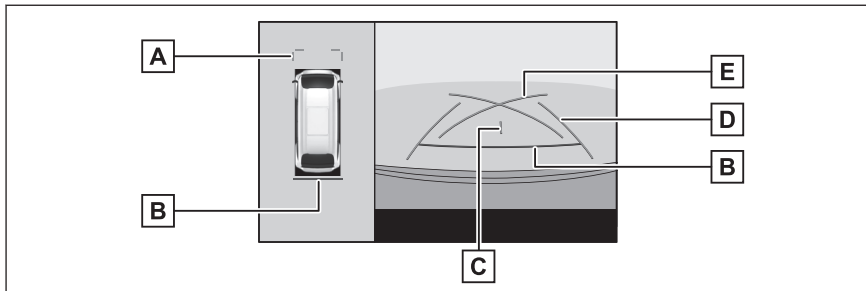
- 実際の車幅より広く表示します。
- 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。

G 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

■ 駐車ガイド線モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

C 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

D 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示されます。

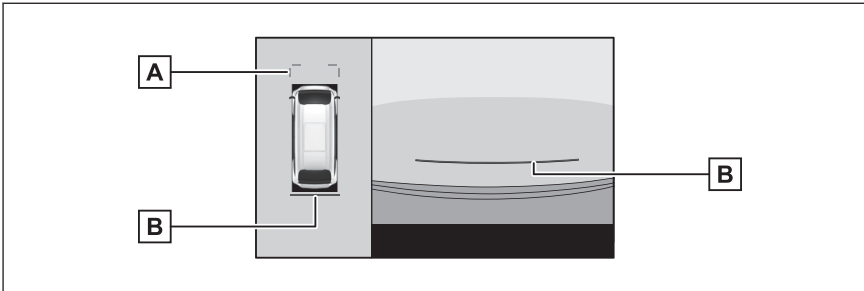
E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安にしてください。

■ 距離目安線モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

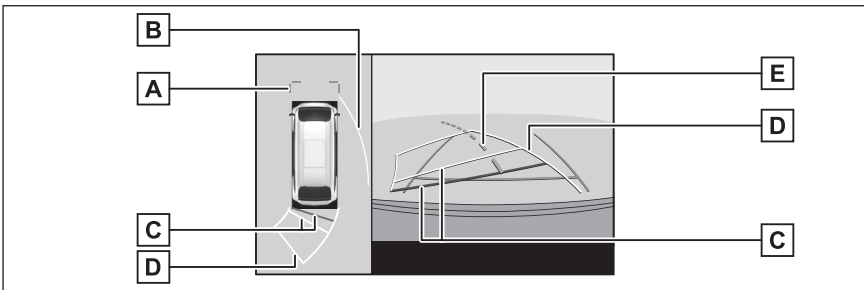
B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

■ 車両中央予想進路線モード

ハンドル操作に連動して、予想進路線や車両中央線の目安などが表示されます。またリヤバンパーの中心を、看板やポールなどの目印に寄せる場合に使用します。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

E 車両中央予想進路線

ハンドル操作と連動して、車両中央線（緑色）の目安を示します。

▲ 警告

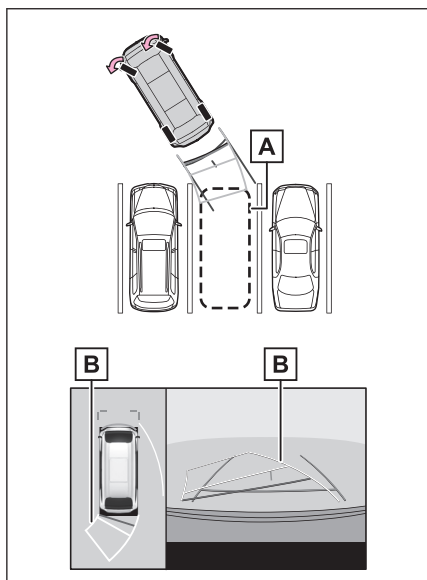
後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

予想進路線モードを使用して駐車する

- 1 シフトポジションを R にします。
- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

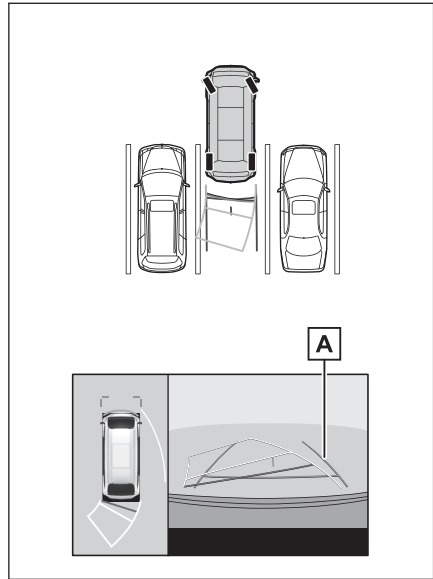
A 駐車スペース

B 予想進路線



- 3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線のあいだに入るようにハンドルを操作します。

A 車幅延長線



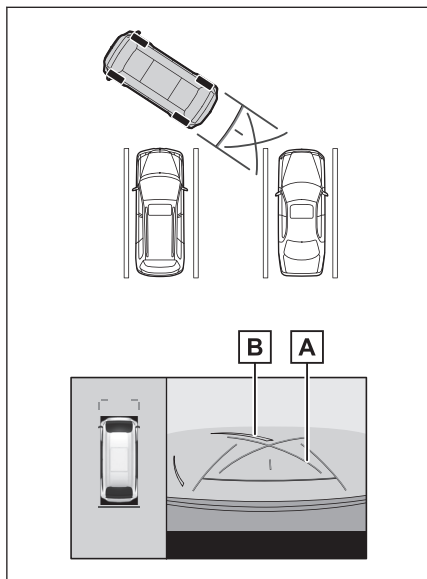
- 4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

駐車ガイド線モードを使用して駐車する

- 1 シフトポジションを R にします。

- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの区画線に合うまで後退したら止まります。

- A 駐車ガイド線
- B 駐車場の区画線



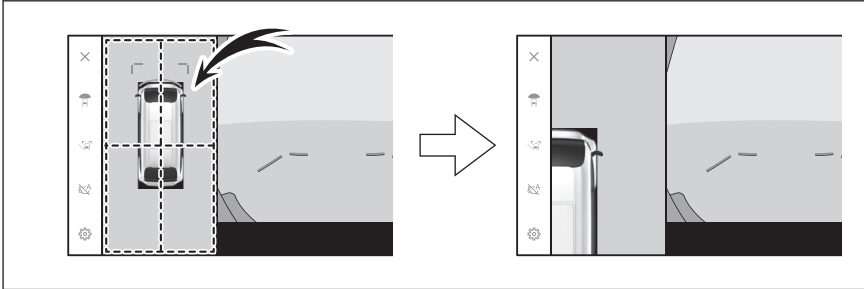
- 3 ハンドルをいっぱいにまわして、ゆっくり後退します。
- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

画面を拡大表示する

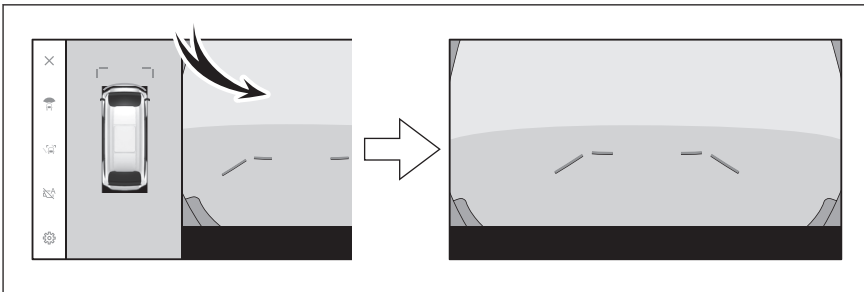
画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、画面を拡大して表示させることができます。

パノラミックビューまたはワイドフロントビューの拡大させたいエリアをタッチします。

▶ パノラミックビュー



▶ ワイドフロントビュー



- 選択したエリアが拡大表示されます。
- パノラミックビューは、車両の前後4カ所のいずれかを拡大して表示させることができます。
- 拡大表示を解除するには、再度画面をタッチします。

□ 知識

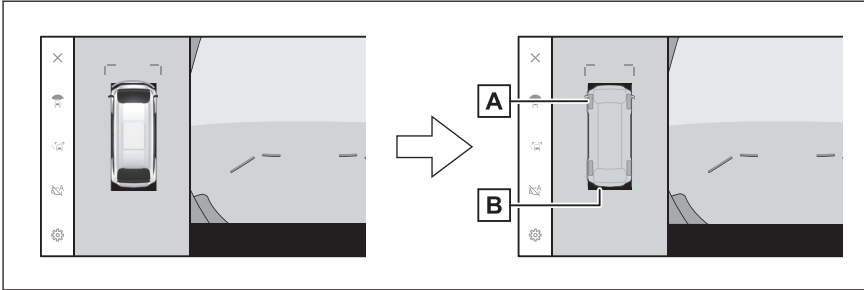
- 次の条件をすべて満たすと拡大機能を使用できます。
 - 車速が 12km/h 以下
 - クリアランスソナーが ON になっている
- 次のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます。
 - 車速が 12km/h 以上になった
 - クリアランスソナーを OFF にした

- シフトポジションが R のときのパノラミックビュー&ワイドフロントビューでは、拡大機能を使用できません。
- パノラミックビューの拡大表示は、ガイド線を表示しません。

床下透過映像を表示する

現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両下の状況やタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

床下透過映像表示は、カスタマイズ設定画面の設定を ON にし、車両を前進もしくは後退すると表示されます。



A タイヤ形状線

ハンドルと連動してタイヤ位置の目安を示します。

B 車両形状目安線

車両の外形の目安を示します。

知識

- 次の場合は、床下透過映像が表示されません。
 - 車速が 20km/h 以上になったとき
 - 車両が停止し、一定時間が経過したとき
 - 車両始動後、一定以上の距離を走行していないとき
 - ABS が作動したとき
 - システムが正常に作動しないとき
- 次のような状況では、システムが正常に作動しない場合があります。
 - 積雪路
 - 照明などによる影があるとき
 - カメラレンズに汚れや異物が付着しているとき
 - 水面（川、海など）
 - オプション装備を取り付けたとき
 - カメラの前に障害物があるとき
 - タイヤを交換したとき
 - すべりやすい路面や車輪が空転したとき
 - 坂道などの勾配があるとき

- 過去に撮影された映像を表示しているため、次のような場合は、画面と実際の状況が異なることがあります。
 - 撮影後に障害物が現れたり動いたりしたとき
 - 撮影後に砂や雪などが崩れて動いたとき
 - 表示範囲に水たまりやぬかるみなどがあるとき
 - 車両がスリップしたとき
- 次のような状況では、床下透過映像が一部、もしくはすべて黒映像で表示される場合があります。
 - 撮影した映像がない状態で、発進したとき
 - ハンドルを一定以上の角度まで回したとき
 - 車両が停止し、一定時間が経過したとき
 - EV システム始動後、一定以上の距離を走行していないとき
 - ドアミラーを格納しているとき
 - ABS が作動したとき
 - システムが正常に作動しないとき

▲ 警告


- 乗車人数、積載量、路面の勾配、路面状況、周囲の明るさ、オプションの装備、タイヤの交換などにより、タイヤ形状線や車両形状目安線と実際の車両位置がずれる場合があります。必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。
- 表示される映像は、撮影された過去に撮影された映像です。そのため、撮影後に障害物が動くなど、床下透過映像表示と実際の状況とが必ずしも一致しない場合があります。

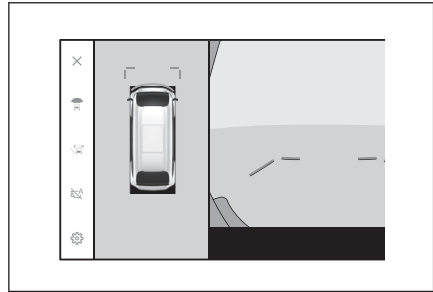
— 関連リンク —

[パノラミックビューモニターの設定を変更する \(P.287\)](#)

パノラミックビューモニターの設定を変更する

コーナリングビュー自動表示や車両のボデーカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

- 1 [] にタッチします。



- 2 サブメニューの[パノラミックビュー]にタッチします。
- 3 各項目を設定します。

- [コーナリングビュー]

コーナリングビューの自動表示の ON/OFF を設定できます。

- [床下透過の映像表示]

床下透過映像表示の設定を ON/OFF できます。設定を ON にし、車両を前進もしくは後退すると、現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両下の状況やフロントタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

- [クリアランスソナー 3D 表示]

クリアランスソナー 3D 表示の ON/OFF を設定できます。

- [クリアランスソナー検知距離]

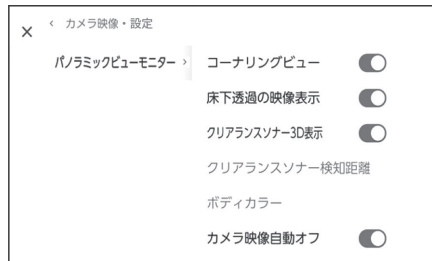
クリアランスソナーによる障害物検知の開始距離を切りかえることができます。

- [ボデーカラー]

画面に表示される車両のボデーカラーを変更できます。

- [カメラ映像自動オフ]

画面タイマー表示の ON/OFF を設定できます。



知識

走行中は安全のため、カスタマイズ設定画面を表示できません。

— 関連リンク —

[クリアランスソナーの検知開始距離を切りかえる \(P.288\)](#)

クリアランスソナーの検知開始距離を切りかえる

クリアランスソナーによる障害物検知の開始距離を切りかえることができます。

- 1 [クリアランスソナー検知距離]にタッチします。
- 2 希望の検知開始距離を選択します。
- 3 [OK]にタッチします。



パノラミックビューモニターの注意点

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは次のことをお守りください。

▲ 警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲はかぎられています。画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶついたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で運転してください。
- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 次のような状況では、使用しないでください。
 - 凍結、すべりやすい路面、または雪道
 - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - 坂道など平坦でない道路
 - タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
 - サスペンションを改造しているとき
 - 画面に映るエリアに社外品を装着しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像がうすれることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

▲ 注意

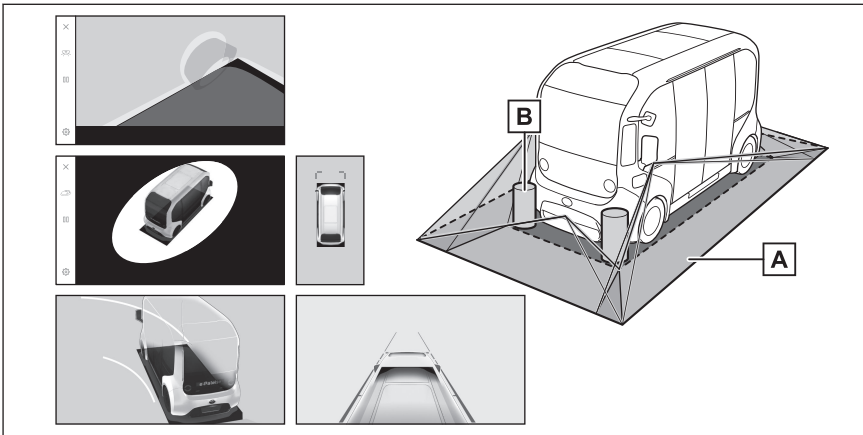
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解した上で使用してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

⚠ 注意

- それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに明暗ができる場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- ワイドフロントビューまたはバックビュー、ワイドバックビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。
- カメラが正しく作動せず、画面が次のように表示されることがあります。
 - ・ シフトポジションを R にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
 - ・ シフトポジションを R にしたときに、カメラ映像に切りかわらない
 - ・ シフトポジションを R 以外にした時に、カメラ映像が表示されたままになる
 - ・ カメラ映像にガイド線などが表示されず、着目マークや注意文が表示される

画面に映る範囲

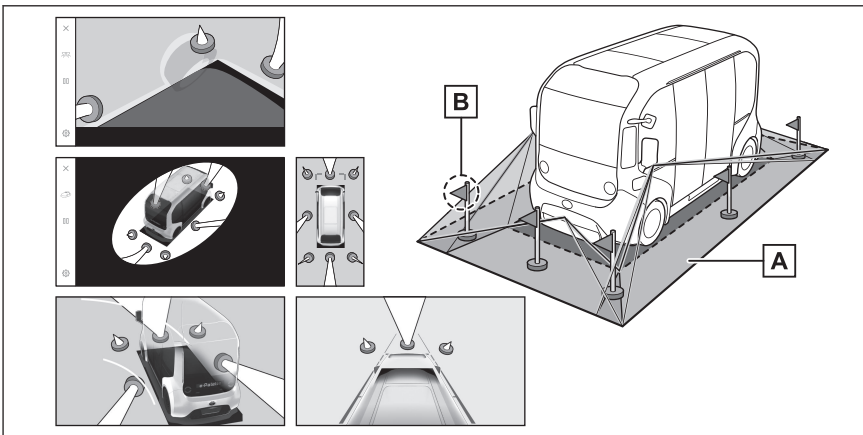
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



A 画面に映るエリア

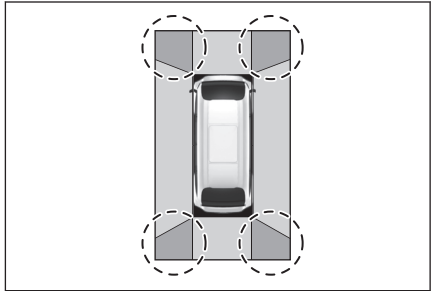
B 画面に映らない部分

路面より高い部分は画面に表示されません。

知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、4つのカメラから得られた画像を平らな路面を基準に加工して表示しているため、次のように表示されることがあります。

- 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
- 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
- 高さのあるものが合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。
- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 乗員人数、積載状況による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。
- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像やガイド線が正しく表示されない場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されている車両アイコンと、路面や障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。
- 図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。

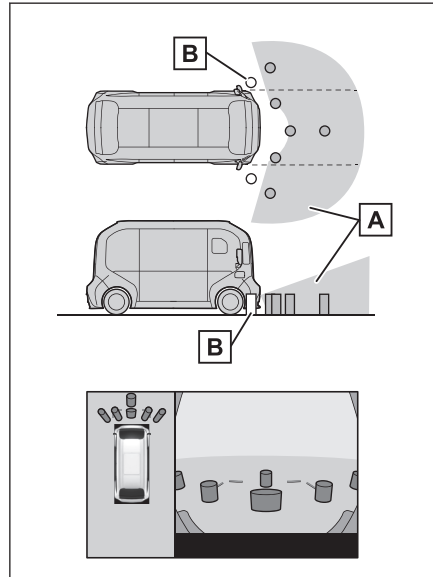


■ ワイドフロントビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。



□ 知識

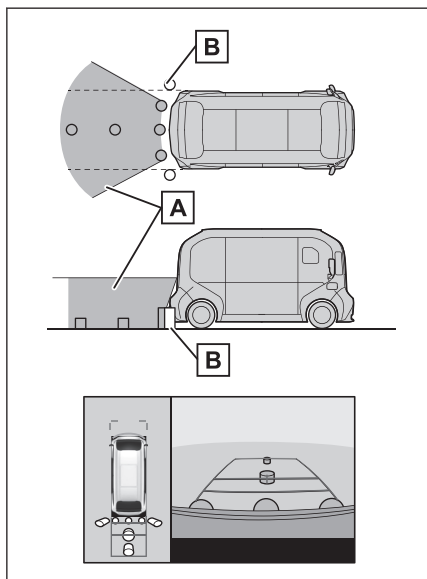
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ バックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

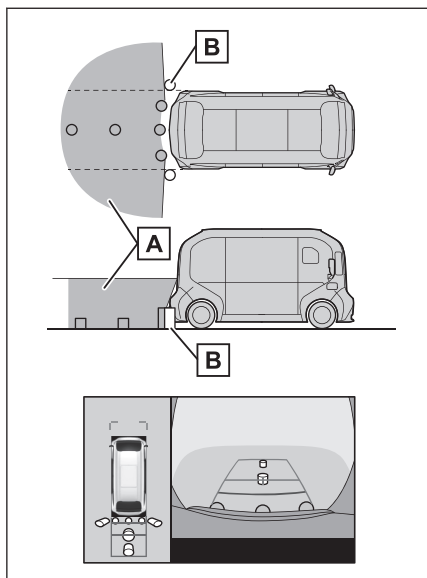


■ ワイドバックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。



☐ 知識

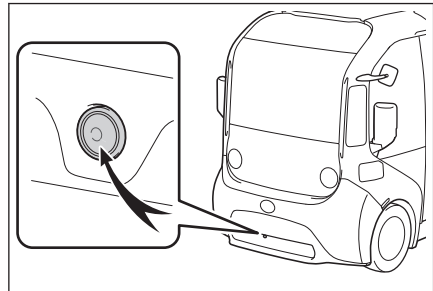
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビューやワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

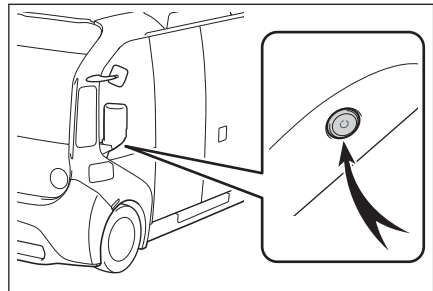
カメラの位置

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

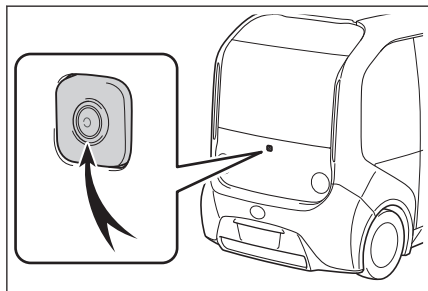
■ フロントカメラ



■ サイドカメラ



■ バックカメラ



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。次のことにご注意ください。
 - カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
 - カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤・ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

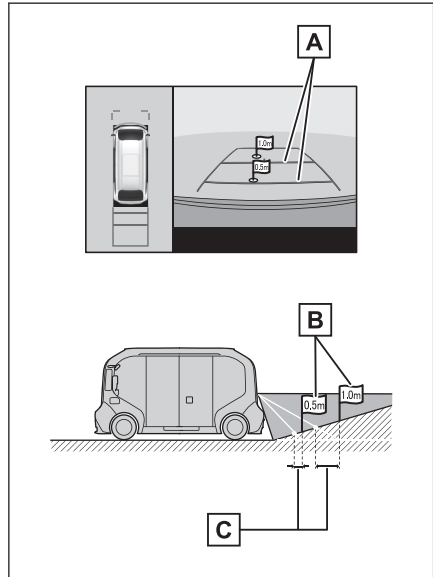
画面と実際の路面との誤差

パノラミックビューモニターの合成映像やガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

■ 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

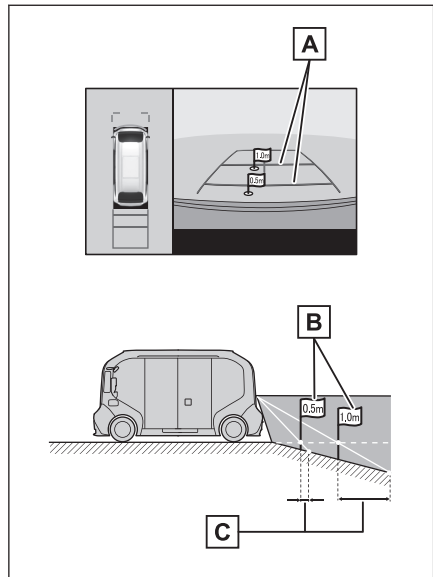
- A 距離目安線
- B 実際の距離
- C 誤差



■ 急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

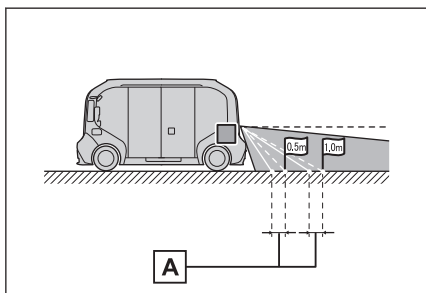
- A 距離目安線
- B 実際の距離
- C 誤差



■ 車が傾いているとき

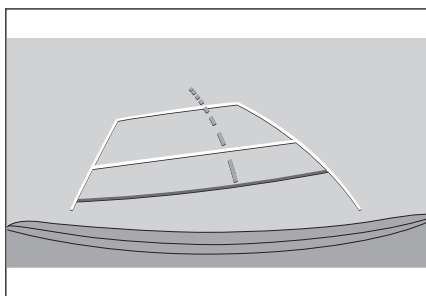
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

A 誤差



■ 車両中央予想進路線について

リヤバンパー付近の空中にガイド線が描かれているため、車両の中央からずれているように見えることがあります。



画面と実際の立体物との誤差

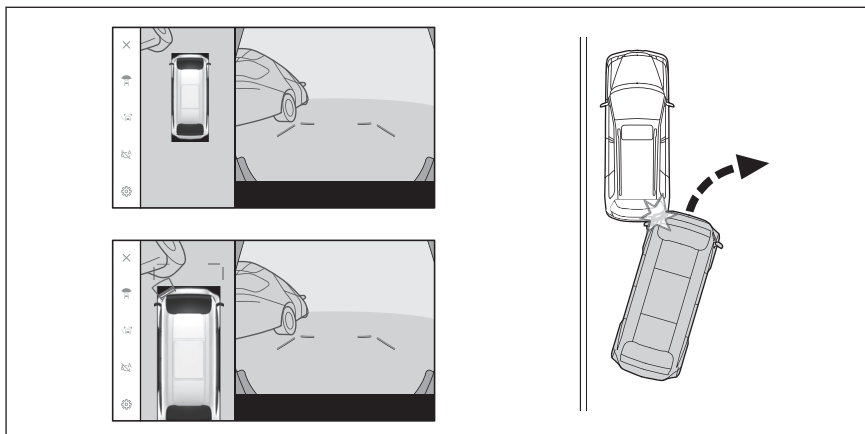
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

▲ 警告

クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をつつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■ パノラミックビュー（拡大表示を含む）の表示

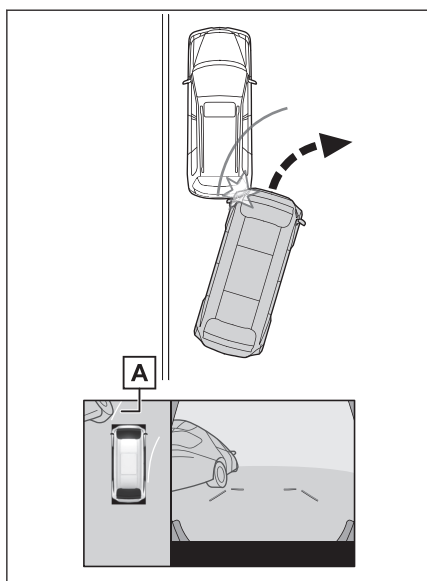
画面では車両のバンパーとのあいだに余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



■ 予想進路線について

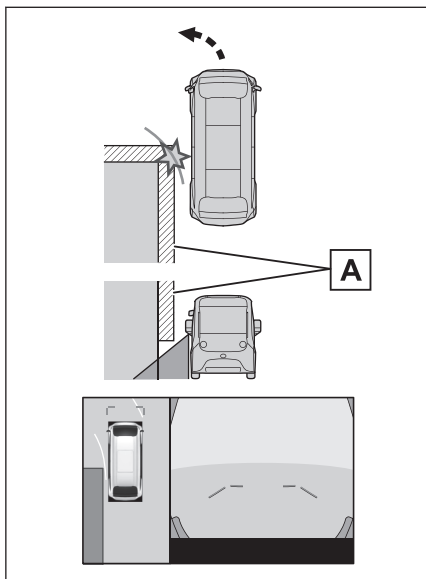
- 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



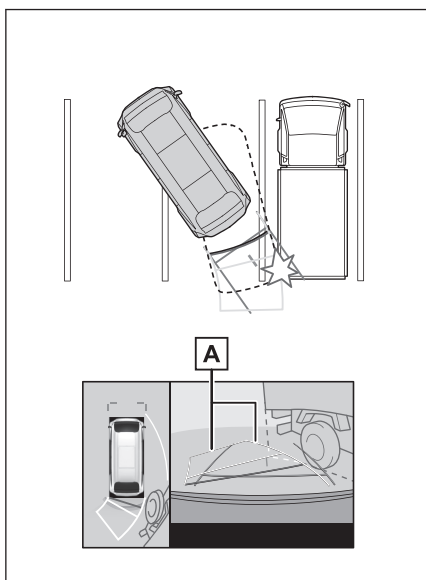
- 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。

A 壁の張り出し部分



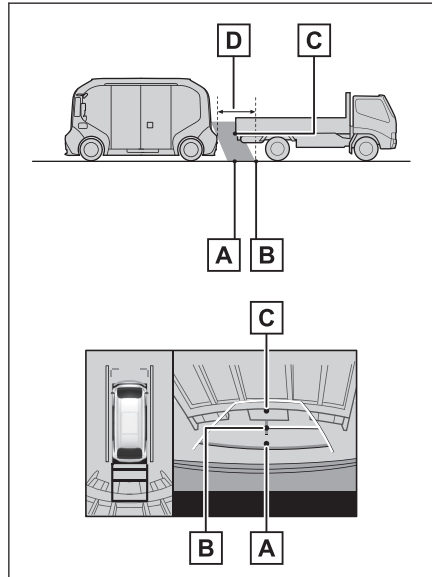
- 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



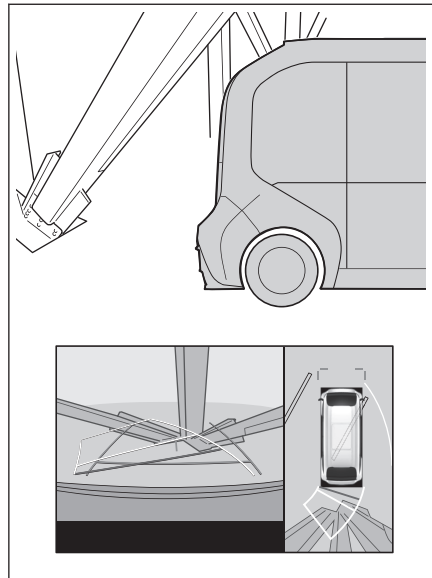
■ 距離目安線について

画面では、距離目安線により**B**の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には**A**の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では**A**、**B**、**C**の順に近く見えますが、実際の距離は**A**と**C**は同じ距離で、**B**は**A**と**C**より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。**D**の距離は約1mです。



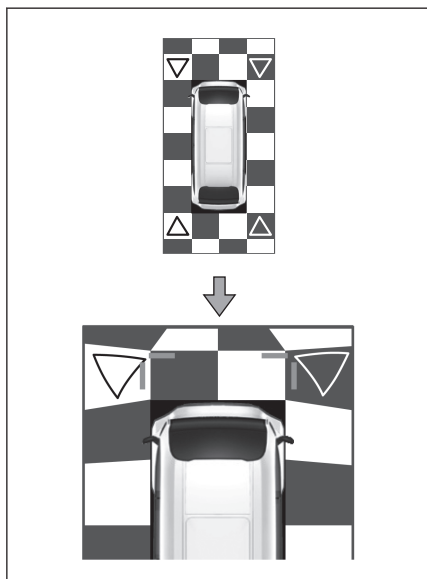
■ 斜めの柱の張り出し部について

パノラミックビューでは倒れた柱がまっすぐでぶつからないように見えても、実際は柱の上部が張り出しているため、ぶつかる可能性があります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



■ 拡大機能について

パノラミックビューの拡大機能は、通常のパノラミックビューとは違い、車両アイコンのほうへ映像を縮めています。そのため、路上の白線や壁などが曲がって見える場合があります。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 	<p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> <p>カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。</p> <p>パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。</p>

症状	考えられる原因	処置
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 車が傾いているとき(重い荷物の積載やバンクしてタイヤ空気圧が低いときなど)。 ● 傾斜地で使用するとき。 	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線が曲がっている(車幅延長線と予想進路線がずれる)	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
パノラミックビューが拡大できない。シースルービュー／ムービングビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューが表示されない	クリアランスソナーに異常(汚れや故障など)が発生した。	クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

— 関連リンク —

[画面表示の設定を変更する \(P.60\)](#)

フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

これらのフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方または片方については、次の URL から入手できます。

<https://www.denso.com/global/en/opensource/svss/toyota>

9-1. 付録

メディア／データについての 情報	306
認証・商標についての情報.....	313

メディア／データについての情報

使用できるメディアについての情報

使用できるメディアなどの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 HS (480MBPS)
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダー数	3000 (ルート含む)
最大フォルダー階層数	8
最大ファイル数	9999 (1 フォルダにつき、最大 255 ファイル)
メモリ容量	～32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER 3)
対応サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 LAYER 3 : 32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3 : 16、22.05、24
対応ビットレート (kbps) ⁽¹⁾	MPEG1 LAYER 3 : 32～320 MPEG2 LSF LAYER 3 : 8～160

対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各Ver.に準拠）

(1) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9 (9.1、9.2)
対応サンプリング周波数 (kHz)	32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (1)(2)	Ver.7、8 : CBR (Constant Bit Rate) 48~192 Ver.9 (9.1/9.2) : CBR 48~320

(1) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格 ⁽¹⁾	MPEG4 AAC-LC
対応サンプリング周波数 (kHz)	11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (2)	8~320
対応チャンネルモード ⁽³⁾	1ch (1/0)、2ch (2/0)

(1) ADIF には対応していません。

(2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

(3) デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV (LPCM)

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24
対応チャンネルモード	1ch (1/0)、2ch (2/0)

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。

(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ FLAC

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
-----------------------	--

対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24
-----------------------	-------

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96
対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ Ogg Vorbis

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (2)	32～500

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」がついたものだけです。MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ/WMA タグ/AAC タグ/タグ/Vorbis comment

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WAV (LPCM) ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- Ogg Vorbis ファイルには、Vorbis comment と呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、Ogg Vorbis

再生可能メディア

USB メモリー

USB メモリーから再生できる動画データについての情報

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4 拡張子：「.mp4」 「.m4v」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC、MPEG-4 ● オーディオコーデック：MP3、AAC
AVI コンテナ拡張子： 「.avi」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：H.264、MPEG-4、MPEG-4 AVC、WMV9、WMV9 Advanced Profile ● オーディオコーデック：MP3、AAC、WMA9.2（7、8、9.1、9.2）
Windows Media Video 拡張子：「.wmv」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Plofile ● オーディオコーデック：WMA9.2（7、8、9.1、9.2）

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i/30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する USB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

Android Auto についての情報

■ 商標・設計認証情報

androidauto

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

USB メモリーについての情報

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

MP3/WMA/AAC の仕様

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3 (MPEG Audio LAYER 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth[®] についての情報

使用できる Bluetooth[®] の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth [®] オーディオ
対応 Bluetooth [®] 仕様	Bluetooth [®] Core Specification Ver.5.0 以上

項目	Bluetooth®オーディオ
対応プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.3.2 以上 ● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル：Ver.1.6.2 以上
対応コーデック	LDAC★/AAC/SBC

□ 知識

- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®機器との接続性を保証するものではありません。

■ 商標・設計認証情報



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「株式会社デンソーテン」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

■ LDAC



LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Wi-Fi®についての情報

- Wi-Fi®, Miracast®, Wi-Fi Direct®, WMM®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- Wi-Fi Protected Setup™, Wi-Fi CERTIFIED™, WPA2™, WPA3™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。

認証・商標についての情報

通信モジュール（DCM）についての情報

- 通信モジュール（DCM）は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品本体のネームプレートはその証明ですので、ネームプレートの記載を削除しないでください。
- 通信モジュール（DCM）を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- フリー／オープンソースソフトウェア情報について
 - 本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。
<https://www.denso.com/global/en/opensource/dcm/toyota/>

QR コードについて

QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

A	
Android Auto を再生する.....	188
Android Auto を使用する.....	114
ASL.....	82

B	
Bluetooth®オーディオを再生する.....	191
Bluetooth®機器	
削除する.....	101
サブ機器に設定する.....	106
接続する.....	102
登録する.....	98
メイン機器に設定する.....	105

M	
Miracast®対応機器を接続する.....	195
Miracast®を再生する.....	196

T	
T-Connect.....	234
TOYOTA アカウント.....	48

U	
USB 機器を接続する.....	36
USB メモリーを再生する.....	181,183

V	
VICS・交通情報を使う.....	159

W	
Wi-Fi® Hotspot.....	109
Wi-Fi® Hotspot の設定.....	87

あ	
明るさを調整する.....	60

い	
一時停止案内の ON/OFF.....	78

インターチェンジを指定する.....	149
--------------------	-----

う	
迂回する.....	71

え	
エージェント（音声対話サービス）....	37

お	
お気に入り地点.....	75,121,142
音質を調整する.....	86
音声コマンド.....	41
音声で操作する.....	37
音量調整スイッチ.....	32
音量を調整する	
電話（着信／受話）.....	89

音量を調整する	
オーディオ.....	32
システム音声の音量.....	82
電話（着信／受話）.....	207
ナビゲーション音声案内の音量.....	82
オーディオシステムの ON/OFF.....	32

か	
画質調整.....	85
カメラのお手入れ方法.....	289
画面表示の ON/OFF.....	60
画面モードを切りかえる.....	84

き	
共通設定.....	58
緊急時 110 番／119 番へ通報.....	213
緊急通報をする.....	247

キーボード	
文字や数字の入力.....	24

く	
グループ通話をする.....	222

け

携帯電話	
削除する.....	101
接続する.....	102
登録する.....	98
経由地の編集	152
経由地を追加する	140
言語を切り替える	58
現在地	
修正する.....	75
表示する.....	28
検索キーワード	45

こ

更新する	
ソフトウェア情報.....	65
故障したとお考えになる前に	
Android Auto.....	116
パノラミックビューモニター.....	302
ハンズフリー（電話）.....	204
コネクティッドナビ	120

さ

再起動する	12
再生する	
Android Auto.....	188
Bluetooth®オーディオ.....	191
Miracast®.....	196
USB メモリー.....	181,183
削除する	
Bluetooth®機器.....	101
ドライバー設定.....	57
マイセッティング.....	57
目的地.....	153
連絡先データ（電話番号）.....	232
ワンタッチダイヤル.....	229

し

市街図の表示.....	29
時刻設定.....	58
施設記号を表示する.....	123
自宅	
登録する.....	135
目的地に設定する.....	135
縮尺を切りかえる.....	29
消音.....	34
消去する	
目的地履歴.....	75
初期化	
個人情報.....	63

す

数字の入力.....	24
スケールを切りかえる.....	29
ステアリングスイッチ	
音声操作.....	39
オーディオ.....	32
ハンズフリー（電話）.....	207
ステータスアイコン.....	17
スマート IC 利用の ON/OFF.....	147
スマートフォン	
削除する.....	101
接続する.....	102
登録する.....	98
3D 表示	30

せ

セキュリティ設定	63
セキュリティロック	63
接続する	
Bluetooth®機器.....	102
Miracast®対応機器.....	195
USB 端子.....	36

Wi-Fi® Hotspot..... 109

設定

Bluetooth®機器の設定 89

VICS・交通情報を表示する種類の設定 ..
.....165

Wi-Fi® Hotspot の設定..... 87

案内設定 74

音声操作の設定.....62

各種設定.....53

画面表示の設定.....60

共通設定.....58

サウンドやメディアの設定..... 82

セキュリティ設定.....63

走行支援の設定 78

地図表示設定.....69,125

ドライバー設定.....57

ナビゲーションの設定 68

パノラミックビューモニターの設定.287

プライバシー設定.....63

マイセッティング.....57

ルート設定.....71

そ

走行軌跡.....125

ソフトウェア情報を更新する..... 65

た

対応プロファイル.....97

タッチスクリーンの操作 19,22

ち

地図

VICS 記号169

色を変更する.....69

動かす31

拡大／縮小..... 29

記号126

データベースの情報.....176

向きを切りかえる..... 30

文字サイズを変更する.....69

地図画面の表示26

着信拒否.....217,220

調整する

明るさ.....60

音質.....86

画質.....85

コントラスト.....60

時計.....58

ナビゲーション音声案内の音量..... 82

つ

通過地点の設定151

通話中の操作.....218

て

ディスプレイと操作スイッチ

インストルメントパネル 10

転送する

連絡先データ（電話番号） 225

電話に出る／電話を受ける..... 215,220

電話をかける

110 番／119 番.....213

一括トーン送出.....214

キーパッド入力.....212

通話中.....221

登録している連絡先.....211

発信または着信の履歴.....208

ワンタッチダイヤル.....210

電話を切りかえる.....224

電話を切る.....223

データ通信に関する留意事項235

と

到着予想時刻 142

登録する

Bluetooth®機器..... 98

ドライバー設定.....	48,55
マイセッティング.....	55
ワンタッチダイヤル.....	229
時計を調整する.....	58
ドライバー設定	
切りかえや登録をする.....	55
登録する.....	48

な

ナビゲーションシステムについて	120
-----------------------	-----

の

ノースアップ表示.....	30
---------------	----

は

ハイウェイモード	130
ハイレゾリューション(ハイレゾ)音源.....	306
パノラミックビューモニター	262
ハンズフリー(電話)	200

ひ

日付設定.....	58
-----------	----

ふ

フォーマット情報.....	306
---------------	-----

へ

ヘディングアップ表示.....	30
ヘルプネット(エアバッグ連動タイプ)	241

ほ

保守点検をする(ヘルプネット)	251
-----------------------	-----

ま

マイセッティング.....	48
切りかえや登録をする.....	55

め

メインメニュー.....	15
--------------	----

も

目的地

検索する	133
削除する	153
詳細情報	150
追加する.....	140
履歴を消去する.....	75

目的地案内のデモを見る	145
-------------------	-----

目的地の検索	133,142,153,159
--------------	-----------------

目的地を検索する

お気に入り地点	135
自宅	135
スマートフォン連携	136,141
マップコード	136
文字入力	134
履歴	135
文字サイズを変更する(地図)	69
文字の入力.....	24

り

リモートメンテナンスサービス

eケア.....	259
リモートメンテナンスメール.....	259

る

ルート案内.....	153
ルート情報の表示	146
ルートを再探索する	158
ルートを選択する	148

れ

連絡先データ(電話番号)

削除する.....	232
削除する(ワンタッチダイヤル)	229
修正する.....	231
追加する.....	231
転送する.....	225
登録する(ワンタッチダイヤル)	229

レーン表示画面155

わ

割込着信.....220

ワンタッチダイヤルを登録する／削除する.....229

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索



リコール等情報



トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



全国共通・フリーコール

0800-700-7700



WEBページからのお問い合わせ



インターネットフォーム
によるお問い合わせ



チャットによる
お問い合わせ



手話通訳サービス
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。
「個人情報保護方針」については、https://toyota.jp/privacy_statement/ に掲載しております。



- ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証） をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>

